

令和2年度

教育要覧

(読谷村の教育)



【読谷村文化センター】

読谷村教育委員会



はじめに

読谷村教育委員会

教育長 知花 優

令和2年4月1日から読谷村教育委員会教育長を拝命します知花優と申します。よろしくお願い致します。

本村の幼児・児童・生徒は、「心の優しさ日本一の幼稚園生」「学習態度日本一の小学生」「真剣さ日本一の中学生」を合い言葉に、日々の学校生活を一生懸命取り組んでおり、頼もしい限りであります。

さて、グローバル化・情報化が猛烈な勢いで進展し、社会の急激な変化のために、「ものの見方・考え方」など、思考の多様性が一層、重要になってまいりました。

また、子ども達が学校で学ぶ意義は、10年後の多様な国際社会で「なりたい自分」になるためです。ですから、10年後の社会のニーズに応じて、活躍する人材を育てるのが、学校の先生方の使命だと考えます。そこで、教育委員会は、「創造性・国際性に富み社会に貢献する人材の育成と生涯学習の振興」を教育目標としております。

その教育目標を受けて各学校は、子どもの「心に感動・感謝の豊かな心を」、「頭に知識・知恵の確かな学力を」、「体に健康・健全で健やかな体を」等の「生きる力を」、知徳体の全てにおいてバランスのとれた教育を充実させるとともに、アイデンティティを育む教育実践が大事になります。また、今年度から、小学校は、新学習指導要領の完全実施、さらに、中学校は、新学習指導要領の移行措置が行われます。

学校指導課においては、各学校を適宜訪問し新学習指導要領の趣旨を十分に踏まえながら、「質の高い授業、個に応じた学習指導」ができるように的確な指導助言につとめ、「信頼される学校」づくりを支援してまいります。また教育総務課は、よりよい学習環境づくりに精一杯取り組みます。

生涯学習課においては、潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現をめざして、村民が「いつでも、どこでも、だれでも」必要とする学習を実現するための学習機会を確保し、ふれあい交流館でのサークル活動の充実・発展を図ってまいります。さらに、文化協会と連携のもと赤犬子子ども三線・箏・太鼓クラブ等を通して、子ども達に豊かな感性を育む伝統文化の継承・発展も図ってまいります。ただ、本年度は、新型コロナウイルス感染症予防の為に実施できなくなることも予想されます。また、児童生徒のスポーツ力の向上や村民がスポーツを通して、健康づくりができるよう、野球場、陸上競技場や残波ボールパーク、多目的広場・運動広場等の有効活用も図りたいと存じます。

文化振興課は、村史編集事業や文化保存整備事業を継続実施し、本村の歴史を後生に伝えるため、その保存・継承を図ってまいります。また、世界遺産座喜味城跡コンタンザミュージアム開館2年目を機に文化振興の尚一層の充実に努めてまいります。

結びに、「学びの種をまく日」「人材を育てる要の日」としての「読谷村教育の日（2月の第一土曜日）」を機に村民総ぐるみで、諸教育施策のもと読谷村の教育の気運を醸成し教育の充実と発展につなげて参りたいと存じます。また、本誌は、学校教育、生涯学習、文化振興等の各分野における村教育委員会の取り組みと、さらには、村内各幼稚園並びに小・中学校の教育計画等をまとめたものであります。ご高覧頂きまして、ご意見・ご提言などをお寄せ頂ければ幸いに存じます。

読谷村全景



村花木：コガネノウゼン
(通称：イッピー)

高さは10 m以上に達し、直立する落葉広葉樹。原産地はコロンビア、ブラジルで、本県には1974年に導入されています。鮮やかな黄色の花は南国的な雰囲気をもし出す。



村木：フクギ

雌雄異株で高さ20 mくらいに達する常緑広葉樹。沖縄では古くから織物用の黄色の染料を採るもの(樹皮)として利用されるとともに、海岸、屋敷の防潮林防風林として欠かせない沖縄を代表する緑化樹である。



村花：ブーゲンビレア

情熱・明るさ・繁栄の象徴をあらわしている。南アメリカ等の熱帯雨林原産の低木。日当たりがよく、水はけのよい土地を好み、栽培も挿木で増やせる。1年を通して花を咲かせてくれる。

読谷村歌

(昭和51年12月24日
制 定)

やぐらのみねの あさぼらけざんばのさーとや ひじやかはんざき
みのしろー の もりー かげの
なごみの さとはあー けー て ゆ く え
にしむすべ る むー らー びと の
これぞうー ふすなう ま しむらー

読谷村歌

作詞・渡久山 朝章
作曲・田場 盛徳

一、矢倉の嶺の 朝ぼらけ

残波の里や 比謝川畔

座喜味の城の 森かげの

和みの郷は 明けて行く

えにし結べる 村人の

これぞ産土^{うすずま} うまし村

二、歴史は古き 大北の

遠き世々から 受けつぎし

民俗文化 燦然^{まげん}と

光り輝く 誇らかに

ここに咲きたる 花織や

インコネアガリ 声高し

三、新しき世の 訪れぞ

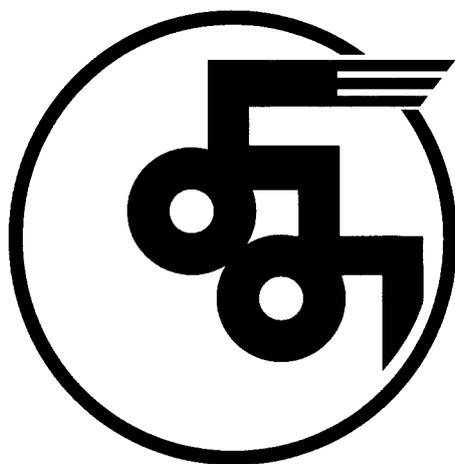
平和の願い 胸に秘め

協和向上 目標にて

住み良き村の 建設に

同胞ともに 手をとりて

いざ進めなん 自治の旗



読 谷 村 章

昭和51年12月24日

制 定

「よ」と「み」をつなぎ村民の協力と羽形は飛躍発展を表し、外円は村民の融和、団結の印で、囲まれた空白はその豊かさと村勢の発展を象徴する。

教 育 基 本 法

我々日本国民は、たゆまぬ努力によって築いてきた民主的で文化的な国家を更に発展させるとともに、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献することを願うものである。

我々は、この理想を実現するため、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期するとともに、伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育を推進する。

ここに、我々は、日本国憲法の本質にのっとり、我が国の未来を切り拓く教育の本質を確立し、その振興を図るため、この法律を制定する。

(改正：平成18年12月22日公布・施行)

目 次

はじめに（教育長の発刊のことば）
読谷村全景・村花木・村木・村花・村歌
読谷村章・教育基本法

I 読谷村の概要

- 1 読谷村のあゆみ 1
- 2 読谷村の位置及び地勢と人口 3

II 教育委員会

- 1 教育の沿革 5
- 2 教育長 9
- 3 歴代教育長 9
- 4 教育委員 10
- 5 歴代教育委員 11
- 6 歴代教育委員長 13
- 7 読谷村教育の大綱（読谷村教育振興基本計画） 14
- 8 読谷村教育委員会機構図 15

III 教育総務課

- 1 令和2年度読谷村一般会計予算について 17
- 2 教育総務課機構図 18
- 3 教育総務課事務分掌 19
- 4 学校施設 20

IV 学校指導課

- 1 学校指導課機構図 23
- 2 学校指導課事務分掌 24
- 3 令和2年度児童・生徒・学級数及び教職員数 25
- 4 令和2年度指導行政構想図 26
- 5 令和2年度読谷村学力向上推進体系 27

幼稚園

- 渡慶次幼稚園 28
- 読谷幼稚園 33
- 喜名幼稚園 38
- 古堅幼稚園 43
- 古堅南幼稚園 48

小学校

- 渡慶次小学校 54
- 読谷小学校 62
- 喜名小学校 69
- 古堅小学校 76
- 古堅南小学校 83

中学校

読谷中学校	89
古堅中学校	97

V 生涯学習課

1 生涯学習推進の目標	105
2 生涯学習課機構図	106
3 生涯学習課事務分掌	107
4 生涯学習係	109
令和2年度生涯学習・社会教育事業計画	113
5 文化センター係	115
読谷村ふれあい交流館令和2年度サークル一覧表	117
令和2年度鳳ホール事業計画	118
6 スポーツ振興係	119
令和2年度読谷村社会体育振興事業	121
7 図書館係	122

VI 文化振興課

1 文化振興課機構図	127
2 文化振興課事務分掌	128
3 博物館事業(世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム)	130
(1) 歴史民俗資料館の沿革	130
(2) 美術館の沿革	133
(3) 世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアムの沿革	134
(4) 運営方針	136
(5) 重点目標	136
(6) 施設整備	136
(7) 展示内容	137
(8) 業務内容	138
4 文化財保護事業	140
5 村史編集事業	141

VII 給食調理場

1 学校給食調理場機構図	145
2 学校給食調理場運営委員会	145
3 学校給食調理場連絡協議会	145
4 給食調理場事務分掌	146
5 読谷村立学校給食調理場運営方針	147
6 読谷村立学校給食調理場運営事業計画	148

I 読谷村の概要

1 読谷村のあゆみ

私たちの住んでいる読谷村は歴史の古い村です。今から約7,000年前には渡具知の東原に貝塚時代の人々が生活を始めています。これは新石器時代の遺跡としては県内で最も古い遺跡です。沖縄の貝塚時代は約1,500年前まで続きますが、村内の西海岸砂丘一帯には貝塚時代後半の遺跡がたくさんあります。古代の人々は海と深いかわりをもって生活していたようです。そして次第に人々は「マキョ」と呼ばれる小集落を形成するようになり、そこに権力者が台頭して小国を形成し、琉球は大きく北山・中山・南山の三つの勢力を形成していきます。

読谷村は中山国の北端にあったことから「うふにし（大北）」と呼ばれていました。琉球の古謡集である『おもろさうし』には「よんたもぎ」「よんたむぎ」と記されています。また地形が半島となって海に突き出ていることから「さきよた（崎枝）」とも呼ばれました。「よんたもぎ」「よんたむぎ」は後に「読谷山」と表記され、「ゆんたんざ」と呼ばれました。「読谷山間切」は、1673年の恩納間切の新設まで現在の恩納村の南半分を領有する中山国の北鎮となりました。

1372年から始まる琉球の大交易時代の先駆となったのは読谷山宇座出身の泰期という人物で、彼は察度王の弟と称され中国（明）に遣わされました。これが琉球から初の朝貢貿易船でありました。

『おもろさうし』には、「ふるけものろのふし（古堅ノロの節）」で謡われた巻十五「浦添・北谷・読谷山おもろ御さうし」の中で、「おさのたちよもいや（宇座の泰期思いは）」と謡われ、中国（明）貿易を始めた勇敢な人と讃えられています。泰期は、7回にわたって中国との交易を行い、進んで文物を摂取し、琉球の進運に大きな影響を与えました。

また、『おもろさうし』巻八「おもろねやがりあかいんこかおもろ御さうし」の歌唱者の一人として登場し、歌と三線の祖としても称えられる「赤犬子（アカインコ）」は読谷村の楚辺にその終焉の地があり、現在「アカヌクー（赤犬子御嶽）」が整備され、五穀豊穰の神様としてもあがめられています。

1422年、読谷山の「按司」であった護佐丸は、尚巴志の命により座喜味城を築き、山田城から座喜味城に移り、その後およそ20年間にわたって読谷山一帯を統治したといわれています。

1440年頃には、護佐丸は王府の命により、さらに中城に移りました。1447年に即位した尚真王の中央集権制度により、「按司」は首里に集められ、各間切には「按司掟」が置かれるようになりました。

この「按司掟」制は1611年に廃止され、各間切には「地頭代」が置かれました。前述のように、当時の読谷山間切は谷茶以南を含む25か村でありましたが、1673年の恩納間切の新設により、9か村が恩納間切に編入され16か村となりました。

1820年頃、首里から国頭方面への街道が喜名村に開通し、座喜味城内にあった読谷山番所は喜名に移され、「喜名番所」と呼ばれるようになりました。

1897年（明治30）の間切島吏員規程施行により、「地頭代」は「間切長」に変わり、番所が間切役場となりました。さらに1908年（明治41）には「沖縄県及島嶼町村制」が施行され「読谷山村」となりました。

1899年（明治32）の沖縄県土地整理法の施行により、それまでの喜名・座喜味・伊良皆・上地・波平・高志保・渡慶次・儀間・宇座・瀬名波・長浜・楚辺・渡具知・比謝・大湾・古堅の16か村より、伊良皆から長田、大湾から牧原、喜名から親志がそれぞれ分離し、19か村となりました。また、1914年（大正3）には大湾から比謝疋、1935年（昭和10）には楚辺と比謝から大木、さらに1946年（昭和21）には座喜味から都屋が分離し22か村となり、1985年（昭和60）には新たに楚辺から大添が独立し、2014年（平成26）に横田が加わり、現在は24の自治会があります。

第2次世界大戦（太平洋戦争）において、読谷村は米軍の沖縄本島最初の上陸地点となりました。

米軍による砲爆撃は熾烈を極め、焦土と化しました。米軍に収容された村民の多くは、沖縄本島の太平洋側の地域にあった収容所などで厳しい戦後の生活を強いられました。その後村民の帰村が許されたのは、1946（昭和21）年8月のことで、字波平と字高志保の一部地域に居住が許されました。村では「読谷山村建設隊」を結成し、荒廃した故郷の再建に着手しました。この年の11月には待望の第一次村民受け入れが実現し、その後、楚辺、大木地区の居住許可が下りたのを受け、南部地域の復興が進み、次第に居住空間が拡大していきました。

1946年（昭和21）12月、戦災で荒廃した人心の一新と村の復興を願って、村名を「読谷山村」から「読谷村」に改称しました。役場も喜名から波平に移り、戦後の戦災復興、再建、発展への拠点となりました。しかし、村土のほとんどを軍用地に接収されたままであり、1952年（昭和27）4月28日の対日講和条約の発効により、沖縄の施政権は分離され、「基地の村」として米軍施政権下の戦後の歩みが続くこととなります。

1972年（昭和47）5月、沖縄は日本へ復帰しましたが、村域の一部の軍用地は返還されたものの大半は残され、村土の約70%が米軍基地のままでした。

こうした中、「人間性豊かな環境・文化村」づくりを掲げ、村民と役場、議会が一体となって幾多の困難を乗り越え、文化村づくりを実践してきました。その成果は、読谷山花織の復興、陶芸の拠点としての「やちむんの里」の建設、さらには各字の伝統芸能の復活継承などとして結実し、老若男女を問わず多くの村民が参加する「読谷まつり」で大きく花開き、今日に至っています。

村役場は、戦前の喜名から戦後、波平へと移転しましたが、老朽化、狭隘化に伴い、新庁舎が、1997年（平成9）、当時まだ米軍施設であった読谷補助飛行場の中に自治と平和、民主主義の殿堂として完成し、1999年（平成11）には、その隣に文化の殿堂読谷村文化センターが完成しました。

2008年（平成20）には、村制施行100周年の節目の年として多くの記念事業が挙行されました。

その後、返還された読谷補助飛行場の跡地には、2010年（平成22）8月に読谷中学校が新築移転、2011年（平成23）には、村民待望の全天候型陸上競技場が完成し、更に、2013年（平成25）には、スポーツコンベンション誘致促進事業により平和の森球場がリニューアルされるなど村民センター地区としての整備が着々と進められています。

2014年（平成26）には、残波岬公園に残波岬ボールパークが完成し、陸上競技場、平和の森球場とともに、村民がスポーツに親しむ場として活用されるとともに、年間を通し多くのプロスポーツキャンプ等が行なわれ賑わいを見せています。

2018年（平成30）6月には、世界遺産座喜味城跡の麓に、老朽化した村立歴史民族資料館の建て替えを期に村立美術館と併せて内容や設備を一新した、世界遺産座喜味城址ユンタンザミュージアムが開館しました。

2 読谷村の位置及び地勢と人口

読谷村は、沖縄本島の中部に位置し、那覇市の北約30km、東は嘉手納町と沖縄市、南は嘉手納町、北は恩納村に隣接し、西側は東支那海へ突き出した半島状の村です。沖縄県の幹線道路である国道58号を境に、東が海拔約200mの読谷山岳を頂点に南に緩やかな丘陵傾地となり、西は海拔約120mの座喜味城跡を頂点としたカルスト台地が広がり、段丘をもって海岸へと続いています。また、残波岬の北岸は絶壁が続いていますが、西海岸ではリーフを伴い遠浅になっています。

東西約8km、南北約10km、総面積は35.17km²であり、中部10市町村のうち、うるま市、沖縄市に次ぐ面積となっています。しかし、村の総面積の35.8%はいまなお米軍基地であり、本村の村づくりを進めるうえで、大きな課題となっています。

読谷村の人口は、2020年（令和2）3月末現在41,446人。世帯数は、16,692世帯となっています。

読谷村の位置

方位	経緯度	地名
極東	127° 47' 17"	読谷村、恩納村 沖縄市の境界
極西	127° 42' 47"	残波岬
極南	26° 21' 27"	渡具知港地先
極北	26° 26' 16"	残波岬



Ⅱ 教育委員会

1 教育の沿革

明治15年 4月	喜名番所に読谷山小学校が喜名村に創設されたのが本村における学校教育の始まり
明治16年	喜名番所から現在の喜名小学校敷地に移転
明治21年	読谷山小学校を読谷山尋常小学校と改称
明治25年	読谷山尋常小学校、喜名に校舎新築
明治27年 9月	渡慶次分校と古堅分校が認可（古堅分校は分校落成と共に開校）
明治28年 4月	渡慶次分校は渡慶次区の民家を借りて4年制の2学級で開校
明治30年	渡慶次分校瀬名波原に移転
明治30年 4月	読谷山尋常小学校に高等科を設置し、読谷山尋常高等小学校に改名 ※当時は中頭郡内に高等科は普天間に1校しかなかったため、読谷に高等科が設置されたことは画期的なことであった。それから教育村・読谷の名が広く知られ、人材も多数輩出。
明治35年 4月	渡慶次分校と古堅分校が独立認可され、それぞれ渡慶次尋常小学校、古堅分校尋常小学校となる
明治36年	渡慶次尋常小学校は現敷地に移転
明治37年	読谷山小学校、尋常科に手工科、高等科に農業科を架設
明治40年 3月	義務教育年限が4年から6年に延長
明治44年	読谷山尋常高等小学校は、喜名の敷地から座喜味前原に移転
大正 7年 4月	渡慶次、古堅の両尋常小学校にそれぞれ高等科を設置
昭和 7年11月	読谷山尋常高等小学校創立50周年記念式典を挙げる
昭和16年 4月	尋常高等小学校は、国民学校と改称
昭和16年 5月	古堅国民学校、新運動場設置並びに校舎増築工事竣工落成式
昭和19年	読谷山国民学校敷地は、軍の兵舎や飛行場として使用され、喜名に移転
昭和20年	「沖縄戦」のため、村内各国民学校の校舎焼失
昭和21年11月 ～ 12月	戦後、村民の村内（波平、高志保地区）への移動と共に、読谷初等学校が現在の 村立図書館敷地周辺で開校（読谷初等学校の渡慶次分校が、高志保の南東端の高 台・俗称シービスチジで開校）
昭和22年 1月	読谷初等学校を読谷中学校敷地（上地31番地1）に定め、教室建設始まる
昭和22年	渡慶次分校が渡慶次初等学校として独立認可 古堅初等学校も楚辺東原の現敷地に開校 喜名初等学校も12月31日で独立認可
昭和22年 5月	渡慶次幼稚園開園式
昭和23年 4月	喜名初等中学校 4月6日開校式（6・3・3制の学制改革実施に伴い、村内各初 等学校に中等学校を併置）
昭和24年 4月	読谷、渡慶次、喜名の各初等学校に併置されていた中等学校を統合して読谷中等 学校として独立（4月18日） 読谷初等学校及び渡慶次初等学校とも現敷地に移転
昭和27年 4月	初等学校を小学校に、中等学校を中学校に改称
昭和33年11月	古堅小学校創立60周年記念式典を挙げる（11月9日）
昭和36年 4月	読谷小学校に特殊学級を新設 渡慶次小学校創立60周年記念式典を挙げる（6月25日）

昭和39年 4月	伊良皆区を古堅小学校区に変更 都屋区の中学校生徒を古堅中学校に編入
昭和40年 4月	古堅中学校の2年生と3年生を旧校地（古堅小学校併置校）から現伊良皆に移転 古堅中学校新敷地へ移転完了
昭和40年 4月	古堅小学校及び喜名小学校に特殊学級を新設
昭和41年 9月	渡慶次小学校完全給食を実施
昭和42年 1月	喜名小学校完全給食を実施 読谷小学校85周年記念式典を挙
昭和42年 9月	読谷中学校完全給食を実施
昭和42年10月	古堅中学校水泳プール開き
昭和43年 4月	渡慶次小学校及び読谷中学校に特殊学級を新設
昭和43年 9月	古堅小学校及び古堅中学校で完全給食を実施
昭和44年 4月	古堅中学校に特殊学級を新設
昭和45年 1月	古堅幼稚園園舎が完成
昭和45年 2月	読谷中学校新運動場完成
昭和45年 3月	読谷小学校に体育館完成
昭和45年11月	読谷小学校完全給食を実施
昭和48年 1月	喜名小学校25周年記念式典を挙
昭和49年 7月	読谷中学校25周年記念式典を挙
昭和50年 3月	喜名小学校体育館完成
昭和50年 5月	読谷村立歴史民俗資料館開館（県下初）
昭和50年 7月	古堅小学校73周年記念式典並びに体育館落成祝賀会を挙
昭和51年 9月	渡慶次小学校75周年記念式典並びに体育館落成祝賀会を挙
昭和54年 3月	喜名小学校30周年記念式典を挙
昭和55年 4月	古堅南小学校開校式典を挙
昭和56年 2月	古堅南小学校校舎開き移転式を挙
昭和57年 9月	古堅南小学校校舎及び園舎並びに体育館落成記念式典を挙
昭和57年11月	読谷小学校100周年記念式典を挙
昭和58年 3月	古堅小学校80周年記念式典を挙
昭和59年 3月	古堅中学校35周年記念式典を挙
昭和60年 2月	読谷中学校35周年記念式典を挙
昭和60年12月	古堅南小学校5周年記念式典を挙
昭和61年 5月	古堅小学校プール開き
昭和63年 3月	喜名小学校創立40周年記念式典を挙
昭和63年 6月	喜名小学校プール開き
平成元年 6月	古堅南小学校プール開き
平成元年 7月	読谷村立歴史民俗資料館新館竣工
平成2年 3月	読谷村立美術館落成
平成2年 6月	渡慶次小学校プール開き
平成2年11月	古堅南小学校創立10周年記念式典を挙
平成4年 4月	文化振興課を設置
平成4年 5月	読谷小学校プール開き

平成4年11月	渡慶次小学校90周年記念式典を挙
平成5年2月	古堅小学校90周年記念式典を挙
平成7年3月	古堅中学校体育館竣工
平成7年8月	読谷小学校防音改造校舎竣工（6年度国債）
平成8年3月	渡慶次小学校特別教室校舎竣工
平成8年12月	渡慶次幼稚園園舎竣工
平成9年6月	渡慶次小学校防音改造校舎竣工（8年度国債）
平成10年2月	喜名小学校50周年記念式典を挙
	読谷中学校50周年記念式典を挙
	古堅中学校50周年記念式典を挙
平成10年3月	古堅南小学校特別教室校舎竣工
	古堅小学校特別教室校舎及び体育館竣工
平成11年3月	喜名小学校体育館竣工
平成11年8月	文化センター課を設置
平成12年2月	古堅南小学校20周年記念式典を挙
平成12年3月	喜名小学校校舎全面改築竣工
平成13年11月	読谷小学校創立120周年記念式典を挙
平成14年3月	読谷給食調理場竣工
平成14年11月	渡慶次小学校創立100周年記念式典を挙
平成15年2月	古堅小学校創立100周年記念式典を挙
平成15年2月	古堅幼稚園園舎竣工
平成15年2月	喜名幼稚園防音改造工事竣工
平成16年10月	読谷小学校体育館竣工
平成17年3月	喜名小学校運動場整備工事竣工
平成19年2月	古堅中学校校舎全面改築工事竣工
平成21年8月	古堅小学校防音機能復旧工事竣工
平成22年3月	読谷中学校体育館竣工
平成22年3月	読谷中学校水泳プール竣工
平成22年3月	読谷中学校武道場竣工
平成22年3月	読谷中学校校庭整備事業完了
平成22年8月	読谷中学校校舎移転全面改築工事竣工
平成22年8月	読谷中学校移転
平成22年9月	読谷小学校校舎塗装工事竣工
平成22年12月	新設読谷中学校移転事業記念式典・祝賀会
平成23年3月	読谷中学校運動場整備工事（1期）竣工
平成23年3月	渡慶次小学校体育館竣工
平成23年9月	古堅小学校トイレ改修工事竣工
平成24年1月	読谷中学校運動場整備工事（2期）竣工
平成24年3月	読谷中学校校内通路整備工事竣工
平成25年10月	古堅小学校（20号棟）・古堅南小学校（1・2号棟）耐震補強工事竣工
平成26年12月	読谷小学校（15号棟）・渡慶次小学校（13・18号棟）耐震補強工事竣工
平成27年3月	小中学校日除け休憩所設置工事

平成27年 3月	古堅中学校体育館屋根修繕工事
平成28年 4月	都屋と波平の全域及び座喜味の一部を読谷小・読谷中学校区に変更
平成29年 3月	古堅南小学校体育館照明及び運動場照明LED化完了
平成29年 6月	読谷小学校防音機器復旧工事竣工
平成30年 2月	古堅南幼稚園防音復旧工事竣工
平成30年 3月	読谷村立学校給食 読谷第二給食調理場竣工
平成30年 4月	学校指導課設置（学校教育課廃止）
平成30年 5月	世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム竣工
平成30年 6月	世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム開館
平成31年 4月	渡慶次給食調理場廃止
平成31年 4月	渡慶次小学校防音機器復旧工事竣工
平成31年 4月	読谷幼稚園防音機器復旧工事竣工
令和 2年 3月	渡慶次幼稚園防音機器復旧工事竣工

2 教育長



教育長
知花 優

役職名	氏名	任期	住所
教育長	知花 優	令和2年4月1日～令和5年3月31日	読谷村字高志保

3 歴代教育長

氏名	在任期間	備考
宮城 傳三郎	昭和47年5月15日～昭和52年3月30日	
新崎 盛繁	昭和52年4月1日～平成元年3月31日	
岳原 宜正	平成元年4月1日～平成5年3月31日	
伊波 清安	平成5年4月1日～平成13年3月31日	
比嘉 隆	平成13年4月1日～平成21年3月31日	
比嘉 源勇	平成21年4月1日～平成24年9月30日	
松田 平次	平成24年10月1日～平成29年3月31日	旧制度の教育長廃止
松田 平次	平成29年4月1日～令和2年3月31日	新制度の教育長
知花 優	令和2年4月1日～（ 現 ）	

4 教育委員



教育長職務代理者
比 嘉 秀 侑



委 員
比 嘉 雄 一



委 員
崎 濱 朋 子



委 員
津 波 齐

役 職 名	氏 名	任 期	住 所
教育長職務代理者	比 嘉 秀 侑	平成29年4月1日～令和3年3月31日	読谷村字大木
委 員	比 嘉 雄 一	平成30年4月1日～令和4年3月31日	読谷村字喜名
委 員	崎 濱 朋 子	令和2年4月1日～令和6年3月31日	読谷村字渡具知
委 員	津 波 齐	令和2年4月1日～令和5年3月31日	読谷村字波平

5 歴代教育委員

氏 名	在 任 期 間	備 考
喜友名 正 謹	昭和27年5月11日～昭和31年2月21日	村長が兼務
知 花 英 夫	昭和27年5月11日～昭和31年1月31日	
山 城 亀 吉	昭和27年5月11日～	昭和29年逝去
知 花 弘 治	昭和27年5月11日～昭和29年3月31日	
新 崎 昌 子	昭和27年5月11日～昭和31年3月31日	
神 谷 乗 敏	昭和29年4月1日～昭和40年3月14日	
知 花 義 雄	昭和30年7月11日～昭和31年3月31日	
比 嘉 寅 吉	昭和31年4月1日～昭和46年3月31日	
大 湾 シ ゲ	昭和31年4月1日～昭和34年3月10日	
玉 城 忠 次	昭和31年4月1日～昭和50年3月31日	
伊 波 俊 昭	昭和31年4月12日～昭和34年3月5日	
比 嘉 憲 蔵	昭和34年3月9日～昭和38年3月3日	
知 花 成 昇	昭和36年3月6日～昭和37年10月20日	
大 城 貞 保	昭和37年11月17日～昭和42年3月14日	
上 地 松 徳	昭和38年3月4日～昭和42年3月5日	
山 城 源 徳	昭和42年3月15日～昭和46年3月14日	
大 湾 梅 成	昭和42年3月15日～昭和48年3月31日	
新 垣 秀 吉	昭和46年3月15日～昭和49年8月20日	
山 内 昌 彦	昭和44年3月15日～昭和53年3月31日	
宮 城 傳 三 郎	昭和47年5月15日～昭和60年3月31日	
石 嶺 伝 夫	昭和48年4月1日～昭和52年3月31日	
石 嶺 伝 善	昭和50年4月1日～昭和62年3月31日	
知 念 末 吉	昭和49年10月1日～平成4年3月31日	
新 崎 盛 繁	昭和52年4月1日～平成元年3月31日	
仲 宗 根 盛 栄	昭和53年4月1日～平成2年3月31日	
野 村 正 弘	昭和60年4月1日～平成元年3月31日	
宮 平 良 秀	昭和62年4月1日～平成7年3月31日	
岳 原 宜 正	平成元年4月1日～平成5年3月31日	
泉 川 とし子	平成元年4月1日～平成9年3月31日	
當 眞 嗣 清	平成2年4月1日～平成6年10月24日	
知 花 亀 次 郎	平成4年4月1日～平成12年3月31日	

氏 名	在 任 期 間	備 考
伊 波 清 安	平成5年4月1日～平成13年3月31日	
屋 良 朝 一	平成6年10月25日～平成15年3月31日	
喜友名 正 輝	平成7年4月1日～平成15年3月31日	
池 原 美 恵 子	平成9年4月1日～平成17年3月31日	
知 花 江 美	平成12年4月1日～平成16年3月31日	
比 嘉 隆	平成13年4月1日～平成21年3月31日	
宮 平 永 金	平成14年4月1日～平成22年3月31日	
當 山 昇 進	平成15年4月1日～平成19年3月31日	
仲 吉 ス ミ 子	平成16年4月1日～平成16年11月30日	
大 城 正 憲	平成17年4月1日～平成20年3月31日	
大 湾 由 美 子	平成17年4月1日～平成21年3月31日	
喜屋武 洋 子	平成19年4月1日～平成27年3月31日	
知 花 喜 子	平成20年4月1日～平成24年3月31日	
比 嘉 源 勇	平成21年4月1日～平成24年9月30日	
松 田 平 次	平成21年4月1日～平成29年3月31日	
大 城 盛 雄	平成22年4月1日～平成26年3月31日	
山 本 末 美	平成24年4月1日～平成28年3月31日	
比 嘉 宏	平成24年10月1日～平成29年3月31日	
比 嘉 雄 一	平成26年4月1日～（ 現 ）	
大 城 茂 一	平成27年4月1日～平成28年9月9日	平成28年逝去
照 屋 玲 子	平成28年4月1日～令和2年3月31日	
比 嘉 秀 侑	平成29年4月1日～（ 現 ）	
大 城 章	平成29年4月1日～平成31年3月31日	
知 花 優	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
崎 濱 朋 子	令和2年4月1日～（ 現 ）	
津 波 斉	令和2年4月1日～（ 現 ）	

6 歴代教育委員長

氏名	在任期間	備考
喜友名 正 謹	昭和27年5月11日～昭和31年2月21日	村長が兼務
神 谷 乗 敏	昭和31年3月7日～昭和31年4月11日	
伊 波 俊 昭	昭和31年4月12日～昭和34年3月5日	
神 谷 乗 敏	昭和34年3月12日～昭和36年3月15日	
知 花 成 昇	昭和36年3月16日～昭和37年10月20日	
知 花 義 雄	昭和37年11月17日～昭和42年3月17日	
比 嘉 寅 吉	昭和42年3月18日～昭和43年3月10日	
玉 城 忠 次	昭和43年3月11日～昭和44年3月14日	
大 湾 梅 成	昭和44年3月15日～昭和48年3月31日	
石 嶺 伝 夫	昭和48年4月1日～昭和52年3月31日	
宮 城 傳三郎	昭和52年4月1日～昭和60年3月31日	
仲宗根 盛 栄	昭和60年4月1日～平成2年3月31日	
知 念 末 吉	平成2年4月1日～平成4年3月31日	
宮 平 良 秀	平成4年4月1日～平成7年3月31日	
知 花 亀次郎	平成7年4月1日～平成12年3月31日	
喜友名 正 輝	平成12年4月1日～平成15年3月31日	
知 花 江 美	平成15年4月1日～平成16年3月31日	
宮 平 永 金	平成16年4月1日～平成18年3月31日	
當 山 昇 進	平成18年4月1日～平成19年3月31日	
宮 平 永 金	平成19年4月1日～平成21年3月31日	
喜屋武 洋 子	平成21年4月1日～平成23年3月31日	
松 田 平 次	平成23年4月1日～平成24年9月30日	
大 城 盛 雄	平成24年10月1日～平成26年3月31日	
喜屋武 洋 子	平成26年4月1日～平成27年3月31日	
比 嘉 宏	平成27年4月1日～平成28年3月31日	
比 嘉 雄 一	平成28年4月1日～平成29年3月31日	法律改正により廃止

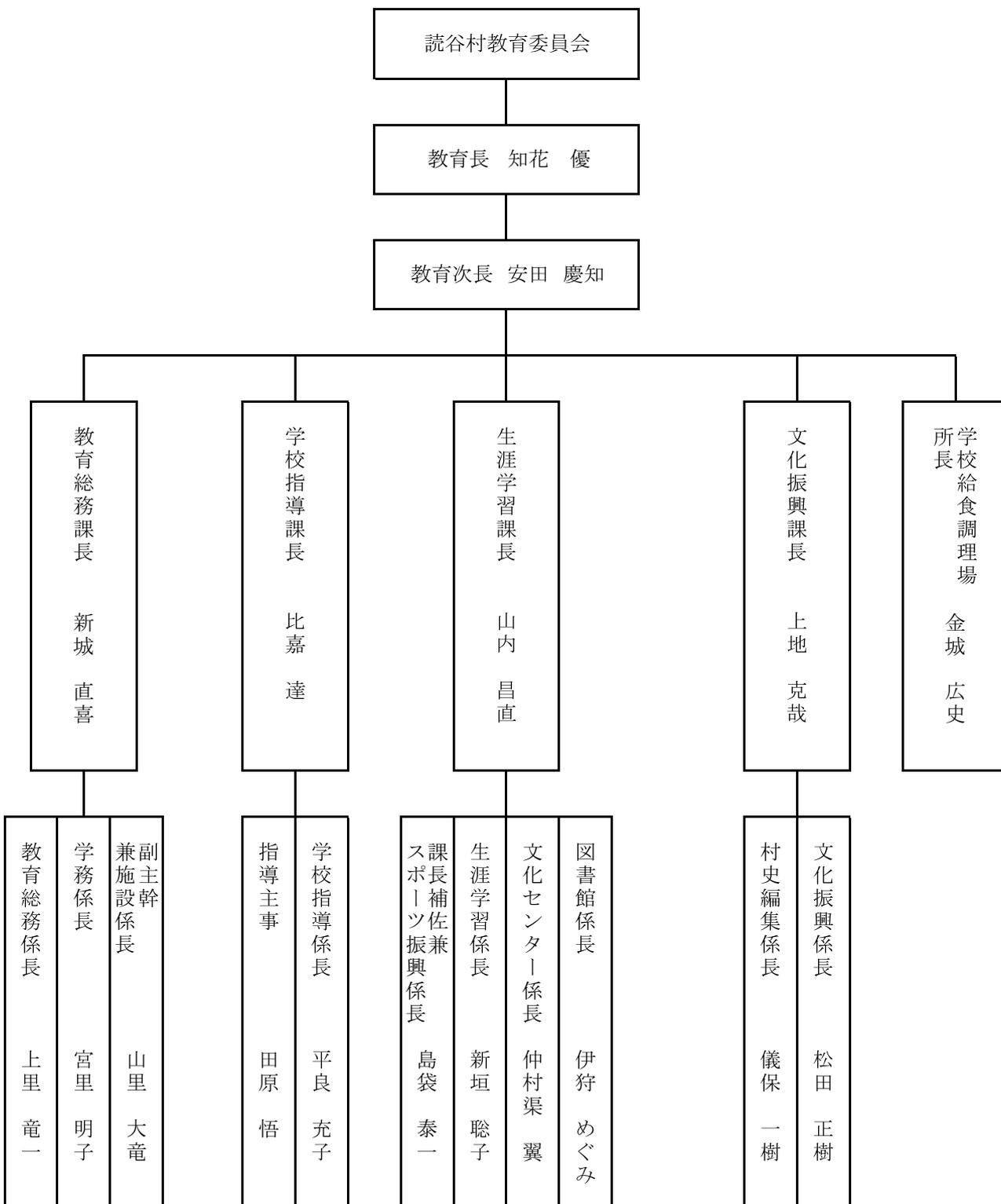
7 読谷村 教育の大綱（読谷村教育振興基本計画）

基本理念
ちむ清らさあるひとの学び育ち
 ～ 一人ひとりが夢を育み、可能性を広げ、生涯輝けるひとづくり ～

基本方針
 ○子ども子育ての推進 ○子どもの教育の充実 ○地域文化の創造発展
 ○生涯学習の充実 ○スポーツの推進

基本目標	基本施策	具体施策
基本目標 1 子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	基本施策 1 確かな学力の向上	①幼児教育の充実 ②幼児期からの切れ目のない教育の推進 ③基礎学力の定着・応用力の育成に向けた指導方法の改善 ④国際化・情報化等の現代的な課題に対応した教育の推進
	基本施策 2 豊かな心を培う教育の推進	①平和を希求し、互いを思いやる心の育成 ②自己肯定感の育成 ③いじめの予防対策・対応の充実
	基本施策 3 健やかな体の育成	①運動に親しむ環境づくりと体力の向上 ②望ましい食習慣・生活習慣の確立
	基本施策 4 多様なニーズに対応した教育支援の充実	①特別支援教育の充実 ②帰国・外国籍児童・生徒への教育支援 ③子どもの貧困対策の推進 ④キャリア教育の推進
基本目標 2 生涯を通じた学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	基本施策 1 生涯学習の充実	①生涯学習の推進体制の充実 ②村民の学習ニーズに応える学習機会と活動支援の充実 ③活動拠点の充実・活用促進 ④読書活動の推進
	基本施策 2 生涯スポーツの推進	①健康づくりと生涯スポーツの普及推進 ②スポーツ指導者・スポーツ団体の育成 ③スポーツ環境の充実
	基本施策 3 地域文化の継承・創造・発展	①文化財の保存・活用 ②伝統芸能等の保存・継承 ③郷土に関する資料の収集・保存・活用 ④郷土文化や芸術に触れる場の充実
基本目標 3 地域との連携による教育環境づくり	基本施策 1 健全な青少年の育成	①各種体験活動、リーダー育成の充実 ②教育相談・不登校対応の充実 ③読谷村青少年健全育成連絡協議会の充実
	基本施策 2 地域とともにある信頼される学校づくりの推進	①学校・家庭・地域の連携強化 ②学校施設・設備の充実 ③教職員の資質・能力の向上 ④危機管理対策の充実による学校安全の推進
	基本施策 3 新しい時代を展望した教育行政の充実	①家庭・地域の教育力の向上 ②教育委員会の充実

8 読谷村教育委員会機構図

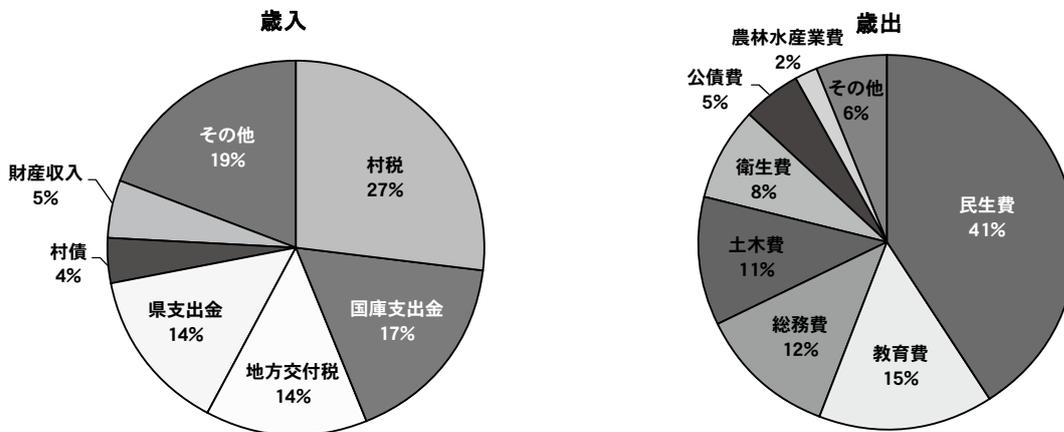


Ⅲ 教育総務課

1 令和2年度 読谷村一般会計予算について

●当初予算総額 14,875,591,000円(148億7,559万1千円)

●歳入、歳出の割合

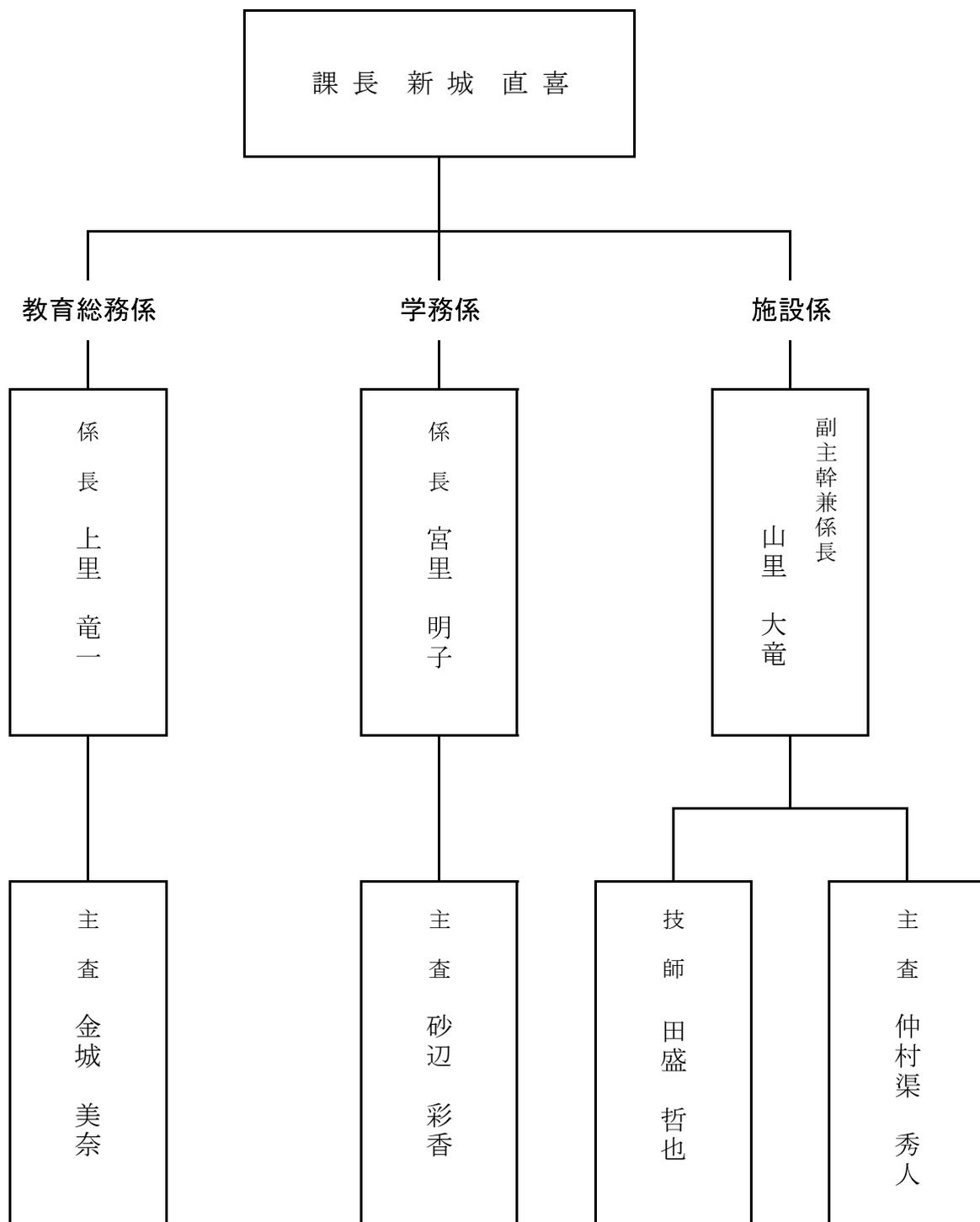


●令和2年度読谷村一般会計予算における教育委員会関係予算額

(単位：千円)

教育費		本年度予算額	前年度予算額	比較	構成比
教育総務費		247,035	233,387	13,648	11.3%
	教育委員会費	4,135	4,135	0	0.2%
	事務局費	242,900	229,252	13,648	11.1%
小学校費		554,021	302,601	251,420	25.3%
	学校管理費	195,370	184,788	10,582	8.9%
	教育振興費	83,678	117,242	△ 33,564	3.8%
	学校建設費	274,973	571	274,402	12.6%
中学校費		147,424	134,885	12,539	6.7%
	学校管理費	90,659	84,556	6,103	4.1%
	教育振興費	56,765	50,329	6,436	2.6%
幼稚園費		161,095	163,260	△ 2,165	7.4%
	幼稚園費	161,095	163,260	△ 2,165	7.4%
社会教育費		485,399	602,232	△ 116,833	22.2%
	社会教育総務費	145,836	141,051	4,785	6.7%
	図書館費	33,437	34,174	△ 737	1.5%
	文化財保護費	60,660	62,054	△ 1,394	2.8%
	村史編集費	11,372	11,768	△ 396	0.5%
	ふれあい交流館費	8,901	8,773	128	0.4%
	文化センター施設管理費	105,609	107,119	△ 1,510	4.8%
	鳳ホール管理運営費	7,942	12,388	△ 4,446	0.4%
	公民館建設費	56,500	149,987	△ 93,487	2.6%
	博物館費	55,142	74,918	△ 19,776	2.5%
保健体育費		594,433	328,354	266,079	27.1%
	保健体育総務費	11,468	11,967	△ 499	0.5%
	学校給食費	263,362	250,732	12,630	12.0%
	体育施設費	319,603	65,655	253,948	14.6%
合計		2,189,407	1,764,719	424,688	100.00%

2 教育総務課機構図



3 教育総務課事務分掌

係	分掌事務の概要
教育総務係	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育委員会事務に関すること。 2 教育委員会条例、規則及び訓令等の制定並びに改廃に関すること。 3 予算の編成、執行管理及び決算に関すること。 4 職員の任命、分限、懲戒その他身分に関すること。 5 調査、統計、表彰、教育要覧に関すること。 6 職員給与、公立学校共済組合、互助会、公務災害及び退職手当組合に関すること。 7 公文書の受付に関すること。 8 備品台帳、履歴書、職員台帳に関すること。 9 公印保管に関すること。 10 読谷村育英会に関すること。 11 教育委員会の事務点検・評価に関すること。 12 総合教育会議の事務に関すること。 13 教育の日に関すること。 14 その他、他課に属しないこと
施設係	<ol style="list-style-type: none"> 1 小学校、中学校及び幼稚園施設の整備計画、実施に関すること。 2 学校施設関係調査及び報告に関すること。 3 予算の編成、執行管理及び決算に関すること。 4 小学校、中学校及び幼稚園施設の実態調査及び推計調査に関すること。 5 学校用地に関すること。 6 公立学校施設台帳の整備に関すること。 7 公立学校施設整備費国庫補助金事業に関すること。 8 学校施設環境改善交付金事業に関すること。 9 防衛省補助事業に関すること。 10 防音関連維持費助成に関すること。 11 その他、国、県等の補助事業に関すること。 12 小学校、中学校及び幼稚園の施設管理委託業務に関すること。 13 小学校、中学校及び幼稚園施設の維持、修繕に関すること。 14 その他、小学校、中学校及び幼稚園の施設に関すること。
学務係	<ol style="list-style-type: none"> 1 特別支援教育奨励費補助金に関すること。 2 要保護、準要保護児童生徒援助費補助金に関すること。 3 予算の編成、執行管理及び決算に関すること。 4 通学区の設定に関すること。 5 義務教育国庫負担法に基づく教材費国庫負担補助事業に関すること。 6 小学校、中学校及び幼稚園の備品に関すること。 7 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。 8 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること。 9 学校職員並びに児童生徒の保健、安全に関すること。 10 マイクロバスに関すること。 11 児童・生徒の県外派遣費に関すること。 12 教科用図書の給与事務に関すること。 13 その他、学務に関すること。

4 学校施設

(1) 校舎等保有状況

令和2年5月1日現在

学校名	児童生徒数		学級数		必要面積	校舎				達成率%
	普通	特殊	普通	特殊		保有面積 m ²				
						RC造	木造	その他	計	
渡慶次小学校	615	18	20	3	5,677	4,548		355	4,903	83.81
読谷小学校	609	24	20	4	6,482	5,873			5,873	90.69
喜名小学校	503	21	18	4	5,836	5,629			5,629	96.45
古堅小学校	569	36	19	6	6,013	5,590			5,590	95.72
古堅南小学校	596	22	21	4	6,098	5,232		167	5,399	88.32
計	2,892	121	98	21	30,106	26,872		522	27,394	92.14
読谷中学校	810	22	22	4	8,483	8,258			8,258	103.17
古堅中学校	528	9	16	3	6,450	7,498			7,498	113.04
計	1,338	31	38	7	14,933	15,756			15,756	107.65
合計	4,230	152	136	28	45,039	42,628		522	43,150	97.26
渡慶次幼稚園	48	0	2	0	692	479			479	69.22
読谷幼稚園	80	0	4	0	901	741			741	82.24
喜名幼稚園	52	0	2	0	692	566			566	62.82
古堅幼稚園	72	0	3	0	901	705			705	66.38
古堅南幼稚園	71	0	3	0	901	666			666	73.92
計	323	0	14	0	4,087	3,157	0	0	3,157	70.83

(1) 教室保有状況

令和2年5月1日現在

学校名	普通教室		特別教室		特別教室の保有状況													その他	
	必要数	保有数	必要数	保有数	理科	生活	音楽	図画工作	美術	技術	家庭	外国語	視聴覚	コンピュータ	図書室	特別活動	教育相談		進路(生徒)指導
渡慶次小学校	24	26	10	7	1	0	1	0	-	-	1	-	0	1	1	1	1	-	2
読谷小学校	24	26	10	6	1	0	1	0	-	-	1	-	0	1	1	0	1	-	2
喜名小学校	22	24	10	8	1	0	1	0	-	-	1	-	1	1	1	0	2	-	2
古堅小学校	25	28	10	7	1	0	1	0	-	-	1	-	0	1	1	1	1	-	3
古堅南小学校	25	27	10	7	1	0	1	0	-	-	1	-	0	1	1	1	1	-	1
計	120	131	50	35	5	0	5	0	-	-	5	-	1	5	5	3	6	-	10
読谷中学校	26	30	16	16	3	-	2	-	2	1	2	0	1	1	1	0	1	2	4
古堅中学校	19	20	16	16	2	-	2	-	1	1	2	0	1	1	1	3	1	1	1
計	45	50	32	32	5	-	4	-	3	2	4	0	2	2	2	3	2	3	5
渡慶次幼稚園	2	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
読谷幼稚園	4	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1	-	-	-
喜名幼稚園	2	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
古堅幼稚園	3	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
古堅南幼稚園	3	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1	-	-	-
計	14	17	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	0	-
合計	179	198	82	75	10	0	9	0	3	2	9	0	3	8	10	13	8	2	15

※小学校の多目的室、幼稚園の遊戯室は特別活動室に含む

(3) 学校敷地の保有状況

令和2年5月1日現在

学校名	校舎敷地		屋外運動場		学校敷地	
	事項	現有㎡	事項	現有㎡	事項	現有㎡
渡慶次小学校		10,354		4,250		14,604
読谷小学校		12,655		10,448		23,103
喜名小学校		17,430		17,721		35,151
古堅小学校		17,683		10,554		28,237
古堅南小学校		15,643		22,635		38,278
計		73,765		65,608		139,373
読谷中学校		20,100		14,900		35,000
古堅中学校		11,758		22,619		34,377
計		31,858		37,519		69,377
合計		105,623		103,127		208,750

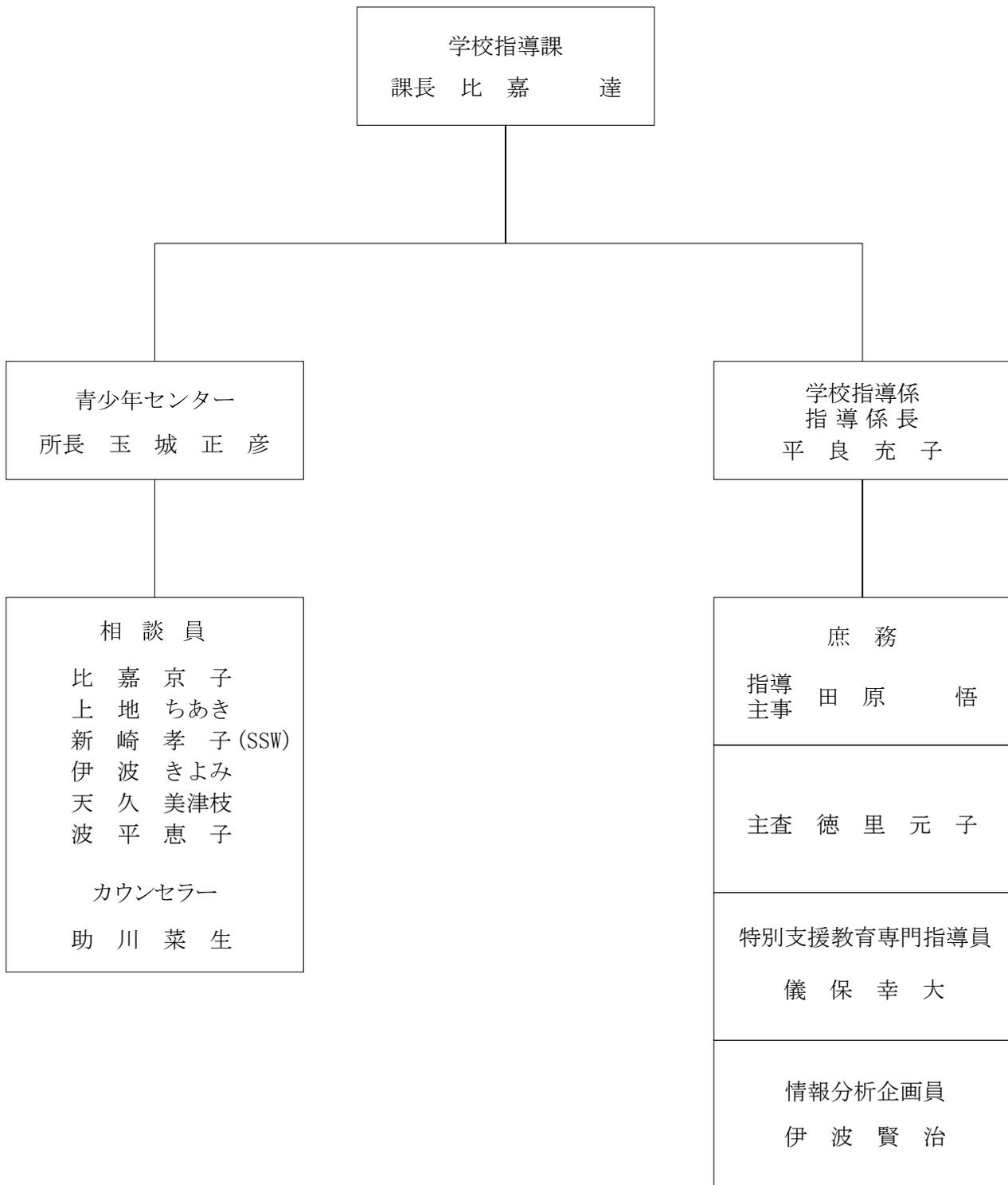
(4) 屋内運動場及び水泳プールの保有状況

令和2年5月1日現在

学校名	屋内運動場		水泳プール			柔剣道場	
	建築年	現有㎡	建築年	水面積㎡	附属室㎡	建築年	現有㎡
渡慶次小学校	平成23年	1,024	平成2年	400	123		
読谷小学校	平成16年	1,213	平成4年	400	136		
喜名小学校	平成11年	1,215	昭和62年	400	143		
古堅小学校	平成10年	1,215	昭和61年	488	159		
古堅南小学校	昭和57年	1,192	平成1年	400	147		
計		5,859		2,088	708		
読谷中学校	平成22年	1,511	平成22年	400	333	平成22年	350
古堅中学校	平成7年	1,222	平成5年	400	159	平成1年	356
計		2,733		800	492		706
合計		8,592		2,888	1,200		706

IV 学校指導課

1 学校指導課機構図



2 学校指導課事務分掌

係	分掌事務の概要
学校指導係	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校経営、教育課程に関すること。 2 校長会及び教頭会に関すること。 3 学校訪問指導及び教職員の研修計画に関すること。 4 学校運営協議会に関すること。 5 叙勲に関すること。 6 中学生海外ホームステイ事業に関すること。 7 県教員の人事に関すること。 8 学籍に関すること。 9 青少年センターに関すること。 10 予算の編成、執行管理及び決算に関すること。 11 学力向上推進に関すること。 12 研究校、モデル校に関すること。 13 「学校教育指導の重点」に関すること。 14 特別支援教育に関すること。 15 幼児、児童及び生徒の交通安全指導に関すること。 16 副読本の編集に関すること。 17 学校関係調査、統計に関すること。 18 いじめ対策委員会に関すること。 19 教育実習生の受け入れに関すること。 20 中部広域市町村圏事務組合に関すること。 21 教職員名簿、履歴書の保管に関すること。 22 幼児教育推進に関すること。 23 教職員評価システムに関すること。 24 情報教育推進に関すること。 25 幼小中連携に関すること。
青少年センター	<ol style="list-style-type: none"> 1 電話、面接、教育相談に関すること（子ども・保護者） 2 児童生徒のメンタルサポート、学習支援及び体験活動に関すること。 3 教育相談活動、青少年育成に係わる機関及び団体との連携に関すること。 4 読谷村青少年健全育成協議会に関すること 5 その他、青少年の健全育成に関すること

3 令和2年度 児童・生徒・学級数及び教職員数

令和2年5月1日現在

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計	教職員数		幼稚園(下は預かり)				
	学級数	児童数	学級数	児童数		学級数	児童数	費	員数	園児数	教員数									
渡慶次小学校	3	97	4	113	3	97	4	128	4	96	3	105	3	636	29	7	36	48	2	6
	情(1)		情(2)		情(3)		情(3)		情(2)	情(2)		情(1)		知(6) 言() 肢() 情(12)				43		2
読谷小学校	4	115	3	97	4	122	3	94	3	104	3	101	3	633	33	7	40	80	4	7
	知(1) 肢(2) 情(3)		知(1) 肢(1)		知(1) 情(5)		知(1) 情(5)		知(1) 情(1)	知(1) 情(1)		知(3) 情(1)		知(7) 言() 肢(3) 情(14)				74		3
喜名小学校	3	93	3	97	3	79	3	102	3	78	3	75	3	524	28	7	35	52	2	7
	知(2) 情(2)		知(3) 情(2)		知(2) 情(4)		知(2) 情(1)		知(1) 情(3)	知(1) 情(3)		知(1) 情(2)		知(11) 言() 肢() 情(10)				46		2
古堅小学校	4	109	3	90	3	100	3	95	3	104	3	107	3	605	36	7	43	72	3	6
	知(1) 情(1)		知(1) 情(3)		知(3) 情(5)		知(4) 情(5)		知(3) 肢(1) 情(4)	知(3) 肢(1) 情(4)		知(3) 情(2)		知(15) 言() 肢(1) 情(20)				56		2
古堅南小学校	3	95	4	108	4	111	4	110	4	104	3	90	3	618	33	6	39	71	3	8
	情(4)		知(2) 情(3)		情(4)		知(1) 情(2)		知(1) 情(2)	知(1) 情(2)		情(3)		知(4) 言() 肢() 情(18)				64		3
小計	17	509	17	505	17	509	17	529	17	486	15	478	15	3,016	159	34	193	323	14	34
	知(4) 言() 肢(2) 情(11)		知(7) 言() 肢(1) 情(10)		知(7) 言() 肢(1) 情(16)		知(9) 言() 肢() 情(16)		知(9) 言() 肢(1) 情(12)	知(9) 言() 肢(1) 情(12)		知(7) 言() 肢() 情(9)		知(43) 言() 肢(4) 情(74)				283	0	12
読谷中学校	8	285	7	285	7	262	7	262	7	262	7	262	7	832	50	7	57			
	知(2) 情(7)		知(2) 言(1) 情(7)		知(3) 情(1)		知(3) 情(1)		知(3) 肢(1) 情(1)	知(3) 肢(1) 情(1)		*		知(7) 難(1) 肢() 情(15)						
古堅中学校	6	186	5	185	5	166	5	166	5	166	5	166	5	537	36	7	43			
	情(2)		知(1) 肢(1) 情(3)		肢(1) 情(1)		肢(1) 情(1)		肢(1) 情(1)	肢(1) 情(1)		*		知(1) 言() 肢(2) 情(6)						
小計	14	471	12	470	12	428	12	428	12	428	12	428	12	1,369	86	14	100			
	知() 言() 肢(2) 情(9)		知(3) 言(1) 肢(1) 情(10)		知(3) 言(1) 肢(1) 情(2)		知(3) 言(1) 肢(1) 情(2)		知(3) 言(1) 肢(1) 情(2)	知(3) 言(1) 肢(1) 情(2)		*		知(8) 難(1) 肢(2) 情(21)						
合計														4,385	245	48	293			
														知(51) 難(1) 肢(6) 情(95)						

※()内は特別支援学級児童生徒数で内数に
なっている。
*知：知的障害学級
*難：難聴学級
*肢：肢体不自由学級
*情：情緒学級

※R2教科別教職員需給計画書、R2学級編制表 参照

4 令和2年度 読谷村指導行政構想図

創造性・国際性に富み社会に貢献する人材の育成と生涯学習の振興

伝統文化・創造性・国際性の息づくうふにし教育構想

確かな学力の向上を図る教育の充実

伝統文化の継承と国際化、情報化等の現代的課題に対応した教育の推進

じりつ(自立・自律)する学校・家庭・地域づくりの推進

☆「学びの質」を高める「子ども視点」授業改善

- 方策1 日常化する【質的授業改善】
- 方策2 そろえる【組織的共通実践】
- 方策3 支える【発達の支援】
- 方策4 見通す【学校組織マネジメント】
- 方策5 つなぐ【学校連携・地域連携】

☆実践7項目の取り組みの充実及び強化

- ①学力向上に向けての授業改善
- ②教材研究の充実
- ③各種調査を活用した授業づくり
- ④授業の基盤となる支持的風土をつくる学級経営
- ⑤学習を支える力の育成
- ⑥読書活動の充実
- ⑦基本的生活習慣の形成

☆研修の充実

- ①教職員全体研修会の充実
- ②校種・教科を越えた研修の充実
- ③ミドルリーダー県外先進地視察研修
- ④臨時的任用教諭研修の充実
- ⑤諸調査の実施

☆伝統文化の理解

- ①読谷まつりへの参加
- ②「陶芸教室」「やちむん体験」等の推進
- ③「スリー語やびらしまくとうば大会」への参加
- ④学校行事における伝統芸能の継承
- ⑤伝統文化の地域学習の充実

☆国際理解教育の推進

- ①学校教育全体を通じての国際理解教育の推進
- ②小学校における外国語活動と外国語科の充実
- ③中学校の外国語(英語)教育の充実
- ④中学生海外ホームステイ派遣事業
- ⑤小中学校へのALTの派遣

☆情報教育の推進

- ①学習支援ソフトの充実
- ②ICT環境(情報端末)整備の充実
- ③ICT教育機器の活用拡大

☆社会に開かれた教育課程の実現

- ①教職員評価システムを活用した全員参画の学校経営の推進
- ②学校運営協議会を活用し、保護者や地域の人々が参画できる学校経営の推進
- ③学校施設・設備の開放による社会教育の推進
- ④幼小中における校種間の連携

☆学校における創造的で連携・協力できる職場環境づくり

- ・効率的・効果的な職員会議及び研修会の実施

☆家庭・地域の教育力の活用促進

- ①地域人材及び地域素材の活用
- ②職場体験学習の充実
- ③小学校子ども見守り隊との連携
- ④学校・地域の連携による夏休みサマースクールの実施
- ⑤家～なれ～運動の推進

☆幼稚園複数年保育の拡大

教育行政構想実現のための5つの基礎条件

心の教育の充実	確かな学力の確実な定着	健やかな体の育成	教職員の資質・能力の向上	学校・家庭・地域との連携・協力
<ul style="list-style-type: none"> ①教育活動全体で取り組む道徳教育の充実 ②道徳的価値の自覚を深める授業の充実 ③豊かな人間性を育む人権教育の充実 ④発達の段階に応じたキャリア教育の推進 ⑤道徳教育及び人権・平和教育の充実 ⑥客観的な資料による学級の実態把握(i-check) 	<ul style="list-style-type: none"> ①単元を通して資質・能力を育む授業改善の推進 ②支持的風土のある学校経営・学級経営 ③カリキュラムマネジメント及び年間サイクル×2の確立 ④キャリア教育の視点を踏まえた校種間連携強化 ⑤国際社会に対応できるコミュニケーションを図る資質・能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ①全校体制による体力向上の推進(一校一運動等) ②食生活や生活習慣に関する指導の充実 ③学校安全・防災教育の充実 ④学校・家庭・地域社会と連携した健康教育の充実 ⑤クラブ・運動部活の充実 ⑥食育に関する指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①キャリアステージに応じた研修の充実 ②各種研修会の充実 ③授業研究会を核とした校内研修の充実 ④県外先進校視察研修の充実 ⑤研究指定校によるプログラミング教育の推進 ⑥特別支援教育の支援員研修会の実施 ⑦臨時的任用教諭の授業研究の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ①村教育委員会と学校との報告・連絡・相談体制の機能化 ②学校運営協議会の充実 ③望ましい生活リズム(24時間時計等の活用) ④体験の場づくりや地域人材の積極的な活用 ⑤地域ぐるみの「凡事徹底」(あいさつや声かけ) ⑥公約・評価・公表による学校づくりの推進

子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実

5 令和2年度 読谷村学力向上推進体系

創造性・国際性に富み社会に貢献する人材の育成と生涯学習の振興

読谷村の教育目標

自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上をめざすとともに、正しい判断力と豊かな表現力、ねばり強さをもつ、幼児児童生徒を育成する。

「ゆたさある風水 優る肝心 咲き誇る文化ど 想い合ち」の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際化・情報化社会で活躍する心身ともに健全な村民を育成する。

学校、家庭、地域社会が相互連携し、村民の多様な要請に応え、時代の変化に対応し得る教育の方法を追求するとともに社会に貢献できる人材の育成と、生涯学習社会を推進する。

学力向上推進の目標 幼児児童生徒一人一人の「確かな学力」を向上させ「生きる力」を育む ～学校、家庭、地域の連携・協力を通して～

基本方針

- 『学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ』や『「問い」が生まれる授業サポートガイド』を活用して、日頃の授業を見直し、授業改善を図る。
- 児童生徒に基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、活用する力を育成するために、授業と連動させた宿題のあり方等を工夫するなど、児童生徒の主体的な態度を育成する。
- 児童生徒の思考力・判断力・表現力等を育む観点から、各教科等を通して「言語活動の充実」を図る。
- 予想や見通しを立てたり、実際に確かめたり、比較・分類したり、考察したりするなどの問題解決的な学習や、表現したり、活動を振り返ったりするなどの学習活動を工夫する。
- キャリア教育の視点を踏まえて、学校、家庭、社会との連携を円滑にし、夢や目標を持たせる取組を行い、児童生徒に「学ぶ意義」を実感させ、主体性の育成を図る。

学校教育委員会

目標

学習指導要領で示された新しい時代に求められる資質・能力を育むことを目指した学びの質を高める授業改善を推進するとともに、その土台となる学級や学校の雰囲気・心を醸成する学校改善の推進をめざす。その際、「自己肯定感の高まり」「学び・育ちの実感」「組織的関わり」の3つの視点に基づき、以下の5つの方策に取り組み、授業の質的改善と学校改善を推進しながら学力向上を図る。

方針

- ①校長を中心に全職員が一体となって推進する。
- ②学校間・校種間の実践交流を図り幼稚園・小学校、中学校の連携を充実させる。
- ③学年会や教科部会、学校全体での統一・徹底・連動・評価の実践を図る。
- ④ICTを活用した新たな時代の授業実践を推進する。
- ⑤保護者や地域、教育委員会との連携を密にし、目標達成をめざす。

実践7項目

- ①学力向上に向けての授業改善
- ②教材研究の充実
- ③各種調査を活用した授業づくり
- ④授業の基盤となる支持的風土をつくる学級経営
- ⑤学習を支える力の育成
- ⑥読書活動の充実
- ⑦基本的生活習慣の形成

幼稚園共通実践3項目

- ①あいさつや返事をする。
- ②話を聞いたり考えたりする。
- ③生活の場を整えるようにする。

家庭・地域教育委員会

目標

家庭・地域は子供たちに自らのよさや可能性を実感させながら、基本的生活習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、調和のとれた心身の発達を支援するなど、学校と連携・協力を進め、地域の将来の担い手である子供たちの教育活動に積極的に関わり、子供たちの夢実現を支援する取組に努める。

方針

- ①読谷村PTA連合会を中心に各単Pが連携・協力をして取り組む。
- ②各単Pの自主的な取り組みも推進する。
- ③我が家の一事徹底を推進する。
- ④「家～なれ～運動」を推進する。
- ⑤安全見守隊等の設立と活動支援の推奨
- ⑥読谷村子ども会育成連絡協議会を中心に各自治会の子供育成会と活動を連携する。
- ⑦各自治会の子供育成会の自主的な取り組みも推進する。
- ⑧地域での体験活動、勤労奉仕的活動等を計画的に実施する。

実践7項目

- ①生活リズムの確立
- ②規範意識・マナーの形成
- ③健康・食生活の改善・向上
- ④地域安全活動の充実
- ⑤夢や希望に関する活動の充実
- ⑥さまざまな人と関わる体験活動の推進
- ⑦地域行事への積極的な参加



学校の指導体制の改善・組織文化の創造

学校、家庭、地域関係機関・協力

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた持続可能な学校づくり

渡慶次幼稚園



園長 松田 忠

読谷村字渡慶次32番地

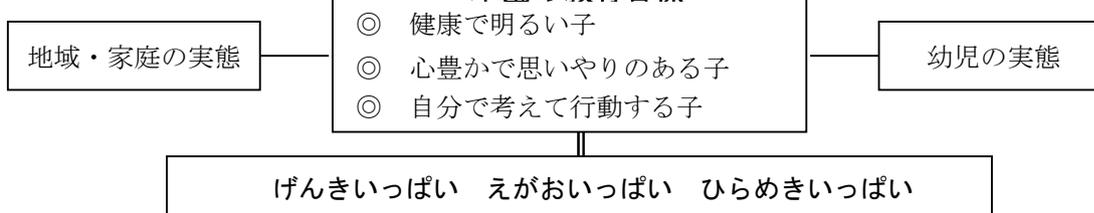
TEL (098) 958-5688

I 幼稚園教育要領に基づいた特色ある幼稚園教育の具現化

本園の教育の基本的な考え方

幼稚園教育要領を基本にして、幼児の実態や幼児を取り巻く環境(園・家庭・地域)の実状を踏まえ、豊かな人間性を培い、郷土の文化を愛し、心身共に健全な幼児の育成を目指す。更に、変化の激しい社会に対応し、正しい判断力と逞しい実践力を身に付け、新しい時代を創造し、生きていくための基礎を培う。

本園の教育目標



特色ある幼稚園教育の具現化

教育課程の編成

- ・法令及び教育要領に基づき、創意工夫を生かし、幼児の心身の発達と幼稚園及び地域の実態に即した、適切で特色ある教育課程を編成する。

地域社会に親しみを持たせる

- ・地域の自然、人材、施設などを積極的に活用し、文化や行事等の直接体験や豊かな生活体験を通して、地域に関心を持ち、地域を思う子を育てる。

協調性や自己抑制力の育成

- ・教師と幼児、幼児間、幼児と園長、地域の人々などの人的環境を構成し、その関わりを通して、他者の存在を意識し、協調性や自己を抑制しようとする気持ちを育てる。

生きる力の育成

- ・全ての教育活動を通して、本幼稚園の教育目標を具現化し、更に、自ら判断し行動する子、他者と協力できる子、健康で皆と遊べる子、他者を思いやる子などの「生きる力」を育む。
- ・幼児が遊びの中で、主体性を発揮し、生きる力の基礎を培う。

保幼小の連携

- ・子どもの豊かな発達の連続性に鑑みてそれぞれが独自性を保ちつつ、繋がりあい、融けあつて子ども達の生活や学びの場としての連携のあり方を考える。
- ・保幼小が、互いの関係性を基調とし相互に理解し、学びあつて互恵性のある連携のあり方について考える。

家庭、地域との連携

- ・家庭や地域の教育力が育ちに影響を与えることを鑑み、相互理解に努め信頼関係を築き、連携の強化を図っていく。また、地域の実態や保護者の要請により、教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動として「預かり保育」を位置づけ、読谷村教育委員会の指導の下、他の読谷村公立幼稚園との共通理解を図りながら実践していく。

環境構成

幼稚園教育の基本を捉えた環境構成

- ・幼児の主体的な活動が促されるよう、幼児一人一人の行動と理解に基づき計画的に環境を構成する。
- ・幼児と人や物との関わりが重要であることを踏まえ、人的・物的・空間的な環境の構成に努める。

個々の教師の指導力と組織的指導力の強化

- ・園内研修を充実させ、チーム保育に努め、全職員で幼児全員及び園全体を把握し関わっていく。

II 園経営

1 教育目標

	目 標	指 標
1	健康で明るい子 (げんきいっぱい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気よく遊ぶ子 ・ 粘り強く 最後まであきらめない子 ・ 苦手な事にも挑戦しようとする子 ・ 規則正しい生活リズムが身につけている子
2	心豊かで 思いやりのある子 (えがおいっぱい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 互いの思いを伝え合って、生活を楽しむ子 ・ 絵本やお話に触れ、親しむ事が好きな感性豊かな子 ・ 周りの友達の気持ちになって物事を考え、判断し、我慢する事もできる子
3	自分で考えて 行動する子 (ひらめきいっぱい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の意思を、しっかり言える子 ・ 状況を判断し、行動する子 ・ 遊びや生活を進める中で、創意工夫を楽しむ子

2 経営方針

- ・ 教育目標の実現を目指して構築した教育課程に添って、意図的・計画的な教育実践に努める。
- ・ 園内研修を充実させ、全職員が全園児に関わりながら幼児理解に努め、個々の発達の課題に即した指導の有り方を工夫する。
- ・ 幼児の発達に必要な生活の場を確保する。
 - ① 幼児が幼児らしく居られる場としての環境づくり
 - ② 安心できる居心地のよい環境づくり
 - ③ 多様な体験ができる環境の工夫
 - ④ 様々な人やモノと出会える環境の工夫
- ・ 保護者の意見や要望などに適切に対応しながら、保護者の意識の高揚を図り、子育てを支援する教師としての力量を高める。
- ・ 地域に出向いたり、招待したりして地域を知り、地域の教育力を生かす意図的・計画的な交流を図る。
- ・ 保護者参加型の保育を計画し、工夫しながら連携を密にしていく。
- ・ 幼稚園から小学校への滑らかな接続のため、それぞれの独自性と連続性を明確にしながら交流、連携を図る。

3 本年度の重点目標

- ◎健康的な生活リズムを身につけ、意欲的に活動に取り組む子を育てる。
- ・ 親しみをもってあいさつや返事をする子
 - ・ 片づけをしたり身近な場所を進んで整え楽しく遊ぶ子
 - ・ 親しみをもって先生や友達の話を聞く子

4 本年度の努力点

【個に応じた指導の充実を図るために】

- ・全園児を全職員でみる事を認識し、チーム保育に努め、日々の生活の中から出てくる課題等に全職員で取り組み、子ども理解に基づいた指導を工夫する。園生活に馴染めない子や支援を要する子については、十分な話し合いと必要に応じて専門機関と連携を密にした実践をする。
- ・「あいさつ、片付け、返事、話を聞く」など基本的な生活習慣の定着を根気強く、繰り返し指導や援助を行う。また、自立への意欲を育みながら自らの生活習慣形成に取り組めるように促していく。

【環境の見直し】

- ・園児一人一人が、好奇心や探求心を発揮して関わり、知的好奇心を満足させられる環境づくりに努める。(発見・不思議・試す・触れる・季節感のある植物など)
- ・動植物を通して感動体験のできる環境の見直し、直接的・体験的活動充実のための環境構成をする。
- ・園生活の全ての場で、模範となる教師の環境づくりに努める。

【豊かな表現のために】

- ・身近な人とのかかわりの中で、場に応じたあいさつや親しみをこめて対応ができるようにする。
- ・互いの関係性を大切にし、思いを伝えたり、共感しあったりすることができるような体験を積み重ねさせる。
- ・読み聞かせ、園文庫の活用など絵本や物語に親しませる。

【家庭・地域との連携の中で】

- ・地域、家庭との連携を密にし、あらゆる機会を通して情報交換を行い、子育て支援に繋がるように努める。
- ・保護者との日常的な触れ合いと同時に、保育参観、学級懇談会、個人面談、園便り、連絡ノートなどを通して家庭との連携を密にし、子育てについて共通理解を図る。
- ・保育園、小学校、中学校、地域との積極的な交流を図り、幼稚園理解・幼児理解に繋ぐ。
- ・保護者へ年度当初に経営について説明をし、園教育のあり方の理解を深める。
- ・保育参観では、保育の視点を明らかにし、活動の取り組みの様子や発達など理解を図る。
- ・園の評価を実施し、その都度、説明責任を果たしながら家庭との連携を図る。

【保幼小との連携の充実】

- ・合同研修、情報交換(特別支援等も含め)、交流授業、公開保育、研究授業参観など積極的に実施し、教師間・児童と園児の交流を充実させ、幼稚園から小学校への滑らかな接続を図る。
- ・接続期カリキュラムからスタートカリキュラムの実践と検証を行い改善を図る。

【健康・体力の育成】

- ・日常的な遊びや運動遊び、食育の指導など積極的に取り入れ、幼児の健康な身体づくりに努める。

Ⅲ 学級編成・住所別園児数及び職員構成

(1) 学級編成

学級	男 児	女 児	合 計	担 任 名
1 組	9	15	24	遠 山 龍 太 郎
2 組	11	14	25	新 垣 結
合 計	20	29	49	

(2) 住所別園児数

	渡慶次	儀 間	宇 座	瀬名波	長 浜	高志保	校区外	合 計
1 組	6	0	1	6	9	0	2	24
2 組	6	0	0	6	11	1	1	25
合 計	12	0	1	12	20	1	3	49

(3) 職員構成

職 名	氏 名
園 長	松 田 忠 (まつだ ただし)
副 園 長	宜 保 あずさ (ぎぼ あずさ)
教 諭	遠 山 龍 太 郎 (とおやま りゅうたろう)
教 諭	新 垣 結 (あらかき ゆい)
幼 稚 園 教 育 支 援 員	上 原 綾 音 (うえはら あやね)
特 別 教 育 支 援 員	照 屋 温 子 (てるや あつこ)
一 時 預 かり 保 育 担 当 職 員	古 謝 かおり (こじゃ かおり)
一 時 預 かり 保 育 担 当 職 員	知 名 民 子 (ちな たみこ)

読谷幼稚園



園長 稲嶺 盛久

読谷村字高志保1277番地 1

TEL (098) 958-5736
FAX (098) 989-4022

1 本園の教育目標

<めざす子ども像>

「健康的な生活習慣や態度を身につけ、思考力や豊かな心情を高め意欲的に生活する子」
～お話いっぱい 優しさいっぱい 笑顔いっぱい 読谷幼稚園～

(1) 教育目標

幼児一人一人の特性を生かして、自主性、自発性を受け止め、心豊かで心身共に健康な子どもを育てるために、次の目標を設定する。

◎考えて行動できる子 〈おはなしいっぱい〉

- ・人の話を静かに聞く
- ・自分の思ったことをはっきり伝える
- ・生活を楽しむ中で、工夫したり試したりする
- ・安全な行動ができるようにする

◎心豊かな子 〈やさしさいっぱい〉

- ・進んであいさつをし、元気な声で返事をする
- ・ていねいな言葉を使う
- ・きまりや約束を守る
- ・美しいものを見つけ、心から感動する
- ・友だをいたわり、力を合わせて生活する

◎健康で明るい子 〈えがおいっぱい〉

- ・元気によく遊ぶ
- ・最後までよくがんばる
- ・進んでいろいろなことに挑戦する
- ・規則正しい生活をする

(2) 経営方針

- ① 教師は、常に相互理解と信頼関係を持ち、共通確認を取りながら実践化に努める。
- ② 教師は、常に幼児一人一人の成長発達を捉え、幼児理解を図り、生活のあらゆる活動を通して自主性、自発性、創造性を高める。
- ③ 教師は、常に施設設備を整備し、幼児が安全に生活できる環境作りに努める。
- ④ 小学校、家庭、地域社会との連携を密にし、理解と協力を求め実践に努める。
- ⑤ 少子化、核家族化等の社会情勢の変化に伴い、家庭や社会のニーズに応じて預かり保育の実践に努める。

(3) 本年度の重点目標

- ① 基本的な生活習慣の形成と定着
- ② 話をよく聞き、自分の思いを伝えられる子

(4) 本年度の指導の重点

- ① 基本的な生活習慣が身につくように指導の工夫をする。

ア 社会生活に必要な習慣や態度の指導（あいさつ・返事、聞く態度、片付け）

【あいさつや返事をする】

- ・元気にあいさつや返事をする
- ・場に合ったあいさつや返事をする
- ・あいさつをかわしあう心地よさに気づく

【話をきいたり考えたりする】

- ・先生や友達の様子を見て話を聞く
- ・話す人の気持ちを考えながら話を聞く
- ・お話を聞いたり伝えたりする楽しさに気づく

【生活の場を整える】

- ・使ったものはもとの場所に返す
- ・みんなのもの（遊具や教材）を大切に使う
- ・楽しく安全に遊ぶために生活の場を整えることに気づく

イ 健康、安全に必要な習慣や態度の指導

- ② 幼児の主体的な活動が確保されるよう、幼児一人一人の行動の理解と予想に基づく、計画的な環境構成を工夫する。

ア 自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考える力を育てるための環境の工夫。

イ 他人を思いやる心、感動する心、豊かな人間性を育てるための環境の工夫。

ウ 思ったこと、考えたことを自分なりの言葉で表現し、言葉で交わす喜びを味わうようにするための環境の工夫。

(5) 具体的な指導の重点

- ① 生活における指導の重点

ア 基本的な生活習慣の定着

- ・使ったものは元の場所に戻し、生活の場を整える指導。
- ・話が聞きたくなり、話を聞く態度が育つ援助の工夫。
- ・楽しく遊びを展開する中で、生活に必要な習慣や態度が身につくための環境の工夫。

イ 家庭との連携

- ・早寝早起きの習慣や基本的な生活習慣など、園生活から家庭生活へ連続している幼児の生活を理解し、協力を得るために保護者との日常的な触れ合いや、保育参観、学級懇談会、個人面談、園便り、連絡ノートを活用し、家庭との連携を深める。
- ・幼児の成長を伝え合い、確かめ合えるような連携の場を工夫し、保護者との共通理解の上に保護者同士も共に育ちあえるような子育て支援の工夫をする。

ウ 安全に関する指導の充実

- ・一日の生活の流れの中で総合的に取り入れ、安全に対する「言葉かけ」をし、その場に応じて安全な行動がとれるように指導する。(固定遊具や用具の正しい使い方、廊下の歩き方、室内での遊び方など)
- ・朝の清掃活動の中で、危険なものや気をつける箇所などに気付かせ、一緒に整備をする中で安全意識を高める。(小石・木片・ぬかるみ等)
- ・避難訓練の実施(地震・津波、火災、不審者に対する指導など)
- ・交通安全教室の実施と降園指導の中で安全な歩行が出来るように指導する。

② 学びのための指導の重点

ア 様々な遊びの中で幼児が興味や関心をもち、全身を使って活動し、チャレンジしていく楽しさが味わえるような援助の工夫をする。【健康】

イ 環境を通して行う教育の充実 【環境】

- ・幼児相互、幼児と教師、教師相互の触れ合いを豊かにして好ましい仲間づくりに努め幼児一人一人が安定した生活ができる環境づくりを工夫する。
- ・幼児の遊びの動線にそった環境の構成を工夫し安全で充実した園生活ができるようにする。
- ・園庭の自然環境を整備し、季節感のある遊びを取り入れ 感動体験が出来るようにする。
- ・身近な自然環境との触れ合いの中で、動植物の生命尊重、思いやり、優しい心を育成する。
- ・地域の自然や文化、行事、多様な人材の環境を積極的に活用する。

ウ 保育所、小学校、地域との積極的な交流の中で思いやりの心を育む。【人間関係】

- ・幼小連携を密にし、参観や合同研修など交流を図る。
- ・地域のお年寄りや保育所との参観や交流を深める。

エ 紙芝居や絵本に親しめるように読み聞かせの充実を図る。【言語】

オ みんなの広場や誕生会、ニュースタイム(クラスでのひと時)等の集会の場を通して、自己発揮できる場を提供し、表現力や発表力また他の人の話を聞く態度を育む。【表現】

2 学級編成、住所別園児数及び職員構成

(1) 学級編成

	男 児	女 児	合 計	担 任 名
5歳児1組	14	10	24	伊 波 明日美
5歳児2組	15	10	25	平 田 光 恵
5歳児3組	15	9	24	花 城 梢
4歳児ほし組	3	4	7	當 山 尚 子
合 計	47	33	80	

(2) 住所別園児数

波 平	高志保	上 地	都 屋	校区外	合計
32	20	4	9	15	80

(3) 職員構成

職 名	氏 名
園 長	稲 嶺 盛 久 (いなみね もりひさ)
副 園 長	松 田 百合江 (まつだ ゆりえ)
教 諭	伊 波 明日美 (いは あすみ)
教 諭	平 田 光 恵 (ひらた みつえ)
教 諭	花 城 梢 (はなしろ こずえ)
教 諭	當 山 尚 子 (とうやま しょうこ)
幼稚園教育支援員	古 堅 友 子 (ふるげん ともこ)
特別支援教育支援員	山 内 真由美 (やまうち まゆみ)
一時預かり保育担当	上 地 小夜子 (うえち さよこ)
一時預かり保育担当	波 平 利 恵 (なみひら りえ)
一時預かり保育担当	比 嘉 ゆきの (ひが ゆきの)

喜名幼稚園



園長 外間 香代子

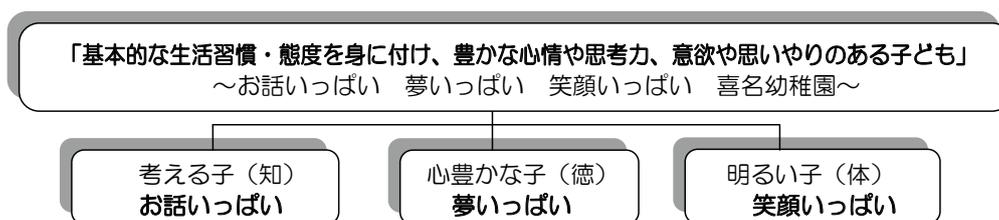
読谷村字喜名401番地

TEL (098) 958-4360

FAX (098) 987-8060

1 本園の教育

めざす子ども像



(1) 教育目標

幼児一人一人の特性を生かして、自主性、自発性を受け止め、心豊かで心身共に健康な子供を育てるために、次の目標を設定する。

① 自分で考えて行動する子

- ・人の話を静かに聞くことができる。
- ・自分の思ったこと、考えたことを伝えることができる。
- ・生活を楽しむ中で、工夫したり試したりできる。
- ・安全な行動ができる。

② 心豊かで思いやりのある子

- ・進んであいさつをし、返事ができる。
- ・決まりや約束を守ることができる。
- ・身近な動植物や自然とかかわることができる。
- ・友達と仲良く、力を合わせて生活することができる。

③ 健康で明るくねばり強い子

- ・元気でよく遊ぶことができる。
- ・最後まで頑張ることができる。
- ・規則正しい生活することができる。
- ・使った物をもとの場所に返すことができる。

(2) 経営方針

- ① 全職員の相互理解と信頼関係のもとに園内研修の充実、職員の資質向上に努め保育実践をする。
- ② 教師は常に幼児理解に努め、幼児期の発達の特徴を踏まえた総合的な指導の充実を図るとともに生活を通して、自主性、自発性、創造性を高める。
- ③ 教師は常に施設設備を整備し、幼児が安全に過ごせるような環境作りに努める。
- ④ 教師は、幼稚園の生活経験が小学校以降の生活や学習の基盤となるよう、発達や学びの連続性を踏まえた指導の充実に努める。
- ⑤ 幼稚園、家庭、地域社会との連携を密にし、理解と協力を求め、地域の教育力を生かした実践に努める。
- ⑥ 教師の指導力を高め、家庭・地域の教育力を最大限に発揮させる仕組の整備を図り、特色ある学校（幼稚園）づくりに努める。
- ⑦ 少子化・核家族化等の社会の変化に伴い、家庭や地域のニーズに応じて、預かり保育等の子育て支援に努める。

(3) 本年度の重点目標

- ① 保幼小連携を通じた発達や学びの連続性を踏まえた指導の充実
- ② 基本的な生活リズムや基本的な生活習慣の形成
- ③ 体験活動を通じた感性豊かな幼児の育成

(4) 本年度の指導の努力点

① 環境を通して行う教育の充実

- ・幼児の主体的な活動を促す環境の工夫に努める
- ・好奇心や探究心を育む環境の工夫に努める。（飼育栽培等）
- ・豊かな生活体験を通して感性を育む環境の工夫に努める。
- ・絵本コーナー・読み聞かせ・園文庫の利用などに努める。

② 遊びを通しての総合的な指導の充実

- ・ 幼児期の発達の特性を踏まえ、幼児の主體的な活動が教師との信頼関係に支えられた生活の中で充実感を味わうことができるよう、教師の援助のあり方を工夫する。
- ・ 幼児一人一人の実態を把握し、個々の発達の課題に応じた指導の充実に努める。
- ・ 発達や学びの連続性を踏まえた指導の工夫。(家庭・地域・保育所・小学校等)
- ・ 幼児の実態に即した指導計画の改善・工夫に努める。

③ 基本的な生活習慣の形成

- ・ 自立心を培い、健康で安全な生活習慣を身に付けさせる指導の工夫に努める。
- ・ 道徳性の芽生えを培う指導の工夫に努める。
- ・ 保育所・小学校・家庭地域等との緊密な連携と共通理解に努める。
(交流会、園だより、保育参観、懇談会、個人面談等)

④ 園内研修の充実

- ・ 各種研修会等で得た研修成果を園内研修で生かし共通理解を深め実践の共有化を図る。
- ・ 幼小連携の研修体制を整え、充実に努める。
- ・ 障がいのある幼児や支援を要する幼児については、家庭及び関係機関と連携しながら、正しい理解と必要な支援を行う研修及び研修体制の充実に努める。
- ・ 日々の記録を基にした保育カンファレンスを通して幼児理解を深めるとともに、実践的な研修を通して指導方法の改善・充実に努める。
- ・ 「幼稚園における学校評価ガイドライン」を踏まえ、評価項目を検討するとともに評価を生かした教育課程の工夫・改善を図る。

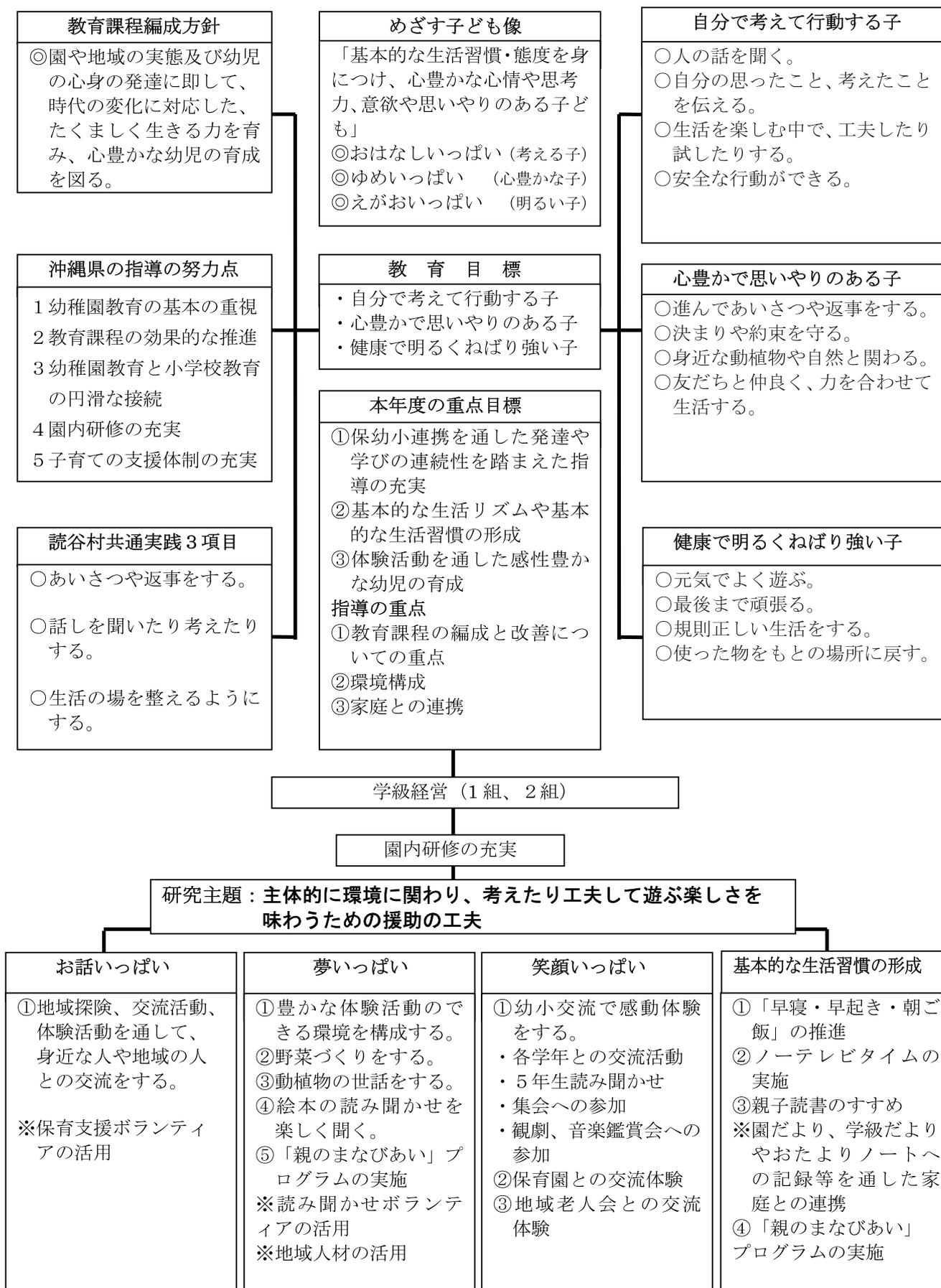
⑤ 新教育要領の理解と実践

- ・ 平成30年度から改訂し施行した「幼稚園教育要領」を理解し、幼児期の終わりまでに育てたい姿を見据え、個々の育ちを的確に援助できるよう、カリキュラムマネジメントの体制を置き、教育及び教師自身の質の向上に努める。

⑥ 安全教育の充実

- ・ 保護者と幼稚園が共通理解の上、協力しあい園児の交通安全指導にあたる。
- ・ 実践を通して交通ルールを身につけさせ、交通意識の高揚に努める。
- ・ 自分の足で歩くことによって体力をつける。
- ・ 自他の生命を尊重し、安全な暮らしを守る人(警察官、交通安全母の会、地域の交通指導ボランティアの方等)がいることを知り、感謝の気持ちを持つ。
- ・ 1日の生活の流れの中で総合的に取り入れ、その場に応じて安全な行動が取れるようにする。
- ・ 園内での事故発生の場合、小学校の養護教諭の協力を得て、迅速に対応する。
- ・ 小学校のお兄さん、お姉さんと決まった通園路を歩いて登園する。
- ・ 登園は右側通行をし、歩道があるところでは歩道を歩くことを指導する。
- ・ 車を利用する際は、安全確認をし、車の乗り降りに気をつけるよう指導する。
- ・ 登園児・雨天時は、安全面から校庭や園庭への車の乗り入れを禁止する。
- ・ 降園は個人迎え、預かり保育、学童等、保護者で選択し、保護者で責任をもつ。
- ・ 登校園の際は寄り道をしないことや知らない人の車に乗らないなどの指導も行う。
- ・ 登校園の際、不審者に対しての指導をくり返し行う。(近づかない、大声で助けを求め「子ども110番の家(太陽の家)」やスーパーなどに逃げ込む)
- ・ 「い・か・の・お・す・し」の指導。(いかない、のらない、おおきな声を出す、すぐにげる、しらせる)

(5) 「特色ある園」づくりの構想



2 園児数及び学級編成・職員構成

(1) 学級編成

学級名 \ 性別	男 児	女 児	合 計	担 任 名
1 組	17	9	26	我如古 笑 美
2 組	17	9	26	松 田 麻 美
合 計	34	18	52	

(2) 住所別園児数

性別 \ 字	喜 名	座喜味	伊良皆	その他	合 計
男 児	22	9	2	1	34
女 児	9	6	1	2	18
計	31	15	3	3	52

(3) 職員構成

職 名	氏 名
園 長	外 間 香代子 (ほかま かよこ)
副 園 長	仲宗根 郁 子 (なかそね いくこ)
教 諭	我如古 笑 美 (がねこ えみ)
教 諭	松 田 麻 美 (まつだ あさみ)
幼稚園教育支援員	與那覇 晴 香 (よなは はるか)
特別支援教育支援員	比 嘉 麻 圭 (ひが あさか)
特別支援教育ヘルパー	山 内 理 奈 (やまうち りな)
一時預かり保育担当職員	金 城 奈津紀 (きんじょう なつき)
一時預かり保育担当職員	東 ひとみ (あずま ひとみ)

古堅幼稚園



園長 仲村 美恵子

読谷村字楚辺999番地1

TEL (098) 956-4358

FAX (098) 987-8899

I 本園の教育

1 基本方針

- 教育基本法に則り、職員ひとり一人の指導力と、相互の連携を基調に、各自が教育公務員として自覚をし、園長を中心に協働姿勢を以って園経営にあたる。
- 時代の変化に対応した幼稚園教育を目指し、弾力的な園経営と共に、教育の充実発展のために、下記の事に留意し、鋭意努力する。
 - (1) 活気に満ち溢れ、健やかで、和やかな雰囲気が漂う幼稚園づくりに努める。
 - (2) 教師は教育環境の核として、幼児教育に於ける教師の使命を自覚し、常に識見と教養を高め、品位ある教師像を確立するように努める。
 - (3) 幼児一人ひとりが安定した生活を営むため、常に居心地のいい場所としての環境づくりに留意し、個に応じた支援が出来るよう指導法の改善工夫に努める。
 - (4) 望ましい幼児期の成長発達のために、小学校および家庭・地域との連携を密にする。特に幼小連携においては、併設園であることを活かし、小学校への円滑な接続を工夫する。

2 教育目標

目 標	指導の項目	指 標
自分で考え 行動する子 (知)	自発性 思考力 興味・関心 想像力 創造性	<ul style="list-style-type: none"> ○誰にでも進んであいさつができる子 ○人の話をよく聞き、思ったこと考えたことをはっきり言える子 ○集団生活における決まりを守り、友達と仲良く遊べる子 ○絵本やお話に親しみ、見たり聞いたり話したりすることを楽しむ子 ○感じたことや自分のイメージしたことを行動、言葉、絵等で表現する子 ○身近な物を使って試したり、工夫したり、考えたりして遊びを楽しむ子 ○自然に触れて生活する中で、自然の変化に気づき、不思議なことに疑問をもつ子 ○物事を良く考えて最後までやりとげることができる子
明るく思い やりのある子 (徳)	社会性 感受性	<ul style="list-style-type: none"> ○人にやさしく接し、思いやりがある子 ○誰とでも仲良く遊び、決まりや約束を守る子 ○友達と一緒に仕事を進める楽しさがわかる子 ○動植物には命があることを知り、いたわり大切にすること ○物を大切に扱い、みんなで協力して片付けることができる子
健康で たくましい子 (体)	健康 安全	<ul style="list-style-type: none"> ○健康な生活に必要な習慣や態度が身についている子 ○進んで色々なことに挑戦し、根気強く頑張る子 ○危ないこと、やってはいけないことが分かり安全な生活ができる子 ○進んで身体を動かし遊びを楽しむ子

3 経営方針

- (1) 教育目標の実現を目指して構成された教育課程に沿って、意図的・計画的な教育実践に努める。
- (2) 幼児一人ひとりの理解に基づき、環境を計画的に構成し、幼児の主体的な活動を援助するとともに、教師自らも幼児にとって重要な環境の一つになる。
 - ① 幼児一人ひとりと信頼関係を確立する。
 - ② 幼児理解に努め、個の高まりが集団の高まりになるよう援助のあり方を工夫する。
 - ③ 園全体を掌握した指導のあり方を教師間で共有する。
- (3) 保護者の意見や要望などに適切に対応し、保護者・教師間で相互に高まりあうようにする。
- (4) 保護者の参加や出番を工夫しながら、連携を密にしていくとともに、地域を知り、地域の教育力を活かす意図的、計画的な交流を図る。
- (5) 幼稚園から小学校への滑らかな接続のため、それぞれの独自性と連続性を明確にししながら、連携交流を深める。

4 重点目標

◎基本的な生活習慣の形成を図り、自立への意欲や道徳性の芽生えを育む。

5 指導の基本方針

(1) 教育課程の編成と改善についての重点

生涯にわたる人間形成の基礎となる幼児期であることをふまえ、幼稚園教育要領に基づき、一人一人の幼児の特性を生かし豊かな人間性を培うことを重点とする教育課程を編成する。

① 一人一人を大切に教育の推進

- ・幼児理解を基本とし、一人一人が主体性を発揮した生活を展開し、自分らしさを表現できる力を育てる。
- ・自然や動植物とのふれあいを通して、豊かな感性を育てるとともに自他の生命を大切にする心を育てる。

② 幼児期にふさわしい生活の展開

- ・興味や関心をもって自ら環境にかかわり、生活を展開する中で友達と共に考え、工夫しながら、知的好奇心や創造力を育てる。
- ・自信を持って行動し、健康で安全な生活ができるための基本的な生活習慣や態度、社会生活に必要な基礎的な技能を身につける。
- ・幼児の発達に必要な生活の場となるよう、小学校、家庭、地域社会との連携を計画的、組織的に実践できるよう工夫する。

(ア) 幼稚園教育が組織的、意図的な学校教育の基礎であること、さらに小学校との併設園である特性を活かし、小学校との連携を組織的、計画的に促進する。

(イ) 幼児の生活や発達は家庭との連続的なものであり、望ましい発達のための家庭との連携を密にする。

(ウ) 地域の中で育つ幼児として、地域の高齢者との交流や保育所、中学校との交流など計画的に推進する。

(エ) 地域の実情及び子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、幼児が安心して生活できる場としての観点から「一時預かり保育」を実施する。

(2) 環境構成

- ① 幼児と教師相互の関わり合いを大切にし、五感を使った豊かな体験活動のできる場を工夫する。
- ② 幼児一人一人が安定した生活ができる環境をつくる。
- ③ 幼児が安全で楽しく遊びが作り出せるよう、遊具や教具の環境構成を工夫する。
- ④ 地域の自然や施設（赤犬子宮、徳武佐、デイケアセンター）等を訪問し、保育に活用する。
- ⑤ 幼児が、伸び伸びと主体的に環境と関わられるような保育環境や美化活動、栽培活動の充実に努め、いつでも花や野菜のある明るく、潤いのある園づくりをする。

(3) 教師の援助の在り方

- ① 教師も一緒に同じ活動をすることによって楽しさを経験し、喜びを共感する。
- ② 子どもが互いに誘い合い、刺激し合えるような交流の場を設け、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わわせる。
- ③ 友達との遊びが十分に楽しめるよう環境設定の工夫をする。
- ④ 色々な体験ができ、満足感が味わえるように工夫したり試したりできる素材や遊具を用意する。
- ⑤ 園庭の整備と安全点検を行い十分な運動ができるようにする。
- ⑥ 園内に見られる空間や場が、子どもの発達に応じて変化し、作り出されていく環境であることを探り、教師間で共通理解し、見守る。
- ⑦ トラブルが起きた時は、お互いの気持ちがわかり合えるように聞いたり伝えたりして友達との接し方などを知らせていく。

(4) 特別支援教育

- ① 支援が必要な幼児に対しては全職員で共通理解すると共に、家庭との連携を取りながら、具体的に話し合い進め、より良い支援方法を見つけていく。
- ② 巡回相談や関係機関との連携を密にして、幼児、保護者へ適切な支援と対応ができるようにする。(特別支援教育支援員の配置、子ども未来課・幼保連絡会の開催)

(5) 「開かれた園づくり」

- ① 園だより、クラスだより、家庭訪問、保育参観、学級懇談会等を通して幼稚園教育に対する理解や協力を得る。
- ② 家庭との連携をとりながら、基本的な生活習慣の育成に努める。
- ③ 親子読み聞かせの奨励や、親の保育参観を推進し、家庭との連携を深める。
- ④ 保育園、小学校、中学校との交流を図り、幼稚園教育との連携を深める。
- ⑤ 地域との連携と人材活用を通して、幼稚園教育への関心を高め地域に開かれた園づくりを推進する。

6 本年度の努力点

(1) 個に応じた指導の充実を図るために

- ・全職員の相互理解と信頼関係をもとに、チーム保育に努め、日々の生活の中から出てくる課題等に全職員で取り組み、子ども理解に基づいた指導を工夫する。園生活に馴染めない子や支援を要する子については、十分な話し合いと必要に応じて専門機関と連携を密にした実践をする。
- ・健康な生活リズムの定着や、あいさつ、片付け、返事、話を聞くなど基本的な生活習慣の形成は、家庭との連携を密にしなが、繰り返し指導や援助を行う。また、自立への意欲を育みながら自らの生活習慣形成に取り組めるように促していく。

(2) 環境を通して行う教育の充実

- ・環境の見直しを常に心がけ、園児一人一人が、好奇心や探求心を発揮して関わり、知的好奇心を満足させられる環境づくりに努める。(発見・不思議・試す・触れる・栽培活動など)
- ・動植物とのかかわりや直接的・体験的活動充実のための環境構成をする。
- ・園生活の全ての場で、模範となる教師の環境づくりに努める。

(3) 豊かな表現のために

- ・身近な人との関わりの中で、場に応じた挨拶や親しみをこめて対応ができるようにする。
- ・互いの関係性を大切に、思いを伝えたり、共感しあったりすることができるような体験を積み重ねさせる。
- ・読み聞かせ、園文庫の活用など、絵本や物語に親しませる。

(4) 健康・体力の育成

- ・日常的な遊びや運動遊び、食育の指導などを積極的に取り入れ、幼児の健康な身体づくりに努める。

(5) 家庭・地域との連携の中で

- ・保護者との日常的な関わりを大切に、保育参観、学級懇談会、個人面談、園便り、クラス便り、連絡ノート、ポートフォリオなどを通して、幼児の日常的な様子から成長を分かち合い、分かりやすく幼児理解ができるように努める。
- ・保育所(園)、小学校、中学校、地域との積極的な交流を図り、幼稚園理解・幼児理解ができるように努める。

(6) 小学校との連携の充実

- ・合同研修、情報交換(特別支援等も含め)、交流授業、公開保育、研究授業参観などを実施し、教師間・児童と園児の交流を充実させ、幼稚園から小学校への滑らかな接続を図る。

(7) 幼稚園教育要領の理解と実践

- ・平成30年度から改訂施行した「幼稚園教育要領」を理解し、幼児期の終わりまでに育てたい姿を見据えながら、個々の育ちを的確に援助できるよう努める。

- ・カリキュラムマネジメントの体制を置き、保育及び、教師自身の資質向上に努める。
- (8) 複数年保育の実践
- ・各々の発達が十分に発揮でき、互いに育ち合えるよう、吟味した計画に基づいて環境を整え、実践に努める。
 - ・進級児が円滑な進級ができるよう、継続した活動内容の工夫に努める。

II 学級編成・地域別園児数及び職員一覧

《学年・学級編成》

	男 児	女 児	合 計	担 任 名
5歳児1組	12	17	29	新 里 綾 乃
5歳児2組	11	18	29	喜友名 きさら
4歳児にじ組	8	6	14	垣 花 美 蘭
合 計	31	41	72	

《地域別園児数》

楚 辺	都 屋	大 木	伊良皆	比 謝	校区外	合 計
31	2	19	14	1	5	72

《職員構成》

職 名	氏 名
園 長	仲 村 美恵子 (なかむら みえこ)
副 園 長	亀 島 敦 子 (かめしま あつこ)
学級担任	新 里 綾 乃 (しんざと あやの)
学級担任	大 城 真実恵 (おおしろまみえ) (育休代替) 喜友名 きさら (きゆな きさら)
学級担任	垣 花 美 蘭 (かきはな みか)
教 育 支 援 員	前 島 ゆかり (まえじま ゆかり) (4月～7月) 比 嘉 利 奈 (ひが りな) (8月～)
特別支援教育支援員	名 嘉 奈津子 (なか なつこ)
預 かり 保 育 士	比 嘉 のり子 (ひが のりこ)
預 かり 保 育 士	中 村 美 浦 (なかむら みほ)

古堅南幼稚園



園長 長嶺 浩也

読谷村字古堅612番地の1

TEL (098) 956-1128

FAX (098) 989-5250

I 本園の教育

1 基本姿勢

本園の特色ある環境、施設設備等を十分に生かし、幼稚園教育の充実発展のため、次の事に留意し鋭意努力する。

① 21世紀に生きる人間の育成

21世紀をたくましく生き抜く豊かな人間性と国際社会に貢献しうる実践力を身につけるため、新教育観に立った教育活動を展開する。

○豊かな心情、意欲の育成、健全な生活習慣、態度の育成。

② 地域、園の実態に即した教育活動の展開

適切な教育課程を編成し、自主、自立の精神の芽生えを培う教育活動を展開する。

○年間指導計画の改善、充実

○教育環境の整備

③ 小学校及び家庭との連携

小学校、保護者との信頼関係を基に実効性のある教育活動を展開する

○幼小連携による総合的な指導の展開

○家庭との連携による基本的な生活習慣の形成

2 園の教育目標

○ 自分で考え行動できる子

- ・人の話を静かに聞くことができる。
- ・自分の思ったこと、考えたことを伝えることができる。
- ・身近な環境に関わり、様々な事象に興味関心を持って考え発見を楽しむ事ができる。
- ・安全な行動ができる。

○ 素直で心豊かな子

- ・あいさつができる。
- ・決まりや約束を守ることができる。
- ・身近な動植物や自然とかかわることができる。
- ・友達と一緒に力を合わせて生活することができる。

○ 丈夫でたくましい子

- ・進んで身体を十分に動かし元気よく遊ぶことができる。
- ・最後まで頑張ることができる。
- ・自分の身体の健康に関心を持ち、安全な生活を進めていくことができる。

おはなしいっぱい南っ子

ゆめいっぱいの南っ子

やさしさいっぱい南っ子

3 経営方針

地域に根ざした幼稚園を職員一人一人がよく認識し、園児への愛情と職員の力量、実践力を基調に、園児一人一人の成長発達を期して、最善の教育活動を展開する。

- 全職員の相互理解と信頼関係のもとに園内研修の充実、職員の資質向上に努め保育実践をする。
- 教師は常に幼児理解に努め、幼児期の発達の特性を踏まえた総合的な指導の充実を図るとともに生活を通して、自主性、自発性、創造性を高める。
- 本園の特色ある施設設備や自然環境生かし、個に応じた教育を推進する。
- 教師は、幼稚園の生活経験が小学校以降の生活や学習の基盤となるよう、発達や学びの連続性を踏まえた指導の充実を努める。
- 幼稚園、家庭、地域社会との連携を密にし、理解と協力を求め、地域の教育力を生かした実践に努める。
- 教師の指導力を高め、家庭・地域の教育力を最大限に発揮させる仕組の整備を図り、特色ある幼稚園づくりに努める。
- 保育ニーズの多様化に伴う「子ども・子育て新制度」のもと平成27年度からスタートしている「一時預かり保育」の望ましい在り方や子育て支援の推進を図る。

4 本園の教育課題

- 保護者の「子育て」に対する願いや考えの多様化及び、幼児の生活経験の違いによる生活リズムや基本的な生活習慣の定着。
- 子どもの育ちをつなげていくための、家庭・保育所・幼稚園・小学校の連携。
- 幼稚園の教育の理解推進（「遊びを通しての総合的な指導」「小学校以降の学習の基盤」及び「生涯にわたる人格形成の基礎を培う」幼稚園教育の特性の理解を推進する）

5 本年度の重点目標

- 幼児の主体的な活動が確保されるよう、幼児一人一人の行動の理解と予想に基づく計画的な環境構成を工夫する。
- 基本的な生活習慣（あいさつ・片付け・返事・話を聞く）が身につくように指導の工夫をする。

6 本年度の指導の努力点

① 環境を通して行う教育の充実

- ・幼児の主体的な活動を促す環境の工夫に努める。
- ・好奇心や探究心を育む環境の工夫に努める。（飼育栽培等）
- ・豊かな生活体験を通して感性を育む環境の工夫に努める。
- ・絵本コーナー・読み聞かせ・園文庫の利用などに努める。

② 環境遊びを通しての総合的な指導の充実

- ・幼児期の発達の特性を踏まえ、幼児の主体的な活動が教師との信頼関係に支えられた生活の中で充実感を味わうことができるよう、教師の援助のあり方を工夫する。
- ・幼児一人一人の実態を把握し、個々の発達の課題に応じた指導の充実を努める。
- ・発達や学びの連続性を踏まえた指導の工夫。（家庭・地域・保育所・小学校等）
- ・幼児の実態に即した指導計画の改善・工夫に努める。

③ 基本的な生活習慣の形成

- ・自立心を培い、健康で安全な生活習慣を身に付けさせる指導の工夫に努める。
- ・道徳性の芽生えを培う指導の工夫に努める。
- ・保育所・小学校・家庭地域等との緊密な連携と共通理解に努める。

④ 園内研修の充実

- ・各種研修会等で得た研修成果を園内研修で生かし共通理解を深める。
- ・障害のある幼児や特別な支援を要する幼児については家庭及び関係機関と連携しながら正しい理解と必要な支援を行なう研修及び研修体制の充実を図る。

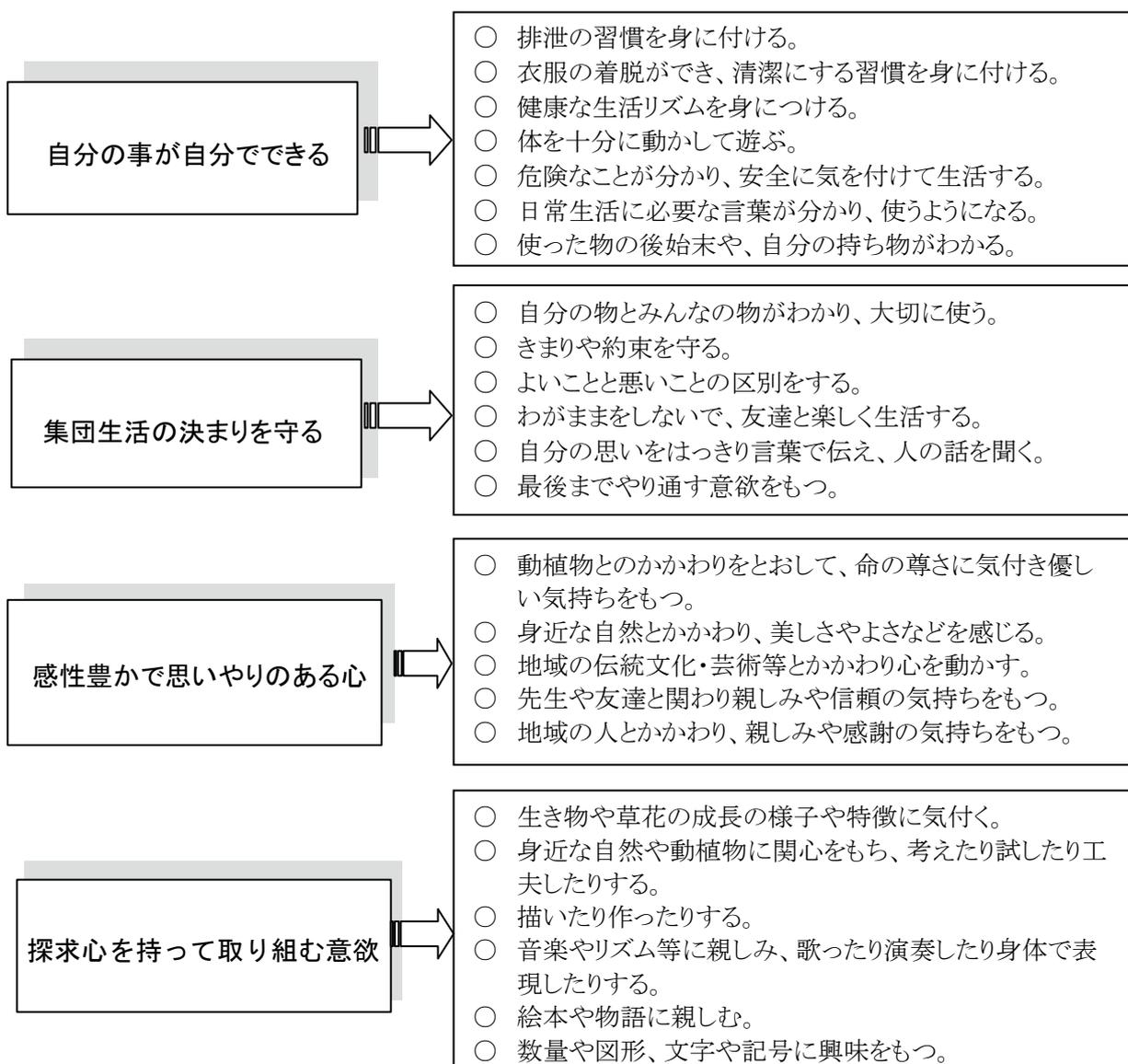
- ・日々の記録を基にした保育カンファレンスを通して幼児理解を深めるとともに、実践的な研修を通して指導方法の改善・充実に努める。
- ・「幼稚園における学校評価ガイドライン」を踏まえ、評価を生かした教育課程の工夫・改善を図る。

⑤ 地域の子育て支援に対応する研修の充実に努める。

- ・預かり保育担当者及び保護者との連携を密にし、生活リズムの見直しを図る。
- ・子育て相談や子育て交流ができるような場の工夫をし、「幼児期にふさわしい生活」等についての啓発を行なう。

7 幼稚園で育てたい力

本園は、幼児期の特性をふまえ、それぞれの子どもが自分でやりたいことを見つけ、自分から進んで人・もの・環境にかかわって主体的に遊びに取り組んでいくことを大切にしている。そのために教師は、日々の実践を通して一人ひとりに寄り添う指導を行い、環境をとおして個々の子どもの興味・関心や意欲及び自ら気付き考え行動する姿勢をはぐくむ援助に努めている。



8 本園の安全教育

【安全教育】

小学校及び家庭地域と連携して日常的に安全指導江尾行い、身の回りの生活の安全、交通安全・防災に関する指導の充実に努め、自分の命や他の生命を尊重し、安全に生活しようとする態度を育てる。

【安全管理】

安全点検を通して施設及び設備の適切な点検・修繕整備を行い、危険箇所の指示、回収等、安全な環境の維持に努める。また、安全マップの作成や不審者の情報提供等、保護者への啓発に努める。

①交通安全教育目標

- ・保護者と幼稚園が共通理解の上、協力しあい園児の交通安全指導にあたる。
- ・実践を通して交通ルールを身につけさせ、交通意識の高揚に努める。
- ・自他の生命を尊重し、安全な暮らしを守る人（警察官、交通安全母の会、ひまわり隊等地域の交通指導ボランティアの方）がいることを知り、感謝の気持ちを持つ。
- ・一日の生活の流れの中で総合的に取り入れ、場に応じた安全な行動が取れるように指導する。

②登園の交通安全指導

- ・決まった通園路(小学校の通学路と同じ)を歩いて、保護者(小学生の兄弟等)と一緒に登園する。
- ・登園は小学校と同じ「てくてく登園」を推進し、右側通行、歩道を歩くことを指導する。
- ・登園は右側通行をし、歩道があるところは歩道を歩くことを指導する。
- ・車を利用する際は、安全確認をし、車の乗り降りに気をつけるよう指導する。
- ・登園時は、校庭や園庭への車の乗り入れを禁止する。

③降園の交通安全指導

- ・入園当初は保護者と教師と一緒に降園指導にあたる。(グループ降園がある場合)
- ・雨天の時は保護者が各々個人の責任において迎え、出来ない場合は他の人に依頼し迎える。
- ・雨天時や降園の時、安全面から車を園庭に乗り入れることを禁止する。また寄り道をしないことや知らない人の車に乗らないなどの指導も行なう。

④不審者に対する指導

- ・登降園の際、不審者に対しての指導を日常的に繰り返し行う。(緊急の場合は大声で助けを求め「子ども110番の家(太陽の家)」やスーパー等に逃げ込むなどの指導をする。

II 地域別園児数・学級編成及び職員一覧

1 学級編成

学級名	男	女	合計	担任名
1 組	13	12	25	東恩納 真祈子
2 組	13	10	23	大城 清香
3 組	13	11	24	知花 あいか
合計	39	33	72	

2 地域別園児数

地域	比謝	比謝砦	大湾	古堅	渡具知	大木	校区外	計
男	6	1	10	16	2	0	4	39
女	6	0	7	16	1	1	2	33
合計	12	1	20	32	3	1	6	72

3 職員一覧表

職 名	氏 名
園 長	長 嶺 浩 也 (ながみね ひろや)
副 園 長	松 本 真 子 (まつもと なおこ)
教 諭	東恩納 真祈子 (ひがしおんな まきこ)
教 諭	大 城 清 香 (おおしろ きよか)
教 諭	知 花 あいか (ちばな あいか)
特別支援教育支援員	譜久村 紗愛 (ふくむら さえ) 令和2年6月～11月 渡慶次 莉名 (とけし りな) 令和2年12月～
幼稚園教育支援員	新 垣 早 苗 (あらかき さなえ)
ヘルパー	座喜味 久美子 (ざきみ くみこ)
〃	倉 林 真由美 (くらばやし まゆみ)
一時預かり保育担任	平 良 美恵子 (たいら みえこ)
〃	比 嘉 梨 乃 (ひが りの)
〃	松 田 智 子 (まつだ ともこ)

渡慶次小学校



学習規律の徹底



対話的学び



自然体験学習



外国語教育の推進



コミュニケーション力づくり



学校行事 運動会



音楽部の活動

校長 松田 忠

読谷村字瀬名波510番地

TEL (098) 958-2503

I 令和2年度 学校経営の方針

1 学校経営の基本理念

現在の子ども達が成人して、社会で活躍する頃、世の中は人口知能（AI）が飛躍的な進化を遂げ、雇用環境が大きく変化する等、予測が困難な時代となることが予想される。これからの学校教育に求められるものは、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題の解決が図れる児童・生徒の育成である。

本校では、「主体的に学ぶ児童の育成」をめざし、対話でつながる授業を通じた授業改善を積極的に行っていくと共に、「特別の教科 道徳」、「外国語」「外国語活動」及び「キャリア教育」のより重点的な指導、そして新学習指導要領のめざす3つの柱「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養をバランスよく育てていく。又、学校・家庭・地域が連携・協働して児童を育ていけるよう、「地域に開かれた教育課程」の実践に努めると共に、本校のキャッチフレーズ「歴史と伝統が息づき 創造性が生きる学校」の具現化を図り、総括目標である「郷土を愛し、自主性・創造性・国際性豊かな渡慶次っ子の育成」を目指していく。

2 学校教育目標

【総括目標】 郷土を愛し、自主性・創造性・国際性豊かな 渡慶次っ子の育成

【学校教育目標】

○よく考え進んで学ぶ子（知） ○心豊かで思いやりのある子（徳）

○心身ともにたくましい子（体）

3 本校のキャッチフレーズ「歴史と伝統が息づき 創造性が生きる学校」

4 学校教育目標の具現化に向けて

(1) 児童は、すべてに優先されることを教育の原点とする。

- ① 学校が行うカリキュラム・マネジメント（P計画・D実践・C評価・A改善）は、「児童のために」が原点でなければならない。
- ② 児童の目線の高さで物事を見つめ、理解し、共に活動し、そして共に伸びる「児童と共にある教育実践」を目指さなければならない。
- ③ 児童を預かることは「未来を託されている」の思いで、教育実践を行わなければならない。

(2) 教育の一貫性、持続性を重んじる。

- ① 教育の方針や指導の内容は、児童の成長を見据えて全校で共通理解の上で行っていく。
- ② 教師は、「継続は成就を生み、成就是感動を醸成し、感動はさらなる継続につながる」ことを自覚し、日々の教育実践に努めなければならない。
- ③ 教師は、教育者としての使命感、児童に対する教育的愛情、教科等に関する専門的知識、広く豊かな教養を基調とした実践的指導力を身につける努力を続けなければならない。

(3) 協働性を重視し、職員の和と共感を重んじる。

- ① 職員室での明るい会話等は、児童の心の安定や職員間の協働性を高めることにもつながる為、職員の和と共感を常に大切にしていきたい。
- ② 教師は、「志」を持ち、率先垂範、模範を示し信頼されるプロの教師を目指さなければな

らない。

③ 職員は、一つの目標に向かって、助け合い、励まし合い、高め合う実践的姿勢を堅持しなければならない。

(4) 学校教育は、家庭・地域、関係機関との連携によって開花する。

① 「学校運営協議会」を中心とした、社会に開かれた教育課程の推進。

② P T A組織との連携による教育課程の内容の充実。

5 学校経営の基本方針 「児童一人一人の確かな学びと成長を促す環境づくり」

学校は、保護者や地域から児童を預かっている。「預かる」ということは、「児童の命を預かる」ということであり、学校は施設を含むあらゆる学校環境の日常的・定期的な安全点検と安全教育及び健康教育に万全を期し、「生命尊重」を優先した安全な学校・学年・学級経営及び全ての教育活動の展開に努めることが求められる。

以上を踏まえ、学校経営の基本方針を「児童一人一人の確かな学びと成長を促す環境づくり」とする。そのため、各先生方には下記の事項を中心に取り組んで頂く。

(1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る授業改善を中心とした学習環境・言語環境づくり

(2) 日々の安全指導、毎月の安全点検の徹底による校内環境の整備

(3) 学校課題に対して、全校体制で改善に向け取り組む組織体制づくり

(4) 丁寧な報告・連絡・相談・確認による協働体制づくり

歴代校長の方針として受け継がれてきた「師弟同行」と「率先垂範」の精神を引き続き重んじていくと共に、「丁寧な報告・連絡・相談・確認」を新たに位置づける。

この「師弟同行」と「率先垂範」及び「丁寧な報告・連絡・相談・確認」は、最も適切で効果的な安全対策・安全管理・安全指導、そしてリスクマネジメントである。以上の4項目を「教師の凡児徹底」として共通確認をしていただき、基本方針に基づき、全教職員で協働実践に努めていきたい。

6 本校の学校課題

(1) 確かな学力の定着から

※昨年度は、全校共通理解の下での取り組みが行われ、成果として諸調査において目標であった「全国平均」及び「県平均」を概ね上回ることができた。しかし下記のような課題も上がっている。

①家庭学習の定着していない児童が多く、又、理解度にも個人差が大きい

②授業改善を進め、定着しつつあるが、学級間の差がある

＜主な対応策＞

確かな学力の向上 ※カリキュラム・マネジメントの充実

(1)学習規律の徹底 ※学習の準備、チャイムスタート、片付け、机・椅子の整頓等

(2)児童個々の分析 (3)机間指導の徹底 (4)45分完結型授業

(5)デジ漢字、リキヤertime (補習指導) の計画的実践

(2) 不登校児童対策

※昨年度は、30日以上事故欠が8名であるが、登校を渋るケースは全学年にまたがっている。病欠等も含めると30以上の欠席者は13名、20日以上を含めると23名に及び、年々増加傾向にある。

＜主な対応策＞

「チーム渡慶次」組織で対応 ※報告・連絡・相談・確認等の徹底

- (1)当該児童の状況（学級での様子の他、家庭環境、友人関係、生活習慣等）を正確に把握し、共通理解する。
- (2)保護者との連携を進め、要求を正確に確認・把握の上で対応する。
- (3)関係機関との連携により、適切な対応を心掛ける。
- (4)組織（学年又は学校全体）で対応策を考え・実践する。
- (5)その他 ⇒ 道徳教育の充実、いじめ、児童虐待、見逃し「0」の学校
「元氣なあいさつ沖縄一」の推進、特別支援教育の推進

(3) 保護者対応「保護者とのよりよい関係を構築する」ために

- ① 事実を提示するだけでなく、今後の望ましい方向性を、共に考えて共有する姿勢を示す。
- ② 小さな事だからこそ、「丁寧」「迅速」に対応する。 ※軽微ないじめ、かすり傷、物の紛失等
- ③ 問題の解決は、できる限り週を跨がず、週末までに対応する。
- ④ 「児童のよさ」を積極的に発信する。

7 重点目標

一人一人に「生きる力」の基盤となる 新しい時代をつくるために必要な「資質・能力」の育成を図る

(1) 【 確かな学力の定着 】

知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力の育成

(2) 【 豊かな人間性の育成 】

他者と共に生きるための基礎なる人間性等の育成

※協働性を育み、いじめや登校渋りのない学校を目指す

(3) 【 健康・体力の育成 】

健康・安全で活力のある生活を送るための基礎の育成

8 指導の重点

(1) 確かな学力の定着のための教育活動

- ① 学習規律の徹底
- ② 諸学力調査の分析を生かした全校体制の取り組み
- ③ 「自ら進んで学ぶ児童の育成」を目指した授業改善
- ④ 朝のデジタル漢字（デジ漢）・朝読書・リキヤertime（補習指導）の計画的実践

(2) 豊かな人間性を育む教育活動

- ① 「特別の教科 道徳」の授業を「要」とする心の教育の充実
 - ② 「特別活動」を「要」とした「キャリア教育」の推進
 - ③ 自立等を支援する特別支援教育の推進
 - ④ 「元気なあいさつ」沖縄一の推進
- (3) 健康・体力を育む教育活動
- ① 安全・健康・防災教育の充実
 - ② 体育学習の工夫・充実
 - ③ 一校一運動の積極的推進
 - ④ 「てくてく登校」の継続的推進・推奨

9 目指す児童像 ※学校教育目標具現化の指標

- (1) よく考え進んで学ぶ子
- ① 人の話を姿勢よく、最後までしっかりと聞く ② 自分の考えや意見を進んで発表する
 - ③ よく考え、正しく判断し、行動する ④ 読書に親しみ、知識や考えを深める
 - ⑤ 将来の夢や希望をもっている ※何のために学ぶのかを考える
- (2) 心豊かで思いやりのある子
- ① 心のこもったあいさつをする ② 丁寧な言葉遣いができる
 - ③ 相手の立場を考えて行動する ④ 物を大切に使う ⑤ 困った人を助ける
- (3) 心身ともにたくましい子
- ① 進んで活動（働く）する ② がまん強く、最後までやりぬく
 - ③ 進んで運動に親しむ ④ バランスのよい生活習慣（食事・睡眠等）を身に付ける

10 目指す学校像 「歴史と伝統が息づき 創造性が生きる学校」の具現化

「子どもが毎日通いたい学校、保護者から信頼される学校、地域が誇れる学校」

- (1) 安全・安心で、楽しく学ぶことのできる学校
- (2) 子どもの「確かな学び」と「成長」を保障する学校
- (3) 全職員体制で学習環境を整え、課題の解決にあたる学校
- (4) 保護者の願い、地域の願いに応える学校
- (5) 地域の強みを生かし、地域に開かれた学校

11 目指す教師像

「教師の凡事徹底（教師の当たり前）」を励行し、子どものよさを伸ばす教師」

- (1) 子どもの命・健康・安全を第一に考える教師。 ※いじめ、虐待を許さない・見逃さない
- (2) 子どものよさを認め伸ばす教師。
- (3) 常に情熱と使命感を持ち、学び続け「子どもの手本となる」教師。
- (4) 教育公務員として服務規律の遵守に努める教師。
- (5) 保護者への対応を丁寧に行う教師。

12 本年度の努力事項

- (1) 教育課程の効果的な推進 ～生きる力を育み、地域に開かれた教育課程の編成・実施～
- (2) 地域に開かれた教育課程の推進

地域と共にある学校づくりの実現に努め、「確かな学力の向上」やキャリア教育の充実によ

- る「郷土への愛着と勤労観，就労観の醸成」を目指す。
- (3) 特別支援教育の充実 ～個々の教育的ニーズの把握と全校体制による教育的支援～
 - (4) 道徳教育の充実 ～自他の生命を尊重する心を基盤に「豊かな心」を育む～
 - (5) 外国語・国際理解教育の推進
～自他の文化理解と外国語によるコミュニケーション能力の育成～
 - (6) キャリア教育の充実 ～望ましい勤労観・職業観を育む発達の段階に応じた取組の推進～
 - (7) 学習指導の工夫・改善・充実 ～『わかる授業』の構築における指導体制や指導方法の確立～
 - (8) たくましい心と体を育む教育の推進 ～健康の保持増進と体力の向上～
 - (9) 生徒指導の充実 ～信頼関係を基盤とした生徒指導の充実～
 - (10) 食育の推進 ～基本的な生活習慣の確立と健全な食生活を実践することのできる能力の育成～
 - (11) 学校安全・防災教育の推進 ～幼児児童生徒の危険回避能力の育成～
 - (12) 平和教育の充実 ～生命の尊重を基盤に，世界の平和を希求する心を育む～
 - (13) 情報教育の充実 ～「プログラミング教育」による情報活用能力の育成～
 - (14) 環境教育の充実 ～地球環境の保全等に，主体的に行動する資質，能力の育成～

13 本校の一事徹底

「学習態度日本一の小学生」

【学校教育目標】

郷土を愛し、自主性・創造性・国際性ゆたかな
渡慶次っ子の育成

- よく考え進んで学ぶ子（知）
- 心豊かで思いやりのある子（徳）
- 心身ともにたくましい子（体）

〈目標達成のための教育像〉

(1)めざす児童像（夢・希望・目標に自ら挑戦する児童）

◆輝きいっぱい 笑顔いっぱい やる気いっぱい

- ・よく考え進んで学ぶ子
- ・話をしっかり聞く・進んで発表する子
- ・読書で知識や考えを深める子
- ・心豊かで思いやりのある子
- ・元気なあいさつ・丁寧な言葉遣いができる子
- ・物を大切に作る・困った人を助ける子
- ・心身ともにたくましい子
- ・進んで働く子・最後までやり抜く子
- ・進んで運動する・正しい生活習慣を身に付けた子

(2)めざす教師像（使命感に燃える教師）

◆子どもを変え、学校を変える情熱と使命感にもえ、自己変革をめざす教師

- ・子どもの良さを伸ばす教師
- ・安全を第一に考える教師
- ・情熱と使命感をもって学ぶ教師
- ・保護者に信頼される教師

(3)めざす学校像（豊かな教育の場としての学校）

◆子どもがいきいき、教師がみがき合い、親や地域の信託に答える学校

- ・子どもが毎日通いたい学校
- ・安心・安全な学校
- ・確かな学びを保障する学校
- ・保護者に信頼される学校
- ・地域が誇れる学校

〈本校のキャッチフレーズ〉

歴史と伝統が息づき、創造性がいきる学校

令和2年度 在籍一覧表、学級担任及び職員 (11月20日現在)

校 長 (幼稚園園長)		松 田 忠	
教 頭	平良 ゆかり	幼稚園副園長	宜 保 あずさ
教務主任・理科専科		比 嘉 寿 男	

年 組	男	女	計	担任名
1年1組	13	19	32	森 田 美 幸
2組	12	19	31	仲宗根 寿賀子
3組	13	19	32	池 原 鈴 香
計	38	57	95	
2年1組	12	15	27	宮 城 かおり
2組	14	14	28	徳 里 龍 磨
3組	12	15	27	山入端 大 才
4組	13	13	26	新 垣 千 佳
計	51	57	108	
3年1組	16	16	32	與 儀 浩 美
2組	15	15	30	屋 宜 由 樹
3組	15	16	31	東 当 洋 子
計	46	47	93	
4年1組	16	16	32	三 浦 麻 美
2組	17	14	31	上 地 雄 大
3組	16	16	32	花 城 康 一 朗
4組	17	14	31	宜野座 司
計	66	60	126	
5年1組	17	14	31	砂 川 智 恵
2組	18	14	32	與那嶺 涼 乃
3組	16	14	30	大 城 宏 介
計	51	42	93	
6年1組	20	15	35	佐久本 理 江
2組	21	14	35	池 原 毅
3組	19	15	34	山 内 道 菜
計	60	44	104	
ハッピー1	3	2	5	津 波 祐 子
ハッピー2	5	1	6	上 原 祥 子
ハッピー3	5	0	5	伊 波 善 樹
計	13	3	16	
全児童	325	310	635	

英 語 専 科	千 葉 由 美
音 楽 専 科	上 地 大 伍
養 護 教 諭	又 吉 礼 子
日 本 語 加 配	源 河 典 子
村 特 別 支 援 員	近 藤 真
村 特 別 支 援 員	仲村渠 恵利子
学 習 支 援 員	上 原 妙 子
初 任 研 非 常 勤	池 原 司
拠 点 校 指 導 教 員	佐久本 実
図 書 館 司 書	池 上 良 子
事 務 主 査 (県)	東 江 祥 子
村 費 事 務	奥 原 直 美
栄 養 職 員	花 城 杏 奈
用 務 員	屋 良 朝 康
A L T	ヴァインセントバージェス
ス ー ク ー ル カ ウ ン セ ラ ー	知 念 弘 美
P T A 事 務	天 野 幸
プ ー ル 管 理 人	
警 備 員	伊 波 仲宗根
幼 稚 園 教 諭	遠 山 龍 太 郎
幼 稚 園 教 諭	新 垣 結
幼 稚 園 教 育 支 援 員	上 原 綾 音
預 かり 保 育 担 当	古 謝 かおり
預 かり 保 育 担 当	知 名 民 子
教 育 支 援 ヘ ル パ ー	池宮城 沙 月

読谷小学校



校長 稲嶺 盛久

読谷村字高志保1277番地1

TEL (098) 958-2403



令和2年度 読谷小学校グランドデザイン

学校教育目標

郷土の歴史・文化に誇りを持ち、協働して未来を切り開く読谷っ子

「進んで学ぶ子」

「思いやりのある子」

「たくましい子」

(知恵いっぱい)

(笑顔いっぱい)

(元気いっぱい)

〈本校で育成する児童の資質能力〉

- 心身を安定・維持しながら、主体的に考え、行動する自律的活動力
- 自分を知り、他者を理解して尊重する自己理解力
- 学ぶことの意味や価値を認識する学習観



読小キャラクター
たなとうくん

〈目指す児童像〉

- 夢や希望に向けて、意欲的に学習する子【知】
- 自他のよさや違いを認め、互いに協力し高め合う子【徳】
- 何事も最後までやり通す、ねばり強い子【体】



【知】確かな学力の向上プロジェクト部会

- 【漢字】デジタル漢字（朝の学習）
日本漢字能力検定
- 【音読】朝の音読 MIM 指導 音読朝会
- 【計算】ワンミニッツ 計算力テスト
- 【読書】読書週間・旬間 読み聞かせ
- 【補習】放課後 学力強化月間
ハートフルタイム
- 【評価】主要単元テストの結果活用
- 【診断】全国学力学習状況調査
学びの確かめ 県到達度調査
- 【家庭学習】パワーアップ大作戦
がんばりギャラリー

【徳】豊かな心の育成プロジェクト部会

- 【人間関係づくり】たなとうタイム
i-check 調査 きくぞうくんポスト
国際理解教育 幼小連携
- 【キャリア教育】キャリアパスポート
夢の掲示板 夢づくり教室
- 【規範意識】学習・生活のルール掲示
朝のあいさつ運動

【体】健やかな体の育成プロジェクト部会

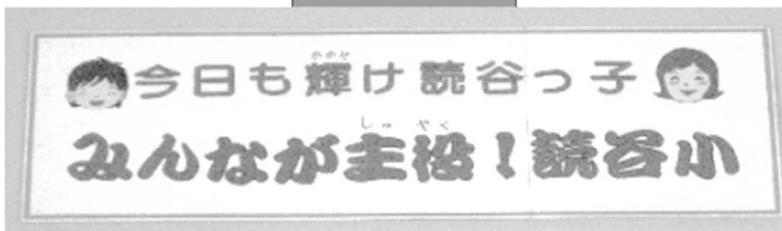
- 【好ましい生活態度】ヘルシーチェック
歯みがきの実践
- 【食育】食育授業 給食指導 弁当の日
- 【健康安全】体力の向上（縄跳び）

確かな学年・学級経営

- ・児童、保護者との信頼関係を深め、学年学級経営の充実を図る。
- ・一人一人が、かけがえのない人間として大切にされ、頼りにされていることが実感できる人間関係を構築する。
- ・学習規律を徹底する。

家庭・地域との連携

- ・年3回の学校運営協議会の実施
- ・レインボー会や保護者による読み聞かせ
- ・学事奨励会への参加
- ・部活担当者会
- ・老人会による朝のあいさつ
- ・安全見守り
- ・学習支援ボランティア



読谷村立読谷小学校

校長 稲嶺 盛久
教頭 宮城 力

学級数 24（うち特別支援学級数4）
児童数 634人（令和2年5月1日現在）



1 本校の概要

沖縄本島の中部、西海岸に位置し、東シナ海にカギ状に突き出た半島で人口4万人余りの日本一人人口の多い村「読谷村」に読谷小学校があります。校区は、波平・都屋・上地・高志保・長浜・座喜味からなっています。明治15年読谷山小学校として創立。今年で創立139年余りを数える歴史を持つ学校です。

2 学校教育目標



「進んで学ぶ子」 「思いやりのある子」 「たくましい子」
（知恵いっぱい） （笑顔いっぱい） （元気いっぱい）

3 めざす学校の姿

(1) めざす学校像

- 「伸びる」：目標を立て、それに向かって共に進んでいく学校
- 「楽しい」：安心・安全で、子どもが行きたくなる学校
- 「美しい」：自他のよさや違いを認め、互いに協力し合う学校（家庭・地域）



(2) めざす子ども像

- 「知恵いっぱい」：夢や希望の実現に向けて、意欲的に学習する子
- 「笑顔いっぱい」：自他のよさや違いを認め、互いに協力し高め合う子
- 「元気いっぱい」：運動・健康の大切さを理解し、何事も最後までやり通す心身ともにたくましい子

(3) めざす教員像

- ・自身の夢や希望を語り、子どもに寄り添い共に励む教員
- ・「分かる・楽しい」教育活動の創造・実戦に向けて、自己の向上に努める教員
- ・地域の自然・歴史・文化に深い愛着と誇りを持ち、自他のよさや違いを認め、広い視点で子どもと接する教員
- ・誰とでも積極的にコミュニケーションがとれ、同僚や家庭・地域と連携を図り、教育課題に対できる教員

4 本校の学校経営方針

- (1) 温かい人間関係に支えられた学級経営・学年経営・学校経営に努める。
- (2) 「確かな学力」の定着を図る。
- (3) 「豊かな心」を育てる。

- (4) 特別支援教育の充実を図る。
- (5) 健康・安全を考える子を育てる。
- (6) 読書する楽しさを育てる。
- (7) 幼小中連携教育の充実を図る。
- (8) 校内研修の充実・強化を図る。
- (9) 地域に根ざした特色ある学校経営に努める。
- (10) 教育環境の整備・充実に努める。
- (11) 「教育課程」の充実を図る。



5 学力向上推進計画

(1) 本年度の目標

児童一人一人の「確かな学力」を向上させ「生きる力」を育む。

(2) 基本方針

- 「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「基本的な生活習慣の形成」に係る事項についての充実を図る。
- 各学年で身につけるべき内容を確実に定着させる取組の充実を図る。
- 学校・家庭、地域が連携し日常的に取り組む。
- マネジメントサイクルに基づき、実効性のある学力向上推進の取組の充実を図る。
- 「学力向上推進プロジェクトⅡ」「村学推共通実践7項目」を中心に深め実践する。
- 校内研修等で、効果的な実践・指導方法について共有・共通実践して、学級・学年をつなぎ、継続的な取り組みをする。

(3) 各プロジェクト部会の取り組み

<確かな学力の向上プロジェクト部会>

- 【漢字】デジタル漢字（朝の学習）
日本漢字能力検定
- 【音読】朝の音読 MIM指導 音読朝会
- 【計算】ワンミニッツ 計算力テスト
- 【読書】読書週間・旬間 読み聞かせ
- 【補習】放課後 学力強化月間
ハートフルタイム
- 【評価】主要単元テストの結果活用
- 【診断】全国学力学習状況調査
学びの確かめ 県到達度調査
- 【家庭学習】パワーアップ大作戦
がんばりギャラリー

<豊かな心の育成プロジェクト部会>

- 【人間関係づくり】たなとうタイム
i-check調査 きくぞうくんポスト
国際理解教育 幼小連携
- 【キャリア教育】キャリアパスポート
夢の掲示板 夢づくり教室
- 【規範意識】学習・生活のルール掲示
朝のあいさつ運動

<健やかな体の育成プロジェクト部会>

- 【好ましい生活態度】ヘルシーチェック
歯みがきの実践
- 【食育】食育授業 給食指導 弁当の日
- 【健康安全】体力の向上（縄跳び）

6 家庭・地域との連携

レインボー会や保護者による読み聞かせ、学事奨励会への参加、部活担当者会、学校運営協議会老人会による朝のあいさつ・安全見守り、学習支援ボランティア（丸付け・校外学習・見守り）

7 校内研修

(1) 研究主題 問いを生み出し、確かな読解力をもつ子の育成
～既習事項の定着と思考・判断・表現力等の学習活動を通して～

(2) 研究仮説

- ・既習事項の指導を通して、読解力の基礎となる力を身に付けることができる。
- ・教師の「しかけ」から児童が問いを生み出し、その問いに向き合いながら、思考・判断・表現力等の学習活動を通すことで、確かな読解力を身につけることができる。

(3) 設定理由

前年度の研究の反省から、思考・判断し表現するために必要な話す・聞く力や読む力、書く力が課題として挙げられた。これらは、「読解力」を支えるために必要不可欠であり、その力を確かなものにするためには、既習事項の定着と子どもたちが学びを自分自身のものにするのが大切だと考える。

そこで今年度は教材や授業展開の中で「しかける」工夫をすることで、子ども自身が問いを生み出し、その問いに向き合うことができるのではないかと考え、研究テーマを「問いを生み出し、確かな読解力をもつ子の育成」とし、サブタイトルを「既習事項の定着と思考・判断・表現等の活動を通して」とした。



読谷小学校の沿革

- 〈明治15年度〉読谷山小学校創立・校舎新築の暇なく番所を充てる・就学児童30名
- 〈明治21年度〉読谷尋常小学校と改称
- 〈大正 2年度〉校歌知事認可
- 〈昭和 7年度〉創立50周年記念式典挙行
- 〈昭和20年度〉校舎戦災で全焼
- 〈昭和21年度〉読谷初等学校設立
- 〈昭和27年度〉読谷小学校に改称
- 〈昭和39年度〉校旗樹立
- 〈昭和42年度〉創立85周年記念図書館落成・記念式典挙行
- 〈昭和45年度〉完全給食開始
- 〈昭和57年度〉創立100周年記念碑除幕式挙行
- 〈平成13年度〉創立120周年記念大運動会・親子ふれあい広場開始
- 〈平成14年度〉校花「でいご」校木「がじゅまる」選定
- 〈平成15年度〉レインボー会による読み聞かせ・各字老人会によるあいさつ運動開始
- 〈平成23年度〉130周年記念式典



読谷小学校校歌

作詞 八卷太一
作曲 田村虎蔵

一 わが沖縄の楠公と
世にうたわれし護佐丸の
昔をしのぶ城のあと
仰ぐいさおの尊さよ

二 わが住む島の岸うちて
台湾澎湖の島々と
一つにかすむわたの原
望む波路のはるけさよ

三 かかる眺めの学び舎に
神のみめぐみ世のめぐみ
親とわが師のいつくしみ
受けて生いたつうれしさよ

四 かくも幸あるわが友よ
いでやわが師のみ教えに
ふるいて起たん家のため
やがて世のためひとのため

学校教育目標達成のための全体構想図

- ・日本国憲法
- ・関係法令
- ・学習指導要領
- ・沖縄県教育計画
- ・学校教育における指導の努力点
- ・学力向上推進プロジェクトⅡ
- ・読谷村教育行政施策

＜学校教育の基本理念＞
 学校には、児童が自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となる事ができるようにすることが求められている。そこで、どのような資質能力を身に付けるのかを明確にし、『社会に開かれた教育課程』の実現に向けて、日々の教育活動を意図的・計画的・組織的・継続的に取り組んでいく。

- ＜児童の実態＞**
- 男女間の仲もよく、素直で明るい子が多い。
 - スポーツ・文化面で熱心に取り組む子が多い。
 - 学習に対する基本姿勢で、個人差がある。

学校教育目標

＜総括目標＞ 郷土の歴史・文化に誇りを持ち、協働して未来を切り拓く読谷っ子の育成		
めざす学校像	【 具体目標 】	目指す教員像
「伸びる」：目標を立て、それに向かって共に進んでいく学校	○すすんで学ぶ子 (知恵いっぱい)	○夢や希望を語り、子どもに寄り添う教員
「楽しい」：安心・安全で、こどもが行きたくなる学校	○思いやりのある子 (笑顔いっぱい)	○「分かる・楽しい・教育活動の創造・実践に向けて、自己の向上に努める教員
「美しい」：自他のよさや違いを認め、互いに協力し合う学校	○たくましい子 (元気いっぱい)	○地域に深い愛着と誇りを持ち、自他のよさや違いを認める教員
		○同僚や家庭・地域と連携を図る教員

学校経営目標

豊かな創造性を備えた、持続可能な社会の担い手となる児童に、必要とされる資質・能力の育成を図り、生きる力を育む。

(1) 学校教育目標の具現化に向けて、全教職員の共通理解のもと、日々の教育活動を意図的・計画的・組織的・継続的に実践していく。

(2) 「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養という、3つの資質・能力の育成を図る。

学校経営方針

(1) 温かい人間関係に支えられた学級経営・学年経営・学校経営に努める。

(2) 本校の課題を明確にし、主体的・対話的で深い学びのある授業改善を通じた学力向上に取り組む。

(3) 自他のよさや違いを認め、お互いが高め合い、道徳科を要とした豊かな心の育成と、一人一人のよさや可能性を伸ばす特別支援教育の充実に努める。

(4) 地域の教育資源（ヒト・モノ・コト）を生かした、「社会に開かれた教育課程」の実現を図る。

(5) 家庭・地域との連携で、健康的な生活習慣を形成し、学校の教育活動全体を通じた、心身共に健康な体づくりを目指す。

重点目標

- (1) 夢や希望に向かって主体的に学ぶ子の育成
- (2) 自他のよさや違いを認め、互いに協力して高め合う子の育成
- (3) 児童一人一人の教育的ニーズに応じた、適切な指導や必要な支援の充実
- (4) 自分の体の様子を知り、心身の健康の保持増進に自ら取り組む事ができる子の育成

学校・学校運営協議会・PTA・地域・保護者

社会に開かれた教育課程の実現

視点1：自己肯定感の高まり 視点2：学び・育ちの実感 視点3：組織的な関わり
 必要とされる3つの資質・能力の育成 ← 生きる力「確かな学力・豊かな心・健やかな体」の育成

教育目標達成のための努力事項

- ①教育課程の効果的な推進 ②学習指導の工夫・改善・充実 ③道徳教育の充実 ④健やかな心と体を育む教育の充実 ⑤生徒指導の充実 ⑥キャリア教育の充実 ⑦特別活動の充実 ⑧特別支援教育の充実 ⑨食育の推進 ⑩学校安全・防災教育の充実 ⑪平和教育の充実 ⑫国際理解・外国語教育の推進 ⑬情報教育の充実 ⑭環境教育の充実

チーム読谷小

確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成
<ul style="list-style-type: none"> ○学習規律の確立(自ら学ぶ意欲の向上) ○校内研修の充実(学校課題解決、一人一授業による授業力の向上) ○教師の児童理解力を高め、支持的風土のある学級づくり ○学校課題解決に向けた週時程の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳科を中心とした、道徳教育の充実 ○iチェック等による児童理解力の向上 ○家庭・地域・関係機関と連携した、登校しぶり、不登校への組織的対応 ○相手の気持ちを考えた正しい言葉遣い 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的な体力づくりの奨励(なわとび、てくてく登校) ○心身の健康維持に向けた、危険回避能力の育成(保健指導・避難訓練等) ○食育の推進(お弁当の日、食育講話等) ○ヘルシーチェックによる課題把握

PDCAサイクルの推進

信頼される学校

令和2年度 学級担任・教科担任及び児童在籍一覧表

校 長		稲 嶺 盛 久				教 頭		宮 城 力				
学年	組	男	女	計	担任氏名	学年	組	男	女	計	担任氏名	
1 学 年	1	11	16	27	安慶名 隆 子	4 学 年	1	15	15	30	岩 崎 直 子	
	2	11	15	26	前幸地 涼 子		2	14	15	29	加 藤 眞帆子	
	3	13	15	28	嘉 数 彩 慧		3	14	16	30	稲 嶺 聖 英	
	4	12	16	28	翁 長 千 明							
	計	47	62	109								
2 学 年	1	18	14	32	玉 城 まりや	5 学 年	1	18	17	35	伊 波 千 秋	
	2	17	14	31	大 城 徳 華		2	16	17	33	安富祖 和 史	
	3	17	15	32	富 山 直		3	18	16	34	西 山 哲 平	
	計	52	43	95								
							計	52	50	102		
3 学 年	1	15	14	29	大 城 光 枝	6 学 年	1	16	16	32	島 袋 幸 子	
	2	15	15	30	山 城 志 翔		2	17	15	32	又 吉 さくら	
	3	14	16	30	宮 平 佳 太		3	16	17	33	具志堅 司	
	4	15	15	30	盛 島 杏							
	計	59	60	119								
虹 組		3	4	7	与久田 朋 子	たんぼぼ組		5	2	7	玉 元 真理子	
すみれ組		6	1	7	仲 程 由紀子	ひまわり組		3	0	3	大 城 朝 思	
						合計	319	316	635			
理 科 専 科					森 根 健	県 費 事 務			比 嘉 正 仁			
音 楽 専 科					池 田 由 菜	村 費 事 務			平 良 都			
指導法工夫改善担当					比 嘉 はや子	P T A 事 務			又 吉 梓			
通級指導教室					知 花 由紀江	用 務 員			宮 里 充			
英 語 専 科					千 葉 由 美	村 特 別 支 援 員			知 名 直 美			
A L T					神 谷 志 伸	村 特 別 支 援 員			関 美 優			
養 護 教 諭					徳盛 可奈子(桃原 聖羅)	村 学 習 支 援 員			山 城 航			
図 書 館 司 書					新 垣 朝 美	拠点校指導教諭			佐久本 実			
初任研拠点校指導					佐久本 実	心 の 相 談 員			比 嘉 京 子			
初任研非常講師					池 原 司	スクールカウンセラー			知 念 弘 美			

喜名小学校



校長 外間 香代子

読谷村字喜名401番地

TEL (098) 958-2405

令和2年度 学 校 経 営

1 学校経営の基本理念

教育基本法に則り、教職員一人ひとりの指導力と相互の連帯を基調に各自が教育公務員としての使命を自覚し、学校長を中心に全職員の協働体勢で学校経営に当たる。

これまでに培われた素晴らしい校風を継承しつつ、地域・学校・児童の実態を踏まえ、学習指導要領の趣旨に照らし合わせ、これからの社会を展望し、本校教育をさらに充実発展させるよう次のことに留意し鋭意努力する。

2 学校教育目標

(1)総括目標 「人・こと・ものと主体的に関り自らの人生を切り拓く喜名っ子の育成」

(2)教育目標

◆よく考えて進んで学ぶ子（かしこく） : 知

◆明るく心の豊かな子（やさしく） : 徳

◆ねばり強くたくましい子（たくましく）: 体

(3)目指す教育像と教育目標具現化の指標

①めざす児童像

目標	めざす児童像	目標具現化の指標
よく考えて進んで学ぶ子	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで学び、深く考える子 ○人の話をきちんと聞く子 ○自分の考えを表現できる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や友達の話きちんと聞く。 ・進んで読書をし、物事を深く考える。 ・主体的に問いをもち、自分なりの考えをもつ。 ・自分の考えを筋道立てて発表する。 ・問題意識をもって学習に参加する。 ・進んで計画を立てて学習したり活動したりする。 ・課題解決に向けて工夫してねばり強く取り組む。
明るく心の豊かな子	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつや丁寧な言葉遣いができる子 ○思いやりの心で接する子 ○きまりを守り責任を果たす子 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで明るく元気な声であいさつをする。 ・ていねいなことばつかいをする。 ・友だちの良さを見つけ、思いやりの心で接する。 ・物をていねいに扱い、最後まで大事につかう。 ・時間を大切に、きまりや約束を守る。 ・かげひなたなく自分の仕事に最善をつくす。 ・美しいものを見つけ、心から感動する。 ・他人の立場になって考え、親切にする。 ・正しいことは進んで実行する。
ねばり強くたくましい子	<ul style="list-style-type: none"> ○健康・安全に気を付けて行動できる子 ○進んで運動し体をきたえる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちといっしょに仲良く遊ぶ。 ・ねらいをもって、進んで体をきたえる。 ・自分の体を知り進んで健康づくりをする。 ・健康な生活環境づくりに努める。 ・規則正しい生活をする。 ・生命の尊さを知り健康で安全な生活を送る。 ・ねばり強く最後までがんばる体を作る。 ・困難なことがあっても忍耐強くがんばる。 ・好き嫌いせず、喜んでバランスよく食べる。

②めざす教師像 《使命感と教育的情熱に燃え、仲間と協働する教師》

- ・全ての子どもの大切に、子どもの可能性を伸ばす教師
- ・責任感と協調性に富み、使命感に燃え、学び続ける教師
- ・学校で、保護者と、地域と和・話・輪を大切にし組織の一員として教育活動を推進する教師

③めざす学校像 《夢いっぱい、笑顔いっぱい、ひとり一人が輝く学校》

- ・共に学び合い、協力し合い、組織が機能する学校
- ・児童一人一人の夢と希望を育み、良さや可能性を伸ばす学校
- ・誰もが大事にされ、安心して安全に学べる学校
- ・花や緑が育ち清掃の行き届いた学校
- ・保護者、地域から信頼される学校

3 学校教育目標の具体化

◇ 総括目標 : 人、こと、ものと主体的に関り自らの人生を切り拓く喜名っ子の育成

教育目標	よく考え進んで学ぶ子	明るく心の豊かな子	ねばり強くたくましい子
1 学年	よくかんがえる子	なかよくする子	さいごまでがんばる子
2 学年	すすんで学ぶ子	思いやりのある子	ねばり強くがんばる子
3 学年	しっかり聞き進んで学習する子	思いやりのある子	ねばり強く さいごまでやりぬく子
4 学年	進んで学習する子	思いやりのある子	最後までがんばる子
5 学年	自ら進んで学ぶ子	思いやりのある子	ねばり強くがんばる子
6 学年	よく考え進んで発表する子	仲良く助け合う子	ねばり強く最後までやりぬく子
なかよし	さいごまで学ぶ子	仲良く表現できる子	明るく元気な子
えがお	協力して学習する子	仲良く助け合う子	元気でたくましい子

4 本校の学校課題

(1)学力の向上

- ①基礎的知識・技能の確実な定着、それを活用する力の定着
- ②学習に主体的・意欲的に取り組み、自分で考え感じ取ったことを表現すること
- ③根拠や理由を示して、自分の考えや意見を説明すること
- ④学習を支える力の定着

(2)明るく豊かな心の育成

- ①自然や社会に関心をもち、人の立場に立って考え、共感する心をもって行動する
- ②友好的な人との関り（あいさつ、言葉遣い、よさやちがいの認め合い、助け合い）
- ③不登校・登校しぶりの未然防止と早期対応
（生徒指導、教育相談の充実・支持的風土のある学級経営、学年経営）

(3)インクルシブ教育の充実

- ①校内支援委員会の充実
- ②交流及び共同学習の充実と障害理解教育の充実

(4)健やかな体の育成

- ①基本的な生活習慣の形成（早寝、早起き、朝食、徒歩登校等）
- ②健康づくりや安全の保持に、自ら関心をもつ心を育て、進んで実践できる

(5)教職員の授業力・指導力の向上

- ①校内研修の充実による「主体的・対話的で深い学びを重視した」授業改善
- ②校内OJTの充実

5 本年度の重点目標

- ◎確かな学力の定着
- ◎心豊かな児童の育成
- ◎ねばり強く最後までがんばる健康な児童の育成
- ◎基本的な生活習慣の形成

6 経営方針

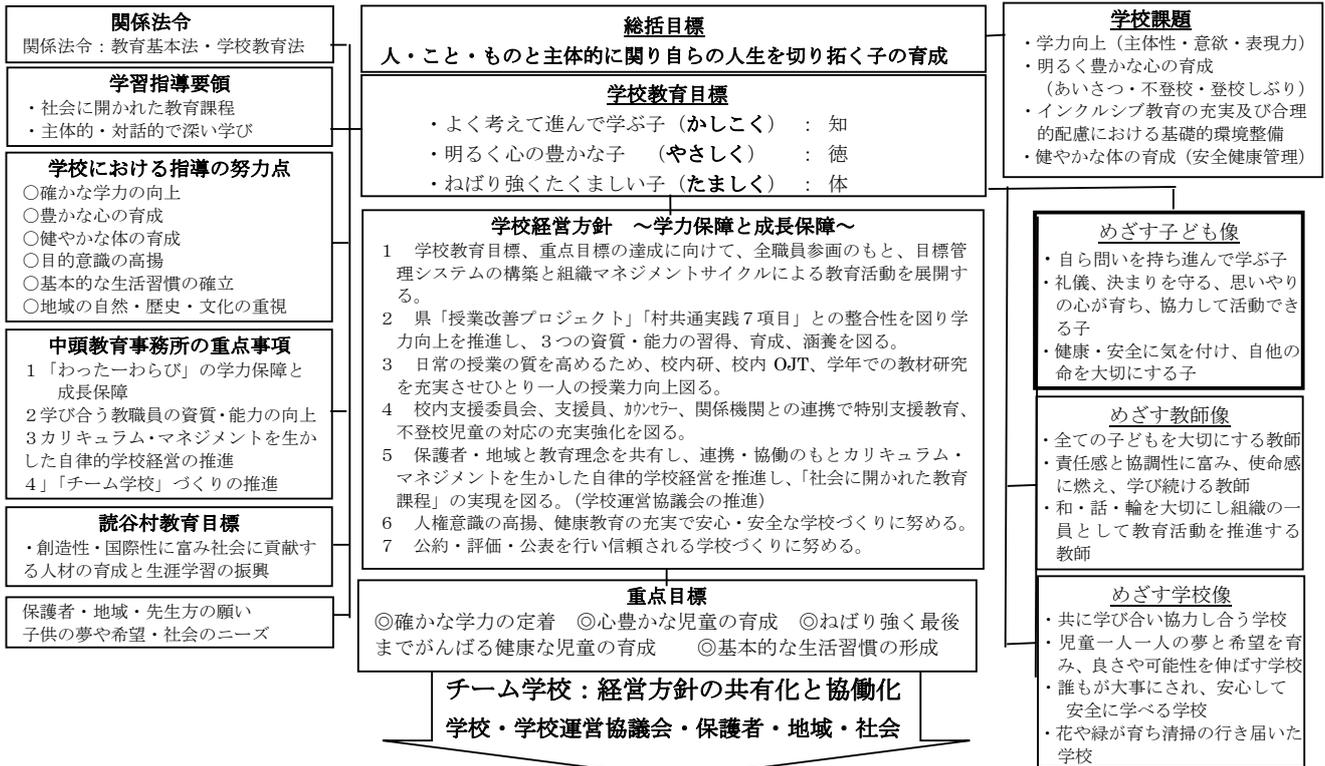
- ①学校教育目標、重点目標の達成に向けて、全職員参画のもと、目標管理システムの構築と組織マネジメントサイクルによる教育活動を展開する。
- ②「授業改善プロジェクト」「村共通実践7項目」との整合性を図り学力向上を推進し、3つの資質・能力の習得、育成、涵養を図る。
- ③日常の授業の質を高めるため、校内研、校内OJT、学年での教材研究を充実させひとり一人の授業力の向上を図る。
- ④校内支援委員会、支援員、カウンセラー、関係機関との連携で特別支援教育、不登校児童の対応の充実強化を図る。
- ⑤保護者・地域と教育理念を共有し、連携・協働のもとカリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営を推進し、「社会に開かれた教育課程」の実現を図る。（学校運営協議会の推進）
- ⑥人権意識の高揚、健康教育の充実で安心・安全な学校づくりに努める。
- ⑦公約・評価・公表を行い信頼される学校づくりに努める。

6. 令和2年度 授業における教師の心得

意欲を高める授業への改善（学習習慣の「たすき」をつなぐ）

学習場面	指 導 上 の 留 意 点
授業の準備 (休み時間)	始業時刻前に職員室を出て、始業時刻と同時に授業が始められるように努める（ベル席を指導）
始 め の あいさつ	児童による「よい姿勢」「姿勢を正しく」「これから〇〇の授業を始めます」の後に、教師も一緒に「よろしく申し上げます」で始める
授 業 中	児童が目的意識、見通しを持って、授業に取り組めるように、全学習において、授業の始めは「学習めあて」を板書・説明して確認する
	導入においては、既習事項や生活体験に基づいて発言できるような発問（ゆさぶりやつぶやき）を拾い上げ、すべての児童が学習に主体的に意欲的に取り組めるような内面的動機付けに努める。授業展開における発問の工夫（校内研重点事項）
	すべての児童に出番があるように配慮する。例えば、グループや班で問題について考える場を用意して、ペア学習やグループや班内で意見を出せるようにする。また、話し合った結論を日頃、出番の少ない児童が発表できるような指導も行う
	学習の中で「学び合い」の時間を確保し、お互いの考えを交流し合うことで、学習を深めさせ、自分の考えを説明する力を育成する。
	児童の表情をよく観察し、児童のつぶやきを聞き逃さずに取り上げ、その意見のどんな点が優れているのかを具体的に指摘することで、独自の考え方が質的に向上するようにする（思考力）
	誤った児童の発言を大切に扱い、間違ったり、誤ったりすることによって学習が深まることを実感できるようにする。例えば、的外れな答えが出たら、どうしてそのような答えが出たかを取り上げ、みんなで考える。発表してくれた児童には、その発言のおかげでみんなの学習が深まったことを話し、称賛や感謝のことばを掛けるようにする
	一人一人の児童が課題に対する考察や授業終了時に至るまでの過程を自分ではっきりノートなどにまとめる時間を保障する（活用する力） ノート指導を徹底し、丁寧な文字で書くこと、振り返り学習に活用できるノートとすること等、ノート指導を統一する
	授業のまとめにおいて、「めあて」の確認や学習の振り返りを「学び」として自分の言葉でまとめさせ、発表させる。（児童同士の共有を図る）
	次時に課題意識を持ってのぞめるように、一人一人が課題を持って学習が終われるような学習過程を組むように心がける（家庭学習へ連動）
	終わりの あいさつ

学校経営構想図



教育目標達成のための指導の努力事項

①教育課程の効果的な推進 ②学習指導方法の工夫・改善 ③道徳教育・人権教育の充実 ④たくましい心と体を育む教育の推進 ⑤生徒指導の充実 ⑥キャリア教育の充実 ⑦特別支援教育の充実 ⑧食育の推進 ⑨学校安全・防災教育の推進 ⑩平和教育の充実 ⑪国際理解教育・外国語教育の推進 ⑫情報教育の充実 ⑬環境教育の充実 ⑭開かれた学校づくりの推進 ⑮生命尊重、自己肯定感の向上

主体的・対話的で深い学びによる育成すべき3つの資質・能力	○生きて働く「知識・技能」の習得（何を知って何ができるか） ○未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成（知識・技能の活用） ○学びや人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養
------------------------------	--

学びの質を高める授業改善： 視点1：自己肯定感の高まり 視点2：学び・育ちの実感 視点3：組織的な関り

本年度の主な取り組み内容			
確かな学力の向上	豊かな心の育成	健康な体の育成	開かれた学校づくり
○キャリア教育の視点を踏まえ「分かる授業」「問が生まれる授業」の構築（思考力・判断力・表現力） ○「学びの10か条」で学習規律・スキルの確立 ○学習意欲の高揚 ○交流学習、体験学習の充実 ○校内研修、OJTの充実 ○一人一公開授業の充実 ○ICTの効果的活用 ○支持的風土のある学級経営 ○授業と連動した家庭学習 ○学習ボランティア活用	○道徳科の授業の充実 ○人権の日、人権教室の充実 ○将来の夢や希望を持ち、目標を掲げる（6年間の夢の掲示・6年生職業体験等） ○黙清掃で「心みがき」 ○登校しぶり児、不登校児の組織的対応と家庭や関係機関との連携強化 ○「いじめ禁止」「性的マイノリティ」の理解促進（校長講話・授業・講演） ○「いのちの授業」3年と5年	○体育の授業の充実 ○教科体育と連動した体力づくりの日常化・なわとびあそびの奨励（一校一運動） ○栄養士と担任のTTによる「食に関する指導」授業実施 ○徒歩登校の奨励 ○給食完食の奨励 ○基本的生活習慣の確立「早寝・早起き・朝ご飯」 ○薬物乱用防止教室実施 ○部活動の充実と適正化 ○スマホ・携帯、ゲーム依存症の怖さ	○地域人材、学習材の活用 ○学校評価の充実と公表 ○情報発信（学校便り・学年便り・諸お便り・ブログ等） ○学校運営協議会の推進 ○地域行事への積極的な参加 ○学校美化への協力 ○早寝・早起き・朝ご飯の推進 家庭学習、読書の習慣化（24時間時計の活用） ○スマホ・携帯等の情報モラル ○徒歩登校の奨励と朝の安全見守りの協力 ○保・幼・小・中との連携
R・P・D・C・Aサイクルの推進			

教師の授業力及び指導力・児童理解力・家庭教育力・地域力・関係機関の支援・協力
保護者・地域社会に開かれた信頼される学校

教職員名簿と在籍

No.	職名	氏名	担当		
			在籍		
			男子	女子	計
1	校長	外間 香代子			
2	教頭	和智 重徳			
3	教諭	竹西 さゆり	1の1	15	16
4	〃	藤井 大地 (新川 夏紀)	1の2	12	16
5	〃	上間 成佐	1の3	12	16
		計	39	50	87
6	〃	大城 玲子	2の1	16	15
7	〃	関 涼介 (波照間 加奈枝)	2の2	17	14
8	〃	知花 やよい	2の3	16	14
		計	49	43	92
9	〃	知花 智代	3の1	16	10
10	〃	龍野 千文	3の2	15	10
11	〃	芦田 志野	3の3	15	10
		計	46	30	76
12	〃	仲 真 祥子	4の1	17	14
13	〃	榮野川 彩	4の2	17	15
14	〃	上間 優美	4の3	18	18
		計	53	47	99
15	〃	津波 和美	5の1	14	9
16	〃	宮平 大基	5の2	14	11
17	〃	喜世川 亜希子	5の3	15	11
		計	43	32	74
18	〃	大湾 修	6の1	12	12
19	〃	石垣 信尚	6の2	10	13
20	〃	石川 まゆみ	6の3	12	12
		計	34	38	71
		小計	263	237	500
21	〃	伊波 かおり	フレンド	4	2
22	〃	酒井 春菜	なかよし	3	2
23	〃	亀川 善朝	スマイル	6	0
24	〃	村上 瞳	えがお	2	3
		合計	278	243	521
25	〃	島袋 宏幸	音楽専科		
26	〃	宮平 琢磨	理科専科 教務		
27	〃	仲村 隆夫	言語通級学級		
28	初任者拠点校指導員	西野 朗	拠点校指導教諭		
29	非常勤講師	小渡 智恵子	初任者非常勤講師		
30	養護教諭	當間 知子	養護教諭		
31	県費事務	安里 千春			
32	村費事務	山内 正美			
33	図書館司書	大城 友美			
34	特別支援教育支援員	兼謝 名里美			
35	特別支援教育支援員	山内 辰徳			
36	特別支援ヘルパー	天久 愛理	(火～金)		
37	学習支援員	金城 尚子	3年生の学習支援		
38	学習支援員	仲本 志緒里	6年生の学習支援		
39	用務員	矢野 昌幸			
40	教育相談員	波平 恵子	月・火午前中		
41	スクールカウンセラー	知念 弘美	毎週火曜日		
42	ALT・日本語支援	山岸 代志野			
43	P T A 事務	國吉 美鈴	月・水・金 (9:00～13:00)		

古堅小学校



校長 仲村 美恵子

読谷村字楚辺999番地1

TEL (098) 956-2158

1 本校教育の基本理念

今年度より全面実施された新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「生きる力」の具現化に努めるとともに、総括目標を「ふるさとを愛し ともに学び 未来を切り拓く古堅っ子の育成」とし、「社会に開かれた教育課程」を実践する。

さらに、新しい時代や変化に対応できる「確かな学力」「豊かな心」「たくましい体」の調和を図ることで未来に夢を描き、自己実現を目指して社会を切り拓いていける「生きる力」の育成をめざした教育活動を展開する。

2 教育目標

- (1) 総括目標 ふるさとを愛し ともに学び 未来を切り拓く古堅っ子の育成
- (2) 具体目標 ○「よく考え実行する子」(知育) ○「思いやりのある子」(徳育)
○「健康でねばり強い子」(体育)
- (3) 目標達成のためのキャッチフレーズ
「感動・夢いっぱい はばたけ古堅っ子」 ～ともに学び 心美しく たくましく～
- (4) 目指す像と目標具現化の指標

【めざす児童像】

目標	めざす児童像	指 標
よく考え実行する子	○目標をもち、自ら学び創意工夫しながら解決していく児童 ○自分や友達の良さや可能性を理解する子	1 めあてをもち計画を立てて、工夫しながら学習できる。(主体的な学び) 2 人やものとの交流を通して考えを広げ深める。(対話的な学び) 3 筋道を立ててよく考え、判断し、表現・活用できる。(深い学び) 4 互いに認め合い、学んだことを学習や生活に活かすことができる。 5 読書に親しみ、知識や考えを深めることができる。
思いやりのある子	○心豊かで思いやりがある児童 ○進んで奉仕活動ができる児童	1 人の話をよく聞き、自分の考えや意見をしっかり持って行動できる。 2 人権を尊重すると共に、自他の命を大切にすることができる。 3 思いやりと感謝の気持ちをもち行動できる。 4 場にふさわしいあいさつや正しい言葉遣いができる。 5 働くことの大切さを知り、進んで美化・奉仕活動ができる。
健康でねばり強い子	○心身ともにたくましく、ねばり強くやりぬく児童 ○自分の健康を考え、正しい食習慣を身につける児童	1 規則正しい生活リズムを身につけることができる。 2 きまりを守り、安全に気をつけて行動できる。 3 進んで運動し体を鍛え、最後までがんばることができる。 4 食への関心と感謝の気持ちを持ち、正しい食習慣を身に付ける。 5 身の回りを整理整頓し、身なりをきちんと整えることができる。

【めざす教師像】 <使命感と教育的情熱に燃え、自己研鑽>

- 1 和顔愛語、教育的愛情で児童理解に努め、子どものよさ・可能性・自己肯定感を伸ばす教師
- 2 児童の良さや可能性を見つけ、自己肯定感を育む教師
- 3 職責を意識し、組織的・計画的なカリキュラムマネジメント実現に向け協働する教師
- 4 危機管理に努め、心身ともに健康で人間性豊かな教師
- 5 キャリア教育の視点を持ち、地域社会と関わる教師

【めざす学校像】 <社会に開かれた教育課程の実践>

- 1 地域と共にある学校づくり (学校運営協議会の推進)
- 2 自己肯定感を高める学校
- 3 歌声いっぱい、花いっぱい、読書いっぱい、ともに楽しむ学校
- 4 明るくあいさつ、丁寧な言葉遣い、やさしさいっぱいの学校
- 5 特色ある教育活動を推進し、保護者や地域から信頼される学校

3 学校経営方針

(1) 学校経営の基本理念

学校教育には子ども達がさまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め、得た知識を再構築することができるようになることが求められている。新学習指導要領の趣旨を踏まえ、必要となる資質・能力の育成を育む「社会に開かれた教育課程」の実現のため、カリキュラムを編成する。

また、「学校運営協議会」の運営を通して地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを推進し、地域を学ぶ「読谷村ふるさと学習」を教育課程に位置付け、学びを推進する。そのために、全教職員が使命感を持って互いに切磋琢磨し、より質の高い教育活動を実践し、「ともに学び、ともに鍛え、ともに楽しむ、生き生きとした学校づくり」を目指す。

(2) 経営方針

- ①学習指導要領の理念の実現に向けた取り組みを推進する。
- ②教育目標の具現化を目指してカリキュラムマネジメントを推進する。
- ③教育のプロとしての使命感を持ち、専門性と指導力の向上に努め、児童一人一人に確かな学力の定着を図る。
- ④心の教育の充実、基本的な生活習慣の形成、言語環境や美化環境の充実等を通して、豊かな心を育成する。
- ⑤安全・安心を守る取り組みを充実させ、児童の危険予知能力・危険回避能力を高める。
- ⑥学校・家庭・地域・関係機関及び保幼小中連携により、信頼される学校づくりを推進する。

4 本校の重点課題

学習指導要領の理念と社会に開かれた教育課程の実現を見据えて重点目標を設定する。

(1) 確かな学力の育成

- ①基礎的・基本的知識・技能の確実な習得（指導の工夫・授業改善）
- ②知識・技能を活用し課題を解決するための思考力・判断力・表現力等の育成（授業作り）
- ③個に応じた指導の充実（週時程にもとづく補習・補充的学習の充実・読書活動・家庭学習の充実）
- ④学習を支える力を育成（学習かがやき5の徹底、自己肯定感の高揚）
- ⑤地域の教育力を活かしたキャリア教育の充実

(2) インクルーシブ教育の充実と豊かな心を育む教育の推進

- ①全教育活動を通じた道徳教育・人権教育の充実
- ②特別支援教育の充実（交流及び共同学習の充実と配慮を必要とする児童への理解と支援の充実）
- ③児童理解に基づいた生徒指導、教育相談の充実（SCや心の相談員との連携）
- ④キャリア形成と自己実現（キャリアパスポートの活用）
- ⑤学習を支える力の育成（生活かがやき5の徹底・自己指導力高揚）

(3) 健やかな体を育む教育の推進

- ①基本的な生活習慣の確立
- ②体力向上に関する施設の充実と体育科の授業改善
- ③栄養教諭と連携した食育指導の充実
- ④保健（肥満、むし歯、視力の低下予防）と安全指導（危険回避・危険予知能力の向上）の充実

(4) 教職員の授業力・指導力の向上

- ①自己肯定感を育む教師、学力向上に向けた授業改善
- ②主体的・対話的で深い学びを重視した学習指導の工夫改善、育成すべき資質能力の明確化
- ③校内OJTの充実、授業リフレクションの充実
- ④不登校・いじめ見逃しゼロ等の対応
- ⑤学力向上推進PJ 5つの方策の実践

5 重点目標に向けた具体的取組

(1) 確かな学力の育成

基礎的・基本的知識・技能の確実な習得
課題を解決するための思考力・判断力・表現力等の育成
個に応じた指導の充実
学習を支える力の育成
地域の教育力を活かしたキャリア教育の充実

(2) インクルーシブ教育の充実と豊かな心を育む教育の推進

全教育活動を通じた道徳教育・人権教育の充実（いじめの未然防止と組織対応）
特別支援教育の充実
児童理解に基づいた生徒指導、教育相談の充実（不登校未然防止・登校渋り対応）
キャリア形成と自己実現
学習を支える力の育成

(3) 健やかな体を育む教育の推進

基本的な生活習慣の確立
体力向上に関する施設の充実と体育科の授業改善
栄養教諭と連携した食育指導の充実
保健と安全指導の充実

(4) 教職員の授業力・指導力の向上

自己肯定感を育む教師学力向上に向けた授業改善
主体的・対話的で深い学びを重視した学習指導の工夫改善育成すべき資質能力の明確化
校内OJTの充実・授業リフレクションの充実
不登校・いじめ見逃しゼロ

6 指導の基本方針

(1) 組織的な取り組みとカリキュラムマネジメントの共有

- ①「何ができるようになるのか」（育成を目指す資質・能力）
- ②「何を学ぶか」（教科等を学ぶ意義と教科間のつながりを踏まえた指導）
- ③「どのように学ぶか」（各教科などの指導計画の作成と実施、指導の改善と充実）
- ④「子ども一人一人の発達をどのように支援するか」（子どもの発達を踏まえた指導）
- ⑤「何が身に付いたか」（学習評価の充実）
- ⑥「実施するために何が必要か」（協働のための共有）
- ⑦ 学習規律の徹底と学習態度の形成（教師のそろえ、学習スタンダード）

(2) 資質・能力の育成

- ①教科・内容における児童の見方・考え方の育成と主体的・対話的で深い学びの視点での指導により「問い」を持ち、課題に向き合う活動を行うことで教科における育成
- ②「知識・技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育成
- ③言語活動、体験活動ICTを活用した学習活動

(3) 主体的・対話的で深い学びの実現

- ①諸活動における見方・考え方を働かせ、言語活動や学びの過程を通して深い学びにつなげる指導の充実
- ②見通しを立てたり学習を振り返ったりして、学びや変容を自覚する場面の設定
- ③対話による自分の考えを広げたり深めたりする場面の設定
- ④考える時間と教える時間のタイムマネジメントによる考えを深める時間の設定

(4) 確かな学力の向上に関する具体的な取り組み

- ①「わかる授業Support Guide」「問いが生まれるサポートガイド」「授業改善5つの方策」を活用した授業改善
- ②村学力向上推進共通実践7項目の取り組み

- ③「古堅っ子システム」による取り組み
- ④学習を支える学校統一の取り組みへの協働実践
- ⑤重点課題「漢字指導」に向けたデジタル漢字と漢字ノート活用と充実
- ⑥ICT機器・デジタル教科書等の活用と表現力の育成
- ⑦段階的なプログラミング教育を意識した授業の導入

(5) 読書指導の充実と読書活動の習慣化

- ①理解力や思考力、表現力の基盤・語彙力の拡充に繋がる読書活動の充実
- ②目標冊数の設定と共に、並行読書を行い「質」を充実した読書力の向上
- ③朝の読書・すきま読書・家庭での読書や読み聞かせボランティアの活動の充実
- ④図書館利用の時間では、読書・学習・情報センターとする利活用

(6) 特別支援教育の充実に関する具体的な取組

- ①特別支援教育体制の充実
 - ア 校内研修等による教職員の専門性の向上
 - イ 基礎的環境の整備と合理的配慮の提供
 - ウ 計画に基づいた特別教育支援員との連携
- ②特別支援学級の教育課程の充実
 - 児童の障害の状態や発達段階及び特性と学習指導要領を踏まえた教育課程の編成
- ③交流及び共同学習の充実
 - ア 特別支援学級と通常学級・特別支援学校との共同学習の推進
 - イ 地域の人々や幼稚園と活動をともにする交流及び共同学習の推進
- ④就学支援体制の充実
 - ア 特別支援校内委員会の機能化と村教育支援委員会と連携した適切な対応
 - イ 体験入学や体験学習を恒常的に実施できる体制づくり
- ⑤通常学級担任や通級担当者との連携による指導の充実
- ⑥日本語支援が必要な児童への指導体制の構築（英語専科・ALTと連携）

(7) 「豊かな心」の育成に関する具体的な取組

- ①学校の教育活動全体を通じて、道徳教育・特別活動・キャリア教育等と体験活動の充実を図る。
- ②地域や自然、命の大切さを重んじ、地域人材を活用した体験活動の展開
- ③道徳的な課題を自分の問題として向き合わせた「考える道徳」「議論する道徳」の実践及び評価研究
- ④地域と学校・家庭とを結ぶあいさつや声かけ等、地域ぐるみの「凡事徹底」
- ⑤支持的風土をつくる学級経営とQUテストを活用した人間関係づくりや教育環境の整備
- ⑥人権教室（人権擁護委員）、非行防止教室（嘉手納署）の開催
- ⑦人権の日の充実（児童会によるいじめ・NGワード撲滅）

(8) 健やかな体の育成に関する具体的な取組

- ①安全教育・安全管理の充実
 - ア 学校独自の危機管理マニュアルに基づく安全教育の充実
 - イ 防災・防犯訓練・交通安全教室（交通安全協会）の実施等による危険予測・危機回避能力の育成
- ②健康の保持増進と体力の向上
 - ア 学校保健委員会の実施（年2回）
 - イ 飲酒・薬物乱用防止教室（嘉手納署）や性に関する指導の工夫・改善
 - ウ 新体力テスト等を活用した体力づくりや泳力向上への取り組み
 - エ 体力向上に関する施設の充実と体育科の授業改善
- ③食育の推進
 - ア 栄養教諭とのT・Tによる授業の実施、参観日での公開
 - イ 食に関する体験活動の充実
 - ウ 給食週間に交流給食の実施（生産者・地域協力者）

(9) 生徒指導の充実に関する具体的な取組

- ①組織的な生徒指導體制・教育相談体制の充実（S Cの活用）
- ②いじめ防止対策基本方針をもとにいじめを見逃さない。
- ③不登校・登校渋り対策の充実（未然防止・早期発見・受け入れ体制・小中連携等）
- ④学級活動や児童会の充実を図り、子どもの「居場所づくり」と「絆づくり」の推進
- ⑤インターネット等に関わる指導（5・6年スマホ教室）
- ⑥望ましい人間関係づくりと児童理解に基づいた授業づくり
- ⑦子どもの貧困対策の推進（「県指導の努力点」より）

(10) キャリア教育の充実に関する具体的な取組

- ①目的意識を持ち、自立した人間性の基礎を育むキャリアパスポートの活用（12年間継続）
- ②地域教育資源（地域人材・自然・地域素材など）の活用
- ③卒業生や地域人材を活用した中・高や将来の職業とつなげる勤労観・職業観の育成
- ④自分の役割を果たし、多様な人々と協働してよりよい人生や社会を構築する態度の育成（特別活動と関連）

(11) 国際理解教育・外国語教育の推進に関する具体的な取組

- ①「聞くこと」「話すこと（発表）」「話すこと（やりとり）」「読むこと」「書くこと」5領域の実践を通してコミュニケーションの基礎となる資質・能力を育成する。
- ②英語専科（F T）の活用による年間計画の作成と実践
- ③ICTを活用した授業力の向上
- ④英語専科やALTを活用したティームティーチング等、指導方法の工夫
- ⑤主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性など）

(12) 特色ある取組につながる事柄

- ①校内の記念碑等の活用「H 2 対馬丸慰霊碑」「80周年：8 0タワー」「100周年：久遠の響き」
- ②校区内史跡等の活用「阿麻和利の墓（楚辺）」「赤犬子宮（楚辺）」「徳武佐宮（大木）」「比嘉秀平像（大木）」「尚巴志の墓（伊良皆）」「古堅小学校門跡（古堅）」
- ③校内に給食調理場があり、望ましい食習慣の形成及び健康的な心身を育む食育指導の推進
- ④1年生での「M I M」を取り入れた言語指導の実施（上級学年でも適時指導）
- ⑤新聞を日常的に、計画的に、適時に取り入れた「N I E」の推進（村全校で推進）
- ⑥しまくとうば学習（9.18 校長講話、ボランティアによる琉歌や講話、1年生学習発表会で歓迎の言葉）
- ⑦「読谷村ふるさと学習」○先人に学び、産業・歴史・芸能を学ぶ○遺跡・ユンタンザミュージアム等への体験活動 ○沖縄戦や平和を考える活動に学年に応じて取り組む。
- ⑧幼稚園（複数年保育）とつなぐ視点を持った保幼小中の連携による交流学習
- ⑨歴史ある読み聞かせボランティア（H30年度20周年を迎え、継続活動で県教育長表彰）
- ⑩弁当の日の実施（村P T Aで推進、古堅中学校バイキング給食の日）
- ⑪老人会・地域住民による交通安全指導

(13) 課題

- ①校舎南と西側のフェンスの向こうは米軍基地で、登下校時の軍用車両の通行による危険が伴う。
- ②県道6号線から学校裏口向けは不規則な交差点で危険である上に、学校周辺は車の通行が多い。
- ③「徒歩登校」の取り組みの実践が十分浸透していないためP T A執行部と協働した取り組みを推進する。
- ④不登校・登校渋り・遅刻への適宜指導
- ⑤ゲーム障害を危惧する使用時間のため、登校渋り、遅刻に繋がる危険がある児童がいる。
- ⑥虫歯治療率（H29 22.9%、H31 27.2% R元 . %）
- ⑦学校課題と児童会活動・学級活動との連動（廊下の歩行、スリッパ並べ等）

*120周年、125周年に向けて学校運営協議会・P T A執行部と連携して準備を行う。

7. 学級担任・教科担任及び児童在籍一覧表

令和2年度

校長	仲村 美恵子	教頭	伊波 鉄也
----	--------	----	-------

()は外数

学年	学級	担任名	児童数			学年	学級	担任名	児童数			
			男	女	計				男	女	計	
一年	1	長堂 美幸	10(2)	14	24(2)	四年	1	肥田 絵里	15(3)	14	29(3)	
	2	與那覇 加奈子	13	13	26		2	山口 勇馬	15(2)	14(2)	28(4)	
	3	島袋 友見	12	15	27		3	大城 拓	15(2)	14	29(2)	
	4	仲村 莉子	13	15	28		計			45(7)	42(2)	87(9)
	計		48(2)	57	105(2)							
二年	1	知念 実千代	13(2)	16	29(2)	五年	1	岡村 美加子	15(1)	17(2)	32(3)	
	2	井上 匠	13(2)	15	28(2)		2	山田 陽一	15(2)	17	32(2)	
	3	末吉 陽子	13(1)	15(1)	28(2)		3	山澤 麻紀	16(2)	16	32(2)	
	計		39(5)	46(1)	85(6)		計			46(5)	50(2)	96(7)
三年	1	富原 美奈子	17(2)	16	32(2)	六年	1	花森 久栄	16(1)	19	35(1)	
	2	宇良 彩香	16(3)	14	30(3)		2	石川 奨	16	18	34	
	3	浜里 清楓	15(3)	15	30(3)		3	山田 香織	15(2)	18(1)	33(3)	
	計		48(8)	45	93(8)		計			47(3)	55(1)	102(4)
すみれ	渡口 尚子	5	2	7	学校全体	男子	271(30)					
コスモス	儀間 陽気	5	3	8		女子	296(6)					
ひまわり	山城 みのり	7	0	7		計	567(36)					
たんぽぽ	伊禮 周	7	0	7								
あさがお	久高 かな	5	1	6	学習支援員		比屋根 由美子					
さくら	喜久里 真史	1	0	1	特別支援教育支援員		松田 祐太					
計		30	6	36	特別支援教育支援員		ホワイト 香月					
通級指導教室		渡嘉敷 智子			英語指導助手・日本語支援員		マッカーネン 知子					
理科専科		玉城 清朗			主任(県費事務)		仲村 祥子					
音楽専科		前城 大輔			学校事務(村費)		金城 えりか					
英語専科		寺西 千早			PTA事務		糸村 亜耶乃					
授業改善リーダー		宮城 優			用務員		大城 将太					
養護教諭		宮里 香菜			心の相談員		比嘉 京子					
学校栄養教諭		儀保 君枝			学校カウンセラー		平田 奈々子					
拠点校指導指導教諭		高良 京子			特別支援教育介助員		比嘉 騎士					
非常勤講師		池原 司			6学年学習支援員		與嶺 由多可					
図書館司書		町田 ゆかり										

古堅南小学校



校長 長 嶺 浩 也

読谷村字古堅612番地1

TEL (098) 956-1129

1 本校学校経営の基本姿勢

教育基本法の精神に則り教職員一人一人の指導力と相互の連帯を基調に、各自が教育公務員としての使命を自覚し、全職員が協働体制を以て学校経営に当たる。

21世紀社会を展望した本校の建学精神とこれまでの素晴らしい校風を継承し、さらに充実発展させるよう次のことに留意し鋭意努力する。

(1) 21世紀に生きる人間の育成

21世紀をたくましく生き抜く力（自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力、自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力）を育み、国際社会に貢献しうる実践力を身につけるために、新教育観に立った教育活動を展開する。

- ・ 他人を思いやる心、国際協調の精神、ボランティア精神、社会生活のルールやモラルなどの倫理観、規範意識等を育成する。
- ・ 自己教育力の育成 ----- キャリア教育の視点に立った目的意識の醸成
- ・ 基礎、基本の徹底 ----- 各学年指導事項の定着を図る取組

(2) 地域、学校の特性を生かした学校教育活動を展開する。

地域、校内環境等、本校の実態に即した教育課程を編成し、特色ある教育活動を展開する。

- ・ 学年、学級経営の充実 ----- 児童、保護者との信頼関係を築く実践
- ・ 勤労生産、美化活動の展開 ----- 計画的、組織的な実践

(年間計画、教科・総合的な学習の時間等への位置づけ)

(3) 家庭、地域社会との連携強化を図る

保護者、地域社会との信頼関係をもとに実効性のある教育活動を展開する。

- ・ 開かれた学校づくり ----- 安全指導、環境整備、学習指導等で地域人材との連携拡充
- ・ 基本的生活習慣の形成 ----- 家庭との連携

2 教育構想

学校教育は、未来に生きる子どもたちを育成する使命をもつ。価値観が多様化し、複雑さが加速している21世紀にあって、社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成が求められている。

ここで、これからの教育構想を立てるに当たって、自らの力で社会に羽ばたく子どもたちを育てるという本校建学の精神を基調に、社会の要請、地域、学校の実施等を踏まえ、学校の教育目標を新教育観にたって意味づけを行い、共通理解を図る。

その具現化に当たっては、年度の努力（実践）事項を明確にし、学年、学級の具体目標へと下ろし、実践化を図る。併せて、めざす学校像、教師像を設定し学校あげでの努力目標とする。本校に勤務する全教職員がこの教育構想のもとに心をつなげて学校教育の充実発展を期して、鋭意努力したい。

子どもたちがそれぞれ持っている、またはこれから持つであろう夢を実現していこうとする時に、必要となる力をつけさせることが我々の責務であることを深く自覚し、日々実践に当たらなければならぬ。その力の源になるのは、自分が生まれ育った学校、家庭、地域に誇りを感じ、学んだことに自信を持つことである。「誇り」と「自信」を育むことを全教職員が意識の最前においていきたい。

3 学校教育目標

「よく考え工夫する子」(知)

すすんで新しい体験に挑み、その体験を通して学び常に創意工夫する子になるよう期待する。自分の頭で考え、自分の言葉で話すこと、様々な工夫をしながら表現できるようにしたい。

そのために、自ら学習するのに必要な知識・技能と学習の仕方や心構えをしっかりと身につけた子の育成をはかりたい。

「明るく思いやりのある子」(徳)

子どもの生来もっている純真さを大切にし基本的な生活習慣を身に付け、他人を思いやる心等、心豊かで規律や約束の守れる子になるよう願う。とりわけあらゆる場で共感的人間関係づくりに努め、いじめをしない、させない子どもの育成をはかる。

「強くたくましい子」(体)

頑張りのきく健康と体力をもち、物事を最後までやり抜く精神力こそ成長の源である。運動に親しみ、運動の楽しさを知るとともに自らの体に関心を持ち、病気の基礎的知識と健康を維持する生活習慣を身につけることが必要である。また、粘り強く物事に取り組み、自分の役割を責任をもって果たす子になることを期待する。

4 めざす学校像

《学校像》⇒ いい笑顔、いい言葉、いい心に満ちた学校

- ① 笑顔と明るいあいさつが響きあう学校
- ② 個(児童・教師・保護者)が輝く楽しい学校
- ③ 花と緑いっぱいの美しい学校
- ④ 規律と秩序のある、安心・安全な学校
- ⑤ 児童・保護者・地域から信頼される開かれた学校

《児童像》⇒ 明るく・かしこく・たくましい子

- ① 明るく元気に、あいさつができる子
- ② 心豊かで思いやりのある子
- ③ 自ら考え、進んで学習する子
- ④ 読書に親しみ、知識を広げる子
- ⑤ 自ら考え、責任ある行動のできる子
- ⑥ 夢や希望・目標に向かって粘り強く努力する子

《教師像》⇒ 愛と情熱に燃え、自らを高める教師

- ① 児童一人一人を愛し、大事にする教師
- ② 健康で、共に汗して働く教師
- ③ 常に研修に励み、自らを高める教師
- ④ 和・輪・話を大切にし、互いに信頼し合える教師
- ⑤ 責任感と協調性に富む教師
- ⑥ 児童・保護者・地域から信頼される教師

5 学年目標

学校	よく考え工夫する子 (知)	明るく思いやりのある子(徳)	強くたくましい子 (体)
1 学年	・話をしっかり聞く子	・みんなと仲良くできる子	・明るく元気な子
2 学年	・すすんで学ぶ子	・思いやりのある子	・ねばり強くがんばる子
3 学年	・進んで学習する子	・仲良く助け合う子	・ねばり強くがんばる子
4 学年	・よく聞き、よく考える子	・友だちを思いやり なかよくする子	・元気に活動する子
5 学年	・目標に向かってねばり強く 挑戦する子	・相手を思いやるやさしい子	・体をきたえ、進んで働く子
6 学年	・目標を立て、 ねばり強く実践する子	・相手を思いやり、 親切にする子	・体をきたえ、挑戦する子
みなみ なかよし	・きょうりよくして がくしゅうする子	・なかよくたすけあう子	・げんきでたくましい子

6 【本校の教育課題】

1. 学習指導に関する課題

- ① 日常的な授業の工夫改善（聞かせる工夫、学ぶ意欲を高める発問や交流活動等）
- ② 個に応じたきめ細やかな指導（指導と評価の一体化、ふりかえりの習慣化）
- ③ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得・定着
- ④ 望ましい学習習慣・学習規律の確立

2. 生徒指導に関する課題

- ① 生活リズムの確立（早寝・早起き・朝ごはん）
- ② 基本的な規範意識やモラルの育成（あいさつ・返事・後始末，言葉づかい，時間のけじめ等）
- ③ 生徒指導の充実（共通確認，共通実践）

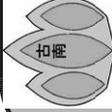
3. 教育相談に関する課題

- ① 不登校，登校しぶり等への組織的な関わり
- ② 定期的及び必要に応じたケース会議の開催と関係機関との連携
- ③ 青少年センター、子ども未来課等関係機関との連携
- ④ 心の教室相談員，スクールカウンセラー等との連携，効果的な活用

4. 運動能力及び保健安全に関する課題

- ① 運動能力の全般的な向上（体育の時間の充実、始業前、業間等の運動奨励）
- ② むし歯0へ（う歯未処置者への取組の強化）
- ③ 交通事故など校外での事故、および校内事故を0にすること。

地域に立脚し、志を高く持ち、他者と協働しながら未来を拓く古堅南っ子の育成



めざす南っ子の姿

- ① 明るく、かしく、たくましく、元気な姿
- ② 自ら考え、進んで学習する子
- ③ 読書に親しみ、知識を広げられる子
- ④ 自ら考え、責任ある行動のできる子
- ⑤ 自ら考え、責任ある行動のできる子

よく考え工夫する子

思いやりのある子

強くたくましい子

めざす学校像

- 〇笑顔と明るい言葉、いい言葉、いい心
- 〇個性が輝く学校
- 〇花と緑に囲まれた美しい学校
- 〇規律と秩序ある安心・安全な学校
- 〇児童・保護者・地域から信頼される開かれた学校

南っ子は時間を守り、返事・あいさつは元気よく、あとしまつをきちんとする良い子です。

キーワードは「定着」

頭を育てる

南っ子は、基礎学力と学習規律を身につける。

- ◇ 教材研究を深め、日々の授業改善・充実を行う（「分ける授業」・「参加する授業」の日常的实施）。
- ◇ 言語活動を重視した授業実践
- ◇ 各種調査の分析による授業改善
- ◇ ぐんぐんタイム（朝の学習）、補習指導（チャレンジタイム）の充実
- ◇ 授業と運動した家庭学習の実施及び習慣化
- ◇ 読書活動の充実

キーワードは「自己肯定感」

心を育てる

南っ子は、あいさつができ、時間が守れる。

- ◇ 特別の教科「道徳」の充実と（教育活動全体を通じて行う道徳教育）。
- ◇ 草花等の栽培活動を通して、思いやりの心を育む
- ◇ 「人権の日」（毎月1回、朝の学習（ぐんぐんタイム20分間）で全学年が年間計画に基づき指導する）
- ◇ 地域・保護者ぐるみでの教育環境整備、教育支援の充実（農園整備、読み聞かせ、ゲストティーチャー等）

キーワードは「早起き」

体を育てる

南っ子は、健康的な生活習慣を身につける。

- ◇ 「う歯治療率」の改善→児童への指導・保護者啓発
- ◇ 遅刻、欠席の改善（早登校奨励、徒歩登校奨励）
- ◇ 「食育の日」の取組（毎月1回、朝の学習（ぐんぐんタイム20分間）で全学年が年間計画に基づき指導する）。

職員を取組を貫く意識（1）

- 「誇り」と「自信」を育む
- ☆ 良さを伸ばし、自己の課題などに向かつて「気づき・考え・実行する」子の育成。
- ☆ 「認める・褒める」姿勢（結果より過程）
- ☆ 先輩に学び、先輩に続く気持ちを持たせる指導。

今年度教育活動の重点目標

- 諸学力調査で村平均、沖縄県平均を上回る。（NIE実践校）
- 不登校児童数を0にする。
- 校内事故（入院を伴う重大事故）を0にする。
- 交通事故（入院を伴う重大事故）を0にする。

地域・保護者の支援

- ☆ P T A の 諸 活 動 （ ふ う せ ん の 会 等 ）
- ☆ ひまわり隊 P T A 交 通 安 全 指 導
- ☆ 校区各自治会（公民館サマースクール等）
- ☆ 学校運営協議会 村民生児童委員 等

本校の良さと課題

- ◎ 運動場や農園が広く、のびのび活動することができる。
- ◎ スポーツ及び、音楽や伝統芸能・伝統音楽などが好きな子が多く、全体に素直で明るく活発である。
- 全国学力・学習状況調査等では、沖縄県の平均に到達することできたが、基礎学力の定着には、課題がある。
- 校舎や遊具が古く、また周辺の道路状況・交通量から校内事故、交通事故が常に懸念される。

職員を取組を貫く意識（2）

- 千一ム学校「統一・徹底・連動」
- ☆ 授業スタイル「統一」
- ☆ 生徒徒指導・給食指導等「統一」
- ★ 職員「一事徹底」→授業の展開
- ☆ 子どもの「一徹」の運動
- ☆ 「縦」「横」の連動
- 幼・小・中 学校・家庭・地域等

教育行政からの指導・支援 関係機関との連携

- ☆ 特別支援教育の充実（職員研修・保護者啓発等）
- ☆ 校内子ども支援会議を通じて、村子ども未来課・青年センター等との連携を行う（週時程に位置づけ）
- ☆ 古堅中学校区生徒指導連絡協議会での情報・行動連携
- ☆ 古堅駐在所警察官や嘉手納署との情報連携

学級担任・教科担任及び児童在籍一覧表 (1), (2)→特支学級在籍(外数) 令和2年度

校長	長 嶺 浩 也	教 頭	金 子 雅 仁
----	---------	-----	---------

◎主任,担当 ○副主任,副担当

学年	組	男子	女子	計	担任氏名
1	1	18	13	31	◎屋 良 千 鶴
	2	15 (2)	15	30 (2)	上 原 まどか
	3	17 (1)	13 (1)	30 (2)	伊 禮 絵里奈
	計	50 (3)	41 (1)	91 (4)	
2	1	14	12 (1)	26 (1)	◎川 口 秋 乃
	2	15 (1)	11	26 (1)	比 嘉 大 樹
	3	15 (1)	11	26 (1)	松 尾 陽
	4	14 (1)	11 (1)	25 (2)	仲 本 美 紀
	計	57 (3)	46 (2)	103 (5)	
3	1	11 (1)	16	27 (1)	◎大 城 敬 子
	2	11	15 (1)	26 (1)	宮 城 冴 企
	3	12 (1)	15	27 (1)	浜 里 江 梨香
	4	11	15 (1)	26 (1)	儀 間 光
	計	45 (2)	61 (2)	106 (4)	
4	1	12 (1)	15	27 (1)	◎大 城 真由美
	2	13 (1)	14	27 (1)	花 城 まりん
	3	12 (1)	14	26 (1)	川之上 亜紀子
	4	14	13	27	山入端 天 一
	計	52 (3)	55	107 (3)	
5	1	19 (1)	14	33 (1)	◎伊 藝 かつら
	2	20 (1)	14	34 (1)	田 仲 康 希
	3	19	15 (1)	34 (1)	野 国 昌 悟
	計	58 (2)	43 (1)	101 (3)	
6	1	15	15 (1)	30 (1)	◎奥 間 さゆり
	2	14	15 (1)	29 (1)	伊 禮 諒
	3	14	15 (1)	29 (1)	伊 元 美希子
	計	43	45 (3)	88 (3)	
合 計		305	291	596	
知的(みなみ)		3	1	4	東 江 一 美
情緒(なかよし1)		3	3	6	知 花 絵利奈
情緒(なかよし2)		4	2	6	知 花 素 良
情緒(なかよし3)		3	3	6	石 野 弘 実
総 合 計		13	9	22	

教 務	照屋 祐樹 理科 儀式◎	音 楽	内間 綾子 音楽 給食◎文化◎教科書◎
授業改善リーダー	宮城 紀幸 算数 学推◎ 研究○	特支教育支援員	岸本 敦子 久場 貴愛良
養護教諭	森 真子 (譜久村沙愛)	学習支援員	池 原 邦 子
県費事務	具志堅 朝 子	用 務 員	屋 良 朝 司
学校栄養職員	山 城 悠 美	P T A事務	雨 宮 由紀子
スクールカウンセラー	平 田 奈々子	教育相談員	上 地 ちあき
拠点校指導教諭	高 良 京 子	ALT(日本語支援)	城 間 典 子
初任研非常勤	池 原 司	プール管理人	羽 地 暁 司
村費事務	松 田 夏 子		
図書館司書	永 友 かおり		

読谷中学校

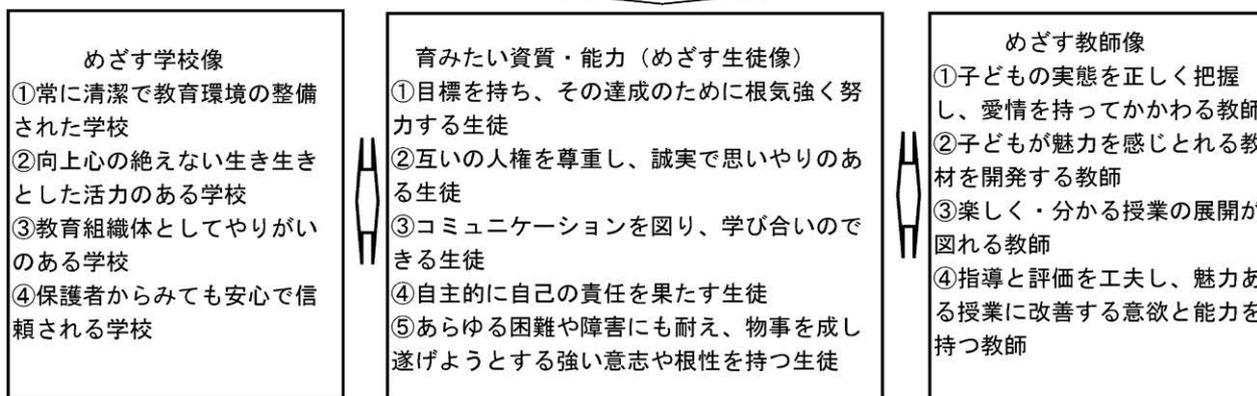
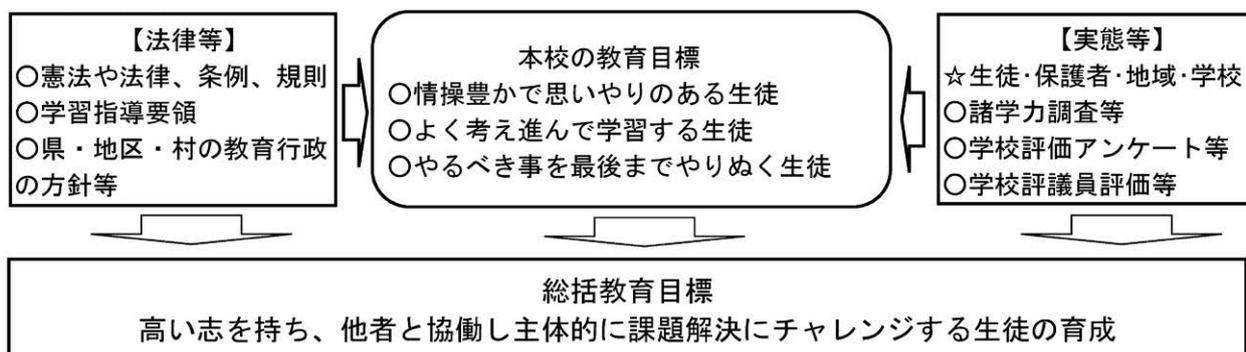


校長 宮里友昭

読谷村字座喜味2976番地2

TEL (098) 958-2303

1 学校経営基本構想



◎ **経営理念** 「学校における教育活動は、組織の力を生かした“団体戦”である。」

経営方針	<ul style="list-style-type: none"> 【 目標連鎖 】 教職員評価システムを活用した目標連鎖と目標管理 【 組織力 】 各種プロジェクトチームを中心とした協働 【 凡事徹底 】 共通理解と共通実践による日常的な取組 【 マネジメント 】 PDCAマネジメントサイクルによる改善
------	--

教育目標達成のための努力事項	
(1) 校内研修（教科部会）の充実と積極的な研修会への参画	(2) 学校教育目標達成に向けた目標連鎖及びマネジメントサイクルの確立・管理
(3) 夢と希望をはぐくむための学級経営の充実（支持的風土が育った学級づくり）	(4) 授業の心得十ヶ条の徹底・家庭学習の徹底・清潔な学習環境づくり
(5) 学校図書館資料等の充実と図書館利用の積極的な推進	(6) 保健安全教育の充実と食育の推進（健康の保持増進と体力の向上）
(7) PTA 活動の活性化と地域教育資源を活用する取組の充実	

本年度の重点目標・取組	
学力向上	「学び合い」を柱に据えた授業改善の推進と「学習規律」の確立 「授業と連動した宿題」と「夢現カード」の活用による学習習慣の定着
学級経営	「生徒の出番と承認（認める）活動」による「自己有用感と支持的風土」の育成及び「係活動と生徒会活動との連動」による自治的活動の推進
キャリア教育	「多様な人材・資源」を活用した「生き方学習」の充実 各種行事におけるキャリア教育の視点の目標設定とふり返りの充実
生徒指導	「あいさつ・時間励行」などの基本的な生活習慣の確立 「いじめ」の早期発見・早期対応
教育相談	「特別支援教育」と「生徒理解」の充実を通じた学校不適応への対応
新学習指導要領	新学習指導要領の理解と移行期の適切な対応 「特別な教科道徳」への対応（完全実施・授業改善・評価）

学校経営目標 : 生徒・保護者・地域社会に開かれた信頼される読谷中学校

2 学校教育・経営理念

◎教育理念 「文武両道」

「文武両道」には、幾つかの解釈がある。最も一般的な解釈では、勉強も、スポーツも、両方とも備えたい資質として、つまり「文」は勉強、「武」は運動という解釈である。

他方、「文」は静的な学び、「武」は動的なダイナミックな学びと捉え、その二つの学びを結びつけることが「文武両道」の本質であるという解釈である。

本校では、両者の解釈を踏まえ、子ども達の可能性と「生きる力」を育むため「文武両道」を教育理念とする。

◎経営理念 「学校における教育活動は、組織の力を生かした“団体戦”である。」

学校という組織の中で教育活動を行う上で、個々の教師の持っている良さ、可能性、力量を全て結集して生徒たちの成長のため、教師集団が一致団結して取り組んでいくことが重要である。

一方、生徒たちも同様に自らの持っている良さ、可能性、能力を全て結集して学校の諸活動に取り組む雰囲気が必要である。

そのためには、生徒や教師が、「一人にしない、一人にさせない」という思いを共有し、学校での学びを進めていくことが不可欠である。

3 本校の教育目標と今年度の総括教育目標

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情操豊かで思いやりのある生徒（豊かな心） ○ よく考え進んで学習する生徒（確かな学力） ○ やるべき事を最後までやりぬく生徒（健やかな体）
------	---

総括教育目標	高い志を持ち、他者と協働し主体的に課題解決にチャレンジする生徒の育成
--------	------------------------------------

4 めざす生徒像・学校像・教師像と育みたい資質・能力

<p>(1)めざす生徒</p> <p>【豊かな心】</p> <p>【確かな学力】</p> <p>【健やかな体】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 誠実で思いやりがあり、自主的に自己の責任を果たす生徒 * 互いに人権を尊重し、心豊かで明るく楽しい学校生活を築く生徒 * 知性を兼ね備え、個性的・意欲的でやる気のある生徒 * 目標をもち、その達成のために根気強く努力する生徒 * 知の総合化（活用型学力）を図り、未来を予想する創造力に富む生徒 * 健康でたくましい体と健全な精神を自らつくる生徒 * あらゆる困難や障害にも耐え、物事を成し遂げようとする強い意志や根性を持つ生徒
(2)めざす学校	<ul style="list-style-type: none"> * 常に清潔で教育環境の整備された学校 * 向上心の絶えない生き生きとした活力のある学校 * 教育組織体としてやりがいのある学校 * 保護者からみても安心して信頼される学校（信頼関係）
(3)めざす教師	<ul style="list-style-type: none"> * 子どもの実態を正しく把握し、愛情を持ってかかわる教師 * 子どもが魅力を感じとれる教材を開発する教師 * 授業を楽しく、分かる授業の展開が図れる教師 * 指導と評価を工夫し、魅力ある授業に改善する意欲と能力を持つ教師

(本年度の重点)	①目標を持ち、その達成のために根気強く努力する生徒
育みたい 資質・能力	①目標を持ち、その達成のために根気強く努力する生徒 ②互いの人権を尊重し、誠実で思いやりのある生徒 ③コミュニケーションを図り、学び合いのできる生徒 ④自主的に自己の責任を果たす生徒 ⑤あらゆる困難や障害にも耐え、物事を成し遂げようとする強い意志や根性を持つ生徒

5 教育目標達成のための努力事項

(1) 校内研修（教科部会）の充実と積極的な研修会への参画

- ①日常的な授業づくりの中で、指導方法の工夫改善及び指導と評価の一体化を図る。
- ②「学力向上推進プロジェクト」及び「問いが生まれる授業サポートガイド」を活用した授業改善の推進
 - ・キャリア教育の視点を踏まえた、「確かな学力」の向上の推進
 - ・「わかる授業」の構築による「確かな学力」の向上の推進
- ③読谷村教育委員会と連携した学力向上推進取組を実践する。
 - ・読谷村学力向上推進学校教育部会共通実践7項目の日常実践
 - ・家庭、地域と連携した実践（家庭学習の習慣化、地域教育資源の活用等）
 - ・全職員の資質向上をめざした校内研修の充実
- ④授業改善リーダーと村雇用学習支援員の連携による指導法の工夫改善

(2) 学校教育目標達成に向けた目標連鎖及びマネジメントサイクルの確立・管理

- ①教育委員会教育課程編成要領に基づく教育課程の編成、実施及び指導と評価の一体化
- ②学校教育目標と学年及び学級目標の連鎖、及びその具現化のための具体的な方策の推進
- ③学力向上マネジメントによる「目標管理型評価システム」の推進
- ④各種年間指導計画の作成と実施および定期的な振り返り

(3) 夢と希望を育む学級経営（支持的風土が育った学級づくり）の充実

- ①学校教育目標と連鎖した学級経営目標の設定と具現化のための具体的な取り組みの実践
- ②師弟同行、率先垂範を通じた心の通う信頼関係の構築
- ③キャリア教育の視点を持った学級経営
- ④「なりたい自分」と「なれる自分」を広げ、夢や希望を持たせる指導の充実
- ⑤「学ぶことと実生活との関わり」・「学ぶことの重要性」の理解を通じた学習意欲の喚起

(4) 授業の心得十ヶ条の徹底・家庭学習の徹底・清潔な学習環境づくり

- ①読中「授業の心得十ヶ条」の指導の徹底を図る。
- ②清掃と整理整頓による清潔な学習環境づくりに努める。
- ③授業と連動した宿題の実践により、家庭学習の習慣化を図る。

(5) 学校図書館資料等の充実と図書館利用の積極的な推進

- ①生徒の興味関心を高める「推薦図書」や調べ学習に活用できる図書の充実を図る。
- ②図書室掲示物の充実とファミリー読書等を活用した「読書のすすめ」の推進を図る。
- ③貸出冊数ゼロの生徒を無くす取組の充実を図る。

(6) 保健安全教育の充実と食育の推進（健康の保持増進と体力の向上）

- ①安全教育・保健管理の充実を図り、安全で健康的な生活を営む態度（危険回避能力）を育成する。

- ②事故防止のための安全管理（安全点検）や緊急対応体制の整備充実を図る。
- ③学校保健委員会を開催し、指導助言を日々の教育に活かす。
- ④保健体育科の授業実践と部活動の活性化により体力の向上を図る。
- ⑤栄養教諭（栄養職員）と連携した食育の充実を図る。

(7) PTA活動の活性化と地域教育資源を活用する取組の充実

- ①学年・学級PTA活動の活性化と職員のPTA専門委員会への積極的参加
- ②地域教育資源の活用を通じた郷土を愛する心の育成
 - ・平和ボランティア、戦跡等を活用した平和教育
 - ・座喜味ミュージアムを活用した調べ学習（地理・歴史・文化等）

6 本年度の重点目標

(1) 学力向上の推進

- ①「学び合い」を柱に据えた授業改善
- ②「学習規律」（チャイムスタート、立腰、整理整頓）の確立
- ③授業と連動した宿題の充実による学習習慣の形成
- ④校内研修と連携した「相互授業参観」「教科部会」の充実
- ⑤電子黒板の効果的活用

(2) 学級経営の充実

- ①「役割と達成承認（ほめる）」による自己有用感の育成
- ②「生徒会専門委員会と学級の係の連動」による自治的活動の推進
- ③「人間関係づくり」と「絆づくり」による支持的風土の育成
- ④「夢現カード」の効果的活用を通じた家庭学習の習慣化とタイムマネジメント能力の育成

(3) キャリア教育の推進

- ①「多様な人材・資源の活用」や「本物との出会い」を通じた「生き方学習」の充実
- ②各種行事におけるキャリア教育の視点の目標設定とふり返りの充実

(4) 生徒指導の充実

- ①人権の日を活用した「いじめ」の早期発見と早期対応
- ②積極的生徒指導の充実（あいさつ運動、8：10入室）

(5) 教育相談の充実

- ①「特別支援教育」への理解を深め「生徒理解」の充実を通じた学校不適應への対応
- ②企画委員会・生徒指導部会での情報共有と対応（てだて）確認の徹底

(6) 新学習指導要領への備え

- ①新学習指導要領の理解と移行期の適切な対応（年計の作成）
- ②「読み物道徳」から「考え議論する道徳」への授業改善

7 本年度の指導の取組目標

領域	取組目標
(1) 学校経営 全般	①教育課程の編成、実施及び指導と評価の一体化 ②指導計画及び指導法を充実させ、個性を生かし、自主性を育てる教育の実践 ③教育活動の能率的・合理的運営を図るために校務分掌の機能化 ④学校行事を精選し、教育目標を達成するための標準授業時数を確保 ⑤各教科・道徳・特活・総合等全ての教育実践を通して、「生きる力」の育成 （キャリア教育の視点を踏まえた「確かな学力」の向上の推進） ⑥個人情報及び校務に関わる情報等の管理徹底 ⑦小・中及び地域連携による生徒指導・教育活動の充実 ⑧三者会・企画委員会においての経営会議の充実 ⑨学校評価や学校運営協議会の助言等を踏まえたPDCAサイクルによる運営マネジメントの確立
(2) 学年経営 及び 学級経営	①学校教育目標と学年及び学級目標の連鎖、及びその具現化のための具体的な方策の推進（目標の連鎖） ②学年メディア及び教室の保清と学習環境づくり（掲示教育等） ③学年委員会・学級活動と生徒会（各種委員会）活動との連携による自治的学校生活の構築 ④学年・学級PTA活動の活性化と地域連携協力の推進（キャリア教育推進）
(3) 教科指導	①「県学力到達度調査」「全国学力学習状況調査」等の分析と課題への対応 ②「学力向上推進プロジェクト」及び「問いが生まれる授業サポートガイド」を活用した授業改善の推進 ③各教科部会の活性化と機能化を図り、教科で統一した授業づくりを進める。 ④読谷中「授業の心得十ヶ条」の徹底 ⑤村学力向上推進委員会の取り組みと連携した凡事徹底、日常的な取組の実践
(4) 総合的な 学習の時間 (生き方教育)	①3カ年を通して「生き方」に焦点を当て学びを深める。 ②各学年で共通した課題及び発達の段階に応じた課題を設定し、課題解決型の学習を進める。 ③地域(外部)人材・資源を活用し、「本物とのふれ合い」を通して学びを深める。
(5) 道徳指導	①計画的な授業の実践（指導計画に基づく実践） ②「読み物道徳」から「考え議論する道徳」への指導観・指導方法の転換 ③学年職員及び担任間の連携によるTTやローテーション授業などの実施 ④評価資料の蓄積と適切な評価の実施 ⑤道徳の時間を要とした学校教育全体を通じた道徳教育の実践
(6) 特別活動	①学級活動(話し合い活動・係活動・当番活動等)の活性化を図り、生徒の責任感と自己有用感を高める。 ②学級活動における進路指導の系統的指導及び目的意識をもたせる指導の充実 ③学校行事を通じた人間関係づくりと絆づくり
(7) 校内研修 (学力向上)	①授業力向上及び学校教育を進める上で必要な研修を計画的に実施する。 ②「公開授業と授業研究会」を通して、学校として目指す授業の共通認識を図る。 ③「学力向上推進プロジェクト」及び「『問い』が生まれる授業サポートガイド」を活用した学力向上・授業改善の実践と推進 ④本村学力向上「学校教育部会共通実践7項目」の実践 ⑤各種調査等の分析と課題への対応 ⑥チャレンジデイ・夏季補習授業・学力強化月間の実践
(8) 環境教育	①清掃活動の徹底と保清（整理整頓）による清潔な学習環境の整備 ②学校緑化（花壇・プランター整備）及び校内美化活動による学校環境整備 ③PTA美化委員会と連携した美化活動運動の推進

(9) 国際理解 教育	<p>①各教科・領域をとおし、異なる文化を持つ人々と協調して生きていく態度などの育成 および、わが国の歴史や文化などへの理解指導の充実</p> <p>②英語科において、外国語指導助手（ALT）の協力連携により、基礎的・基本的・実践 的なコミュニケーション能力の育成を図る。</p> <p>③英語検定や各種英語コンテストへの積極的な参加</p> <p>④読谷村中学生海外ホームステイ派遣事業への積極的な参加推薦</p> <p>⑤保護者・地域と連携した伝統芸能の教育活用</p>
(10) 平和教育	<p>①総合的な学習の時間において全学年で「平和学習」に取り組み、発達段階に応じた課 題を設定する。</p> <p>②地域教育資源（平和ガイド・戦跡・座喜味ミュージアム等）を積極的に活用し、多様 な学習方法による実践的な生きた学習となるよう工夫を図る。</p> <p>③平和人権委員会との連携を図り効果的に学習を進める。</p>
(11) 情報教育	<p>①ICT（電子黒板等）の活用推進（学習の動機付け、基礎的・基本的事項の定着、調 べ学習、発展学習等）</p> <p>②校内LANを活用した教育情報の蓄積と活用</p> <p>③情報モラル指導の推進（個人情報利用制限、ネットいじめ等）</p>
(12) 人権教育	<p>①人権教育の指導充実に努め、毎月一回の「人権の日」を設定し、いじめ等の把握及び 防止に努めるとともに、身近な人権を考える機会とする。</p> <p>②毎月の人権目標を設定し、意識啓発に努める。</p> <p>③平和人権委員会の活動と連携した学級指導の充実に努める。</p> <p>④校長講話や学年集会、地域人材（人権委員）等を活用し、人権意識の高揚を図る</p>
(13) キャリア 教育	<p>①生徒の実態や発達の段階に応じた本校キャリア教育目標の設定と実現に向けた具体的 取組の実践</p> <p>②中学校3年間を見通したキャリア発達を支援する系統的な指導の実践</p> <p>③各教科・総合的な学習・道徳及び体験活動（キャリア教育実践プロジェクト） 等を生かしたキャリア教育の充実（各学年のたすき）</p> <p>④「多様な人材・資源の活用」や「本物との出会い」を通じた「生き方学習」の充実</p> <p>⑤各種行事におけるキャリア教育の視点の目標設定とふり返りの充実</p>
(14) 生徒指導	<p>①指導体制の充実に努め、全職員の共通理解のもと一貫した指導を行う。</p> <p>②学校・家庭・関係機関との連携による指導の充実</p> <p>③読谷中校区生徒指導連絡協議会を通じた緊密な連携（情報連携・行動連携）</p> <p>④定例生徒指導部会による「報・連・相」体制の徹底</p> <p>⑤本校いじめ防止基本方針による未然防止と早期発見・早期対応の徹底</p> <p>⑥積極的な生徒指導の充実（あいさつ運動、8：10入室、ほめる（認める）指導）</p>
(15) 健康・安全	<p>①体育及び部活動の充実による健康・体力づくりの推進</p> <p>②定期健康診断結果等をいかした「学校保健委員会」の充実</p> <p>③学校栄養職員・給食担当者による「食」に関する指導の充実</p> <p>④定期的な安全点検及び関係機関と連携した安全指導の充実（防災訓練実施 地震・火 災・不審者侵入）による安心・安全な学校環境づくり、</p>
(16) 部活動	<p>①全員部顧問制のもと、生徒の自主的活動による部活動の推進</p> <p>②「文武両道」の精神による健全育成（基本的な生活習慣の定着、学習との両立）</p> <p>③教育課程外活動（部活）についての保護者の理解支援（部育成会の充実）</p> <p>④安全指導と安全管理による安心な部活動運営</p> <p>⑤ノ一部活動日（毎週月曜日）での活動推進（部室、グラウンド等の美化活動）</p>
(17) その他	<p>①学校職員・PTA・地域・教育委員会との相互連携</p> <p>②職員の服務規律の確保（服務チェックシートの定期的実践）</p> <p>③読書のすすめ（一斉読書、読み聞かせサークル活用、図書館教育の充実）</p>

古堅中学校



校長 比嘉政宏

読谷村字伊良皆297番地

TEL (098) 956-2221

令和2年度 学校経営

1 学校教育目標

- 進んで学びよく考える生徒の育成
- 明るく思いやりがある生徒の育成
- 健康でねばり強い生徒の育成

【重点目標】

- 主体的に学ぶ意欲を高め、一人一人の資質・能力を最大限に伸ばすことにより、将来を担う人材を育成する。
- 中学教育の基本となる知識・技能を確実に身に付けさせ、それらを活用した論理的で柔軟な思考力・判断力・表現力を育む教育を推進し、一人一人の進路選択を支援する。
- 部活動・生徒会活動等生徒の主体的な活動を支援し、他者を尊重し、思いやる力を養い、社会の発展に貢献できる人材を育成する。
- 保護者・地域との協働・連携を推進し、学校からのわかりやすい情報発信を積極的に行い、地域住民に開かれた信頼される学校づくりを行う。

【主体的・的対話で深い学びによる資質・能力】

- 「何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得）
- 「理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」）
- 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

めざす学校の姿 =学校力=	めざす生徒の姿 =人間力=	目指す教師の姿 =教師力=
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員全員で関わる組織文化を大切にする学校 ・生徒の成長を教育活動の拠りどころとする学校 ・保護者・地域と連携して地域とともにある学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いを認め合い、ともに学び合える生徒 ・自ら考え判断し行動できる生徒 ・元気なあいさつができ、感謝の気持ちを表せる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・『みほそ教育』を推進し、生徒理解に努める教師 ・信頼関係を大切にし、協働できる教師 ・授業改善と指導力向上に努める教師

2 学校経営方針

【学習指導】

- 基礎学力を定着させ、他者とともに意欲的に学び合う授業実践を行う。

【生徒指導】

- 生徒一人一人の個性と人権を尊重しあえる教育活動を行う。

【進路指導】

- キャリア教育を充実させ、「生き方」指導としての進路指導を行う。

【地域とともにある学校づくり】

- 保護者や地域と連携し、信頼される『地域とともにある学校』づくりを行う。

【組織的な学校運営】

- 職員の共通理解を深め、お互いの信頼関係が厚い『同僚性』にあふれた組織づくりを行う。

3 目標と主な方策

	視 点	目 標	主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○本校生徒に最適化し、資質・能力を伸ばす教育課程と授業研究に取り組む。 ○生徒主体の学校行事をさらに発展させ、課題発見・解決能力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた教科指導及び「総合的な学習の時間」における探究活動等、組織的な授業改善を展開する。 ○生徒会活動・学校行事の課題を生徒・教職員が共有し、課題解決に向けた取組をする。
2	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒主体の部活動をさらに発展させ、学習との両立を指導・支援しながら、豊かな人間性を育成する。 ○教育相談体制の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習活動・部活動のバランスのとれた学校生活の実現に向けて、タイムマネジメント能力を育成する。 ○組織的な教育相談・支援体制を整備する。
3	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の進路実現に向けて学習面、精神面で力強くサポートし、自己の資質と能力を最大限に伸ばす。 ○志を高めるために、将来を見据えたキャリア教育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学年・教科担任がチームとなり、中学3年間を見通した指導を行い、全国規模のデータ等を有効活用した面談・相談の指導体制づくり、さらに進路実現に向けた各種補習、キャリアパスポートの活用等を充実させる。 ○保護者・OB会・高校等と連携した取組を行う。
4	地域等との 連携	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者や地域、OB会との協働を推進し、地域に貢献できる信頼される学校づくりを行う。 ○ホームページや学校説明会等による迅速で正確な情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の自己肯定感の向上に繋がる地域との連携に取り組み、保護者や地域、OB会と連携した行事や部活動の運営を図る。 ○学校説明会やホームページ、メルポンに加え、様々な情報発信媒体を活用した的確な広報活動を展開する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○教育環境の整備に努め、安全で安心な学校づくりに取り組む。 ○様々な教育課題に適切に対応するために教員指導力の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練を充実させるとともに安全点検を日常的に行い、危機管理意識を高める。 ○各教科を超えた相互の研修及び外部機関と連携した研修を実施し、教師一人一人の指導力スキルの向上を図る。

4 具体的目標

他者と関わりながら、自力で課題を解決し自己実現を図る生徒の育成
～『チーム古中』で『みほそ教育』を推進し、地域とともにすすめる教育活動を通して～

5 具体的な取組

【学習指導】

- ◎基礎学力を定着させ、他者とともに意欲的に学び合う授業実践に取り組む。
- (1) 個に応じたきめ細かな指導を行い、基礎学力の定着に努める。
 - ①ペアやグループ学習等、アクティブラーニングを積極的に活用する。
 - ②ティームティーチング授業を充実させる。
 - 1・2年生の数学科で複数の教師によるティームティーチング授業を実施する。
 - (2) 生徒の実態を踏まえ、自ら意欲的に学ぶ力の育成に努める。
 - ①学年や担任を中心とした学習相談や学習支援を充実させる。
 - 全国レベルのテストの学習計画と反省、キャリア教育(進路指導)の一環として目的意識を高めるための担任との学習相談、家庭学習帳の活用等に取り組む。
 - 長期休業中に自主学習会を展開する(参加方法や呼びかけ、各学年に応じた学習会の持ち方等生徒が参加しやすい工夫も)。
 - ②家庭学習に意欲的に取り組めるための工夫をする。
 - 宿題等家庭学習の課題を工夫する(各教科の宿題だけでなく、学年ごとに家庭学習の課題《ワーク等の活用》を与える等の工夫をする)。
 - (仮名)を活用する(家庭での話し合いや指導の機会を増やし、学習意欲の向上へと繋げる)。
 - ③生徒の主体性を引き出す補習を実施する。
 - 放課後の隙間時間を活用し、学力上位層と下位層の学力向上を図る。
 - 生徒同士の教え合いを奨励し、学校全体の支持的風土づくりに繋げる。
 - (3) よくわかり、学び合える授業の実現に向けて、指導方法の工夫・改善に努める。
 - ①校内研修の授業研究推進部を中心に、教育委員会等から助言者やアドバイザーを招いて公開授業研究会を開催する。
 - 効果的な「めあて」と「まとめ・振り返り」のあり方、学び合うことのできるグループ学習のすすめ方の研究に取り組む。
 - ②授業アンケート等を活用して生徒の実態や生徒への理解を深める。
 - 各教科でアンケートや感想を取り、授業改善へと繋げる。
 - また、そのデータを分析することで生徒たちへの理解を深め、わかりやすい授業についての検討をする。
 - ③教師間の授業公開や授業参観を積極的に行う。
 - 研究主任を中心に先進校や校外への研修等に参加し、その研修成果を全教師の授業改善に役立てる。
 - 全教師が校外研修に参加し、振り返るとともに各自の授業改善に役立てる。
 - ④授業改善マニュアル具体的実践9項目を視点を置いた授業改善に取り組む。
 - 管理職等の1単位授業参観によるフィードバックを参考にする。

【生徒指導】

- ◎生徒一人一人の個性と人権を尊重し合える教育活動に取り組む。
- (1) 生徒の自主的・主体的な活動を通して「課題を見つけ、考え、判断し、行動できる力」の育成に努める。

- ①授業中にグループ学習等を活用し、生徒相互の高め合いを支援する。
- ②体育祭や文化祭等生徒たちの自治的な活動や部活動等生徒たちの自主的・自発的な活動を積極的に推進する。
- ③保護者や地域と連携したさまざまな体験学習活動を推進する。
 - 自治的な力を育むため、生徒の主体性を大切にした教師の関わり方と指導を行う。
 - 「土日を基本とした週1回の部活動休養日(朝練習・自主練習も含む)」を設定し、生徒たちの健康面や安全面を考慮した部活動運営に努める(大会が近い等休養日が設定しにくい場合でも「土日は半日練習」とし、休養できる時間は必ず確保する)。
- (2) あらゆる場面を通して人権感覚の育成に努める。
 - ①さまざまな教育活動に取り組む際に、『私たちの道徳』を積極的に活用する。
 - 道徳の教科化に向け、人権・平和教育部・道徳推進部を中心に人権教育や道徳教育の研修へ積極的に参加する。
- (3) 相談活動を充実させ生徒理解を深め、教職員全員で生徒に関わっていく体制づくりに努める。
- ①スクールカウンセラー、心の相談員や青少年センター等との日常的な連携を深める。
 - スクールカウンセラーには、生徒本人だけではなく保護者へのカウンセリング等も含め、幅広く支援・連携をしてもらう。
 - 担任と生徒・保護者との話し合いを積極的に行い、必要に応じてスクールカウンセラーや心の相談員との相談に繋げる。
 - 課題解決に向けて、校内だけでなく青少年センター・こども未来課、児童相談所等関係機関とも情報を共有し連携を深める(こども未来課の職員には家庭訪問等もお願いする等直接的に関わってもらう)。
- ②さまざまな機会をとらえて、日常的な事例検討の中で生徒理解を深める。
 - 本校のいじめ防止基本方針に沿った取組を行い、いじめの未然防止や早期発見に活かす。
 - いじめや不登校を未然に防止するために、一人一人の生徒と丁寧な関わりを持ち、教師と生徒との信頼関係を築く。
 - 毎月「学校生活アンケート」を実施し、生徒理解を深めるための資料として生徒指導に活かす。
- ③各種委員会や部会、学年会での丁寧な情報共有を行い、『みほそ教育』で生徒への理解を深める。
 - 他学年の生徒の様子を十分把握するために、生徒指導部会や特別支援校内委員会等校内組織を積極的に活用し、各学年での情報共有を丁寧に行う。

【進路指導】

- ◎キャリア教育を充実させ、「生き方」指導としての進路指導に取り組む。
 - (1) 学級活動における系統的な進路学習の計画的な実施とキャリアパスポートの活用にも努める。
 - ①生徒の資質・能力に応じた進路指導を計画的に実施する。
 - ②教育相談や三者面談による進路相談を充実させる。
 - 将来の夢・目標の視点に立ち3年間を見通した系統的・計画的な進路指導を実践する。
 - 進路希望調査やキャリアパスポートを活用して生徒把握に努め、日常的な教育相談を行う。
 - (2) 高等学校や地域との連携に努める。
 - ①職場体験学習、高校生による進路講話やボランティア学習を実施する。
 - 地域・社会と関わり合う職業学習・職業体験であることを意識させる。
 - 二学期(11月)から、高校生を募集して、放課後の学習会を実施して基礎学力の定着を図るとともに、高校生活についての話を聞き、学習意欲に繋げる。
 - ②隔年ごとにPTA主催による「日曜学校」を実施する。
 - 地域在住の方やOB会を中心とした講師による「日曜学校＝職場体験学習」を実施し、勤労観や職業観を育成するとともに相互の社会形成能力の育成に繋げる。

- (3) 各種データを蓄積し、相談資料の活用に努める。
 - ①進路相談を実施する際に、データによる相談活動を充実させる。
 - 全国規模のデータを数多く収集し、広い視野での見方・考え方に繋げる。
- (4) 進路指導情報の把握に努める。
 - ①進路通信を発行し、自らの進路決定能力の支援を行う。
 - 正確な情報収集に努め、変化に柔軟に対応できる能力の育成とキャリアプランニング能力の育成を図る。

【地域とともにある学校づくり】

- ◎保護者や地域と連携し、信頼される『地域とともにある学校づくり』に取り組む。
- (1) 学校教育活動への理解を得るための情報発信に積極的に努める。
 - ①生徒の活躍の様子がよくわかるホームページの作成・更新を行う。
 - ②必要な情報が伝わるような学校だよりや各種通信、学校メーリングサービス「めるぼん」を利用する。
 - 一方向の情報発信だけでなく、保護者や地域のニーズを聞き、できるだけそのニーズに沿うような情報発信(通信・ホームページ)を心がける。
 - 配布文書等は、保護者の手元に確実に届くよう、学級での丁寧な確認や指導を行う(特に必要な場合は、「めるぼん」や確認・返信を依頼する等の工夫や手間をかける)。
 - (2) 保護者や地域との交流の機会を積極的に設定し、相互理解に努める。
 - ①保護者や地域の方が学校に来れる機会を持つ。
 - ②家庭訪問や保護者懇談会を充実させる。
 - 学校行事や懇談会以外に、保護者や地域を対象とした日曜授業参観を実施する。
 - 家庭訪問を積極的に行う等の保護者と直接対話することを心がけ、保護者との情報共有や意見の交流ができるような機会を数多く持つ。
 - (3) 各自治会長や学校評議員の支援・協力のもと、意見を学校運営の改善に反映させ、保護者や地域との連携に積極的に努める。
 - ①学校教育へ直接的に参加させ、地域に根ざした特色ある教育活動を展開する。
 - ②学校自己評価・保護者アンケートを実施し、次年度の学校改善に繋げる。
 - ③学校評議員会を開催して、学校教育活動の理解と意見の交換を行う。
 - 新指導要領についての理解を深めるために、保護者や各自治会長への周知を図る。

【組織的な学校運営】

- ◎職員の共通理解を深め、お互いの信頼関係が厚い『同僚性』による組織づくりを行う。
- (1) 全員で協力して学校運営に関わる組織の構築に努める。
 - ①企画委員会や各種委員会の積極的な活用により、組織的かつスムーズな学校運営に取り組む。
 - ②「報告・連絡・相談」の確実な取組によって十分な共通理解を深め、「計画→実行→評価→改善(PDCAサイクル)」を重視した学校運営に取り組む。
 - 校務分掌を見直し、一人一人の役割や分担を軽減する。
 - (2) 生徒の成長する姿にやりがいと意欲を持って、健康で安心して働くことのできる学校運営に努める。
 - ①お互いの共通理解により、年次有給休暇の取りやすい職場環境づくりに取り組む。
 - ②教職員一人一人が勤務のあり方を見直し、自覚を持って過重労働を減らすように取り組む。
 - 年次有給休暇を取る際は、教師間で時間割の変更等の調整を行うようにする。
 - (3) 服務規律の遵守を徹底する。

令和2年度学年配置及び学級担任・副担任と生徒数

校長：比嘉 政宏 教頭：仲村 裕子

一 学 年					二 学 年					三 学 年							
組	氏 名	教 科	男	女	計	組	氏 名	教 科	男	女	計	組	氏 名	教 科	男	女	計
1	幸地 忍	数学	15	15	30	1	砂川 健太	数学	16	20	36	1	兼次 徹	理科	17	16	33
2	仲吉 悠里	音楽	17	15	32	2	伊波 裕子	英語	17	20	37	2	栄口 清乃	社会	16	17	33
3	豊里 梓	英語	14	16	30	3	長濱 和章	社会	16	20	36	3	仲本 賢真	国語	17	15	32
4	當山 直弘	体育	15	16	31	4	松田 紗世	家庭	17	20	37	4	兼城 希	数学	16	17	33
5	上地那津紀	国語	14	16	30	5	大城 徹	理科	15	21	36	5	外間 頼輝	体育	16	17	33
6	玉城 夢乃	英語	15	15	30												
		小計	90	93	183			小計	81	101	182			小計	82	82	164
8		知的				8	亀川 怜	知的	1	0	1	8		知的			
9	下地利和	情緒	3	0	3	9	(下地利和)	情緒	2	1	3	9	(下地利和)	情緒	0	1	1
10		肢体				10	(外間千奈美)	肢体	1	0	1	10	外間千奈美	肢体	0	1	1
11	(与久田麻由美)	通級				11	与久田麻由美	通級				11	(与久田麻由美)	通級			
		一学年合計	93	93	186			二学年合計	85	102	187			三学年合計	82	84	166
														全体の合計	260	279	539
1	立津 茂良	社会	1学年主任、5・6組副担任			1	新城 孝枝	国語	2学年主任、1・2組副担任			1	玉城 真	数学	3学年主任、2組副担任		
2	比嘉 敏雅	技術	1学年生徒指導、3・4組副担任			2	仲松 大輔	体育	2学年生徒指導、4組副担任			2	座間 味正人	英語	3学年・生徒指導主任		
3	川田 健太郎	理科	教務主任、学推担当、1・2組副担任			3	新城 彰史	数学	授業改善リーダー、研究主任、3・5組副担任			3	又吉 秀一	英語	進路指導主任、1・4組副担任		
4	大城 志津香	国語	教育相談、給食担当			4	桑江 利恵子	特支	特別支援教育支援員(村費)				宮城 あすか	美術	生徒会顧問、3・5組副担任		
5	照屋 啓子	数学	数学支援員(村費)			5	比嘉 真紀子	養護				5	棕尾 結香	理科	教育相談、		
												6	伊波 光弘	特支	特別支援教育支援員(村費)		

V 生涯學習課

1 生涯学習推進の目標

読谷村ゆたさむらビジョンの基本目標は「ゆたさる風水 優る肝心 咲き誇る文化ど思い合ち」であり、その中で生涯学習に関わる基本施策を「ちむ清らさあるひとの学び育ち」としている。

生涯学習推進基本計画の目標として、村民の主体的な学習活動と行政による学習環境の整備により「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる学習社会の実現をめざして、子育て支援や健康・体力の増進、高齢化社会による新たなニーズへの対応などといった今日的な課題解決にむけ、地域社会や各関係機関等との連携・協力体制の構築を図る。

(1) 様々なニーズに応える学習内容の充実

今日、少子高齢化による子育てや顕在化する団塊の世代の高齢化など人生各期に関わる課題や、地球温暖化等の環境問題や本村が取り組んできた平和活動など、様々な社会的課題に応えるための学習機会の充実が求められている。

その学習機会の充実に向けた情報収集や各種専門機関との連携による、学習内容の企画立案に努める。

また、ふれあい交流館で積み上げてきたサークル活動の発展をとおした学習内容や学習機会の充実を図る。

(2) 人とコミュニティの育成

核家族化にともなう家庭教育支援の課題や次世代を担う青少年の育成、地域社会を支える各種関係団体の人材確保など、地域社会が抱える課題に積極的に対応するために、コミュニティや社会教育関係団体の育成に関わる支援体制の推進を図る。

また本村の未来を担う人材の育成を目的として、本村独自で取り組んでいる子ども達による県外自治体との地域交流による体験型学習機会の充実を図る。

(3) 地域文化の継承と発展

本村を特徴付けるものは、各地域に継承されている伝統芸能、読谷山花織、ヤチムン等の長い歴史に裏打ちされた地域文化である。また、若い世代によって新たに取り組まれる文化芸能活動とあわせて、鳳ホールや陶芸研修所を拠点に地域文化活動のさらなる発展に関わる取組を推進する。

(4) 心と身体の健康づくり

地域における様々な体育活動は、地域コミュニティの活性化と地域社会を担う子どもたちの育成、地域住民の生きがいに寄与している。さらに高齢社会を迎えた今日では村民の健康維持や生活習慣改善などの健康づくりへの関心が高くなる中、これまでの地域スポーツの振興に加えて、ウォーキングをはじめとする健康づくり等に対する学習ニーズへの対応を関係機関と連携しながら取組を図る。

(5) 学習情報の提供

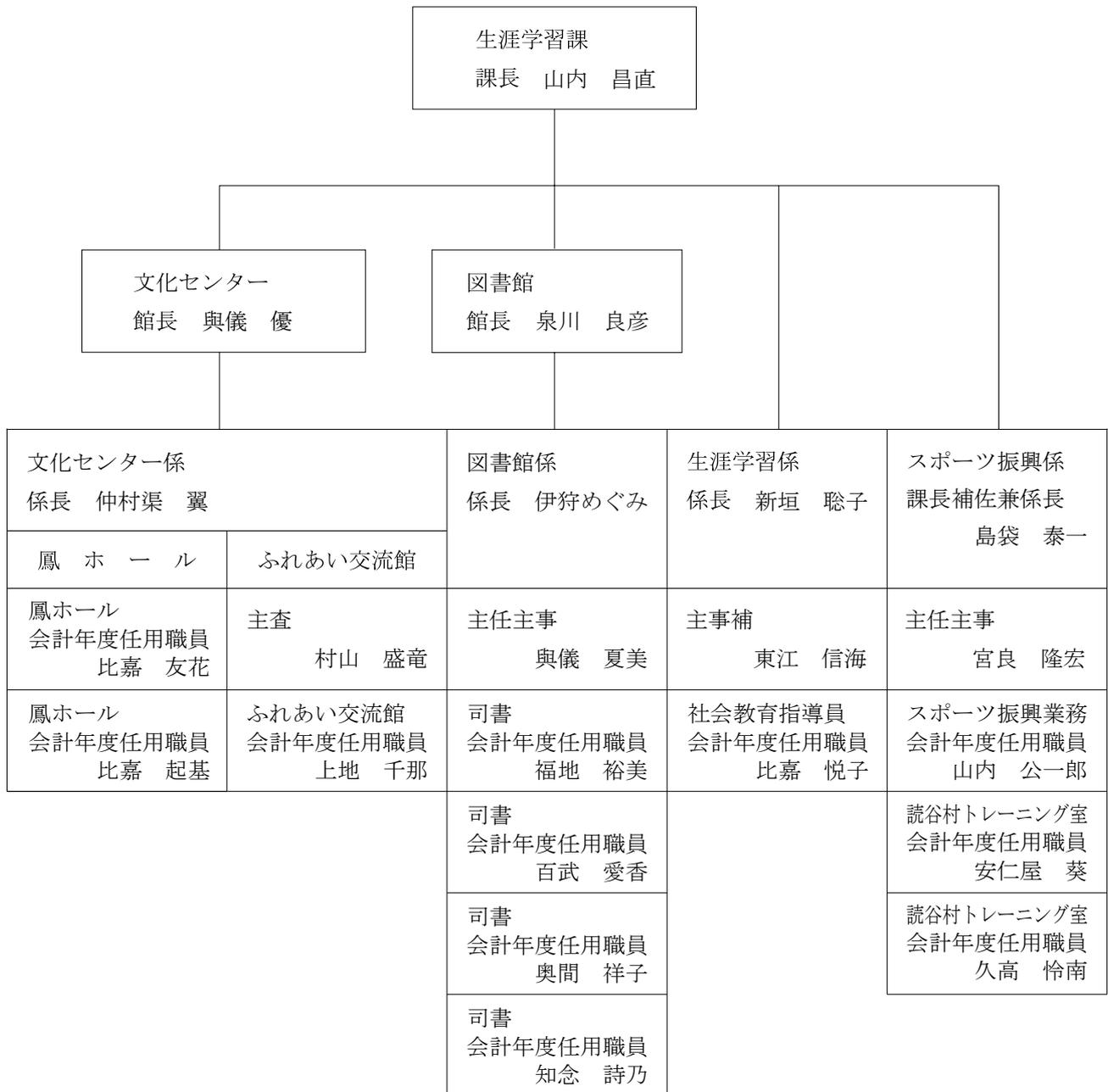
村立図書館は読書の場のみではなく学習情報の拠点としての役割を果たしている。図書館資料とレファレンス機能を活用し、地域課題の解決に対応する情報を広く提供し、暮らしの中に役立つ情報センターとしての地域支援型図書館の確立をめざす。

(6) 生涯学習推進体制づくり

生涯学習は多岐に及んでいることから、関連する分野の協力による総合的推進が重要である。そのためにも、読谷村ゆたさむらビジョンの基本施策を踏まえ、社会教育団体と連携・協力した活動の展開を図る。

さらに、村内における社会教育活動・生涯学習活動の集大成の場である「まなびフェスタ読谷」をその成果発表の場とするとともに、「ちむ清らさあるひとの学び育ち」の目的達成に向けた生涯学習の充実に努める。

2 生涯学習課機構図



3 生涯学習課事務分掌

係	分掌事務の概要
生涯学習係	<ol style="list-style-type: none"> 1 生涯学習の振興に関すること。 2 生涯学習に係る企画、調整に関すること。 3 社会教育に関する企画、調整、研究及び情報交換に関すること。 4 社会教育委員に関すること。 5 社会教育指導員に関すること。 6 社会教育指導者等の研修に関すること。 7 社会教育委託学級等の開設に関すること。 8 社会教育団体の指導助言及び育成に関すること。 9 児童交流に関すること。 10 学習等供用施設に関すること。 11 青少年健全育成に関すること。 12 成人式に関すること。 13 各種学級講座に関すること。
文化センター係	<ol style="list-style-type: none"> 1 鳳ホールの庶務事務に関すること。 2 鳳ホールの予算編成及び決算に関すること。 3 鳳ホールの施設及び備品の貸し出しに関すること。 4 鳳ホールの備品台帳の整備・管理に関すること。 5 読谷村文化センター運営審議会事務に関すること。 6 鳳ホール自主事業の企画・立案・実施に関すること。 7 舞台芸術及び民俗芸能等の普及、振興に関すること。 8 文化団体等の育成、支援に関すること。 9 公立文化施設協議会に関すること。 10 読谷村文化協会に関すること。 11 文化センターの施設管理及び保守委託業務に関すること。 12 ふれあい交流館事業の企画・立案・実施に関すること。 13 ふれあい交流館の庶務事務に関すること。 14 ふれあい交流館の予算編成及び決算に関すること。 15 ふれあい交流館の施設管理、保守業務に関すること。 16 ふれあい交流館の備品台帳の整備、管理に関すること。 17 ふれあい交流館の施設及び備品の貸出しに関すること。 18 自治公民館との事業調整に関すること。 19 団体、グループ、サークルの育成学習支援に関すること。 20 陶芸研修所業務に関すること。

<p>スポーツ振興係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツ振興事業の企画・立案・実施に関する事。 2 スポーツ推進委員に関する事。 3 社会体育指導者育成に関する事。 4 社会体育関係団体に関する事。 5 社会体育施設の管理運営に関する事。 6 社会体育施設整備に関する事。 7 スポーツ教室、講習会、大会等の開催に関する事。 8 学校体育施設開放に関する事。 9 体育協会に関する事。
<p>図書館係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 図書館に関する予算編成及び決算に関する事。 2 図書の貸し出し及びレファレンスワークに関する事。 3 図書受け入れに関する事。 4 図書購入計画に関する事。 5 図書備品に関する事。 6 親子読書講座等に関する事。 7 除籍作業及び蔵書点検に関する事。 8 その他図書館業務に関する事。

4 生涯学習係

I 潤いと生きがいのある生涯学習社会をめざす

村民の多様化する学習ニーズに応じて、いつでも、どこでも学習ができ、その成果が社会において適切に評価され、活用される生涯学習社会の実現に努める必要がある。

このため、村民が生涯の各期に、各自の自発的な意志により、自分に適した手段、方法を選択し必要とする分野の学習ができる機会を総合的・体系的に整備し充実を図る。

I-1 いつでもどこでも学べる生涯学習推進体制・基盤の整備充実

村民の生涯にわたる学習活動を推進するため、生涯学習の視点に立って学校教育、家庭教育、社会教育のそれぞれの教育機能の充実を図るとともに、相互の連携を図りつつ、多様な学習活動のための総合的な施策を展開する。

(1) 読谷村生涯学習推進基本計画の実施

I-2 村民の学習ニーズに応える学習機会の充実

社会の著しい変化に伴い、人々の学習意欲が新たな高まりをみせ、個人や団体等による自主的な学習活動が行なわれている。これらの学習ニーズ及び村民の生涯の各時期における必要課題や要求課題並びに学習課題に応えるため、学習情報及び学習機会の提供、学習相談体制の整備、学習活動への積極的な支援に努め、生涯学習社会の形成を図る。

- | |
|---|
| (1) まなびフェスタの開催
(2) 各学習情報・学習機会の提供、学習相談、あっせん、多様な講座の開設
(3) 社会教育委託学級・自治公民館講座の推進 |
|---|

II 豊かな心を持ち、夢・実行力のある青少年の育成をめざす

青少年は、一人ひとりが多様な可能性をもった存在である。青少年が心身ともに健やかに成長することは、村民の願いであり、その願いを実現するために、学校・家庭・地域社会が、それぞれの教育機能を十分に発揮するとともに、三者が相互理解を深め、連携・協力して青少年の健全育成に取り組み、青少年が現在または将来において自己実現が図られるように、一人ひとりの個性をのばすとともに、社会性を養い、豊かな人間性の育成に努める必要がある。

このため、社会の変化に主体的に対応し、自らの問題や社会の課題に積極的に取り組むことができる実行力のある青少年を育成するための青少年育成活動を推進する。

II-1 健やかな青少年を育む地域活動、体験活動の拡充

豊かな心を持ち、夢や希望を抱き、実行力のある青少年を育成するため、学校・家庭・地域社会が連携を図りながら社会環境の浄化や非行防止に努めるとともに、地域の子は地域で守り育てるやさしさの声かけ運動や自然体験活動等の機会を拡充するなど、青少年の心と体の健やかな成

長を支援する施策を展開する。

- (1) 地域の子は地域で育てる、やさしさの「声かけ」運動の推進
- (2) 各種体験・交流活動の推進
- (3) 子ども会交流事業の推進
- (4) 地域の行事に積極的に参加できる体制の推進

II- 2 学校、家庭、地域社会の連携強化

子どもたちの基礎的な学力の向上や、規則正しい生活習慣を身につけるためにも、学校と家庭の連携をはじめ、地域住民や企業といった地域社会に幅広く連携の輪を広げ、地域の教育力の活性化に努める。

- (1) 読谷村地域学校協働活動推進
- (2) 「早ね・早おき・朝ごはん」運動の推進
- (3) 家庭生活における規則正しい生活習慣づくりの確立

II- 3 村青少年健全育成連絡協議会の充実

青少年健全育成の基本は、青少年自身が目的意識をもって規律正しい生活態度を身に付けることにあり、それを地域社会が総力をあげて支援することが大切である。その支援体制の中心となる読谷村青少年健全育成協議会の組織・機能の強化及び活動を促進し、青少年の健全育成を図る。

- (1) 青少年指導員による健全育成活動の実施
- (2) 「少年の主張大会」の開催
- (3) 青少年健全育成村民総決起大会の開催
- (4) 村内諸行事における夜間街頭指導の推進
- (5) 地域の環境浄化の促進

II- 4 子どもたちの「生きる力」を育むための活動の推進

学校・家庭・地域社会が相互に連携しつつ、子ども達が伝統行事・文化・スポーツ活動に参加することを通して「生きる力」を育むことを基本に、親と子どもの活動を支援するため、総合的な青少年の体験活動事業を推進する。

- (1) 「青少年を守る日」「おきなわ地域教育の日」「家庭の日」の取組みの推進と充実発展
- (2) 地域の伝統行事・文化・スポーツ活動への積極的参加の促進
- (3) ボランティア活動など社会奉仕体験活動の推進
- (4) 幼児・児童・生徒の学校外活動の推進
- (5) 放課後子ども教室推進事業の推進

Ⅲ 家庭・地域の教育機能の活性化をめざす

社会教育は、地域社会で必要とされる様々な課題や地域ニーズに住民自らが自発的・主体的に関わっていく活動である。

さらに地域住民の自主的な学習活動を支援する生涯学習社会では、いつでも気軽に学べる学習機会の拡充が求められることから、社会教育施設・設備の整備や指導者の養成・確保等、社会教育基盤の整備を推進する。

このように、村民のそれぞれの時期に即した多様な学習機会を提供し、社会教育活動の充実を図るとともに、地域教育力並びに家庭教育力の向上に向けた、乳幼児期からの子育て支援や、親と子のふれあいをおとした心の教育の充実に努める。

Ⅲ- 1 生き生きとした活動を支える社会教育基盤の整備・充実

生涯学習を推進するため、社会教育施設・設備の設置・改善や指導者の養成、確保など社会教育基盤の整備・充実に努める。

- (1) 自治公民館を利用した活動の推進
- (2) 文化協会・各種グループ・サークルのネットワークの充実・強化
- (3) 地域コミュニティの拠点として、学習等供用施設の整備

Ⅲ- 2 時代のニーズに応える社会教育活動の充実

村民の学習意欲の高まりや時代の変化に伴う新たな学習需要の増大に応えるため、社会教育施設等における学習活動への積極的参加を促進する。

- (1) 自治公民館活動を支援し、地域活動の充実・促進
- (2) 自治公民館講座や社会教育委託学級による、地域公民館を拠点とした学習環境の充実

Ⅲ- 3 地域及び家庭教育機能の充実

地域・家庭は、生涯における人間形成の基礎を培う上で最も重要な役割を持ち、人格形成に大きく影響を及ぼすところである。そのため地域・家庭の教育機能が十分に発揮できるよう支援を強化し、地域及び家庭教育の充実を図る。

- (1) 子育て応援講座の開催
- (2) 子育て支援チームとの連携
- (3) 読子連・読P連・村婦人会・村青年会の育成強化
- (4) 教育・福祉・保健並びに地域とが連携した子育て支援体制の構築
- (5) 読谷村家庭教育相談支援事業の推進
- (6) 家一なれ一運動の推進

読谷村社会教育委員名簿

期間 令和2年4月1日～令和4年3月31日

役 職	氏 名	住 所	備 考
議 長	我 奴 古 清 秀	字 長 浜	
副 議 長	比 嘉 朝 克	字 宇 座	
委 員	大 城 誠 二	字 渡 慶 次	
委 員	比 嘉 恵 子	字 大 湾	
委 員	新 垣 より子	字 瀬 名 波	

令和2年度 生涯学習・社会教育事業計画

(主催・共催事業)

	事業名	事業内容・目的	月日	対象
青少年育成事業	第9回岐阜県白川村・読谷村子ども会交流	・気候、風土、歴史文化の異なる岐阜県白川村との交流をとおし、相互理解と交流を促進すると共に次代を担う青少年の健全育成及びリーダーの育成を図る。	夏の交流 R2.7月 冬の交流 R3.2月	小学生 8名 JL 2名 引率者 4名 合計 15名
	中頭地区ジュニアリーダー研修会	・中頭地区のジュニアリーダーを一同に会し、資質の向上と親睦及び、仲間作りに努める。	R2.8月	村内中高生 4名
	読谷村青少年健全育成協議会	・様々な生き方や考え方にふれ、将来に対する夢や希望を育み、家庭や地域が子どもたちの健やかな育ちを考える機会とする。	R2.7月	村内小中学校 村民一般
	読谷村インリーダー研修事業	・村内の小学生を中心としたリーダーの育成事業の実施。宿泊研修及び定例研修。	R2.7月	村内小学生
	放課後子ども教室推進事業“わんぱく広場”の開催	・地域公民館等を活用して、大人と子どもたちが自由にふれあうことをとおして、子どもの主体性を育み、地域の活性化を図る。	通年 村内9カ所	村内 幼小中学生
	少年の主張大会 青少協・青少年センター主催	・家庭、学校及び地域で日頃考えていることを発表することで社会の一員としての自覚と、よりよい人材育成を図る。	R2.7月	村内中学生
青年	令和3年第57回読谷村成人式	・新成人の栄えある門出を祝し、成人式典を催し、「はたち」の成人者を村民あげて祝福する。(H12年.4.2～H13.4.1生)	R3 1月10日	新成人者
	青年対象事業	・地域の若者たちを対象に、研修会をととした主体的な活動を模索する。	通年	村内青年
指導者育成	社会教育関係団体合同ミーティング	・各種関係団体、委員が一堂に会し、連絡会を通して互いの連携を図る。	年2回	社会教育団体 社会教育委員 教育委員会
	社会教育等関係団体合同研修会	・社会教育に関する各種団体が抱える課題解決や、活動の活性化を目指して研修を図る。	年2回	各種社教団体 社会教育委員 生涯学習課
	読P連研修	・PTA組織の運営のあり方。 ・読P連活動の活性化に向けて。	R2.1月	各単P役員・ 各学校長等
	読谷村婦人会リーダー研修会	・充実した会運営をしていくための知識技術の向上と共に各婦人会の情報交換を図る	R2.4月	村役員 各自治会役員
地域家庭教育支援	社会教育委託学級 ・婦人学級 ・青年学級 ・PTA学級 ・子ども会育成学級	・生涯学習社会の到来にともない村民の学習要求も多様化する今日、『いつでも、どこでも、だれでも』学べる環境づくりを進めるため、社会教育委託学級を開設する。	3学級開設	各社会教育 団体
	読谷村家庭教育支援事業の実施	・子育て支援員の育成と保護者への相談支援を中心とした家庭教育支援事業の実施。 ・家庭教育支援チームの養成。	通年	子育て中の 保護者と子ども
	子育て応援講座 お父さんの子育て 応援講座	・子育て中の親同士の仲間づくりや健康づくり、情報交換や家庭教育学習の機会にし合わせて子育て支援の人材を育成する。	全9回	全村民

	事業名	事業内容・目的	月日	対象
地域家庭教育支援	読谷村地域学校協働活動推進事業の実施	・幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働し未来を担う子どもたちの成長を支えると共に地域を創造する活動を推進する。	通年	全村民 学校児童生徒
生涯学習のまちづくり	まなびフェスタ 読谷2021	・本村の生涯学習、社会教育活動の集大成として、各種グループサークルや社会教育関係団体の活動報告や舞台発表、野外イベント等を開催。地域の方々への生涯学習についての関心を高める。	R3.2月	全村民
	生涯学習・社会教育等 研修会(沖縄県・中頭)	・市町村関係者が一堂に会し、専門的実践的な知識技術についての研修を行い、資質の向上を図る。	通年	関係職員
各種 研修 会 派遣	社会教育指導員研修 (沖縄県・中頭)	・各市町村社会教育指導員が一堂に会し、専門的実践的な知識、技術についての研修を行い資質の向上を図る。	通年	社会教育 指導員
	R2第47次 中頭地区 青年婦人国内研修	・中頭地区の青年婦人が一同に県内外の先進地の視察・交流を通して会活動の活性化を図る。	R2.10～ 11月	青年会 会 婦人 会
	社会教育関係団体等 振興補助金	読谷村補助金等の交付に関する規則等により補助金を交付し、社会教育関係団体を助成・育成支援を行う。 ①読谷村子ども会育成連絡協議会 769,000円 ②読谷村青年団協議会 560,000円 ③読谷村婦人会 1,173,000円 ④読谷村PTA連合会 1,121,000円 ⑤読谷村青少年健全育成協議会 200,000円		
社会教育委員	社会教育委員会議	・社会教育に関する課題やこれからの方向性等について協議し、今後の生涯学習、社会教育の取り組みについて意見交換を行う。	年5回	社会教育委員 5名
	社会教育委員研修会	・社会教育委員の役割と任務について研修を深め、本村社会教育の推進を図っていく。	随時派遣	社会教育委員 5名

5 文化センター係

I ふれあい交流館の充実

ふれあい交流館は、村民の学習の場、憩いの場、交流の場として、いつでも・だれでも・気軽に利用できる施設として各種活動及び事業を展開し、広く村民に親しまれている施設である。

本年も村民が自主的に活動できるよう様々な学習プログラムの提供に努め、多様化・高度化する村民の学習ニーズに即した活動内容の充実・拡充に努めていく。

- (1) 各種講座・教室の開設と内容の充実
- (2) 各種サークル活動の育成・支援
- (3) 自治公民館・各種団体・関係機関とのネットワークの充実
- (4) まなびフェスタの開催
- (5) 施設設備の充実及び提供・利用の促進
- (6) 学習要求・課題の把握
- (7) インフォメーション・広報活動の充実

I-1 青少年を対象とした事業

心豊かなたくましい青少年を育むため、地域の歴史・文化・自然とのふれあいや遊び、作品制作・実技、勤労の喜び、芸術・芸能鑑賞等いわゆる“ふるさと教育”の体験学習を主体とした講座の開設、学校における総合的な学習等、地域全体の受け皿づくり、体制づくりを図る。

I-2 一般成人を対象とした事業

村民の旺盛な学習要求に応えるため、趣味・一般教養／文化・芸術／スポーツ・レク・健康／生活・仕事・技術（資格）等に関する多種多様の講座を開設し、楽しく生きがいのある充実した日常生活と自己向上に役立てる。

I-3 自治公民館を対象とした事業

村民のより身近な地域（各自治会）公民館で自治公民館講座を開設し、地域の特性を生かした講座を実施することにより、地域住民の文化活動の活性化と明るく住みよい地域づくりを推進する。

I-4 施設利用・備品貸出し

・施設利用

中ホール／講座室／和室／視聴覚室／調理実習室／工作実習室／談話室／ギャラリー／ふれあい広場等の提供

・備品の使用及び貸出し コピー機／調理・工作実習器具

I-5 読谷村陶芸研修所

ヤチムンは古い歴史に培われた沖縄の伝統工芸で、「やちむんの里」を中心として村内に70余の窯元が立地し、県内での一大生産地として周知されている。

陶芸研修所は、生涯学習及び文化活動の拠点とし、多くの村民がヤチムンに親しむ中からヤチ

ムンの普及拡大と村民の中から後継者が育つことを目的に設置された。

- (1) ヤチムン体験の実施 (2) ヤチムンサークルの育成

II 鳳ホール事業の充実

鳳ホールは、諸設備が備えられ、多種多様な催し物に対応できるようになっている。村民が親しく意欲的に利活用することで、先人達が築いた多くの芸能・文化の継承の場、芸術文化活動を展開する場として活用しつつ活動の充実を図る。

- (1) 村民が参加し、創造する事業の推進
 (2) 児童生徒及び村民、各種団体の文化・芸能活動の育成・支援
 (3) 子ども文化育成事業・赤犬子子ども三線・箏・太鼓クラブ
 (4) 読谷村創作子どもミュージカル
 (5) くるちの杜100年プロジェクト in 読谷
 (6) 読谷村文化協会への支援

読谷村文化センター運営審議会委員名簿

期間 平成31年4月1日～令和3年3月31日

役職	氏名	住所	備考
委員	古波倉 正	字高志保	社会教育関係者
委員	大城 千鶴子	字渡慶次	社会教育関係者
委員	屋良 朝清	字高志保	社会教育関係者
委員	大城 章	字長浜	知識経験者
委員	國吉 好美	字高志保	社会教育関係者
委員	長浜 功勇	字座喜味	知識経験者
委員	知花 安友	字波平	社会教育関係者



読谷村ふれあい交流館

令和2年度 サークル一覧表



No.	サークル	活動日	時間	場所	講師	代表者
1	PC9月会 (パソコン)	月	10:00~12:00	視聴覚室	新里美奈	山内源徳
2	残波吟友会 (詩吟)	月	10:00~12:00	講座室C	玉城岳恵	新垣秀子
3	ゆうなの会 (太極拳)	月	14:00~16:00	リハーサル室	古堅喜美子	崎山智子
4	読谷二胡同好会	月	19:00~21:00	講座室C	源河朝徳	大久保博美
5	正絃会 (三線)	月	19:30~21:30	2階和室	中村正幸	岸本忠
6	ダンススポーツサークル読谷	月	19:30~21:30	中ホール	瀬良垣寛康 長浜京子	喜舎場廣明
7	万年青の会 (ペン字)	水	10:00~12:00	講座室B	大城千鶴子	町田直美
8	楽々アート (絵画)	水	10:00~12:00	工作実習室	永島 正	阿波根清
9	大正琴 キーハープ読谷	水	14:00~16:00	講座室C	与那覇勝枝	島袋昱子
10	彩の会 (日本舞踊)	水	19:00~21:00	リハーサル室	添石好枝	町田直美
11	混声合唱団「よみたん」	水	19:30~21:30	中ホール	嶺井恵子	山内雅之
12	絃楽会 (三線)	水	19:30~21:30	2階和室	宮平良富	松田盛昌
13	中国語サークル	水	19:00~20:30	講座室C	楊 緑	照屋清勝
14	琴城流大正琴サークル	第2・4水	10:00~12:00	講座室C	山内春子	知名順子
15	アナログゲームサークル	隔週木	19:00~21:00	工作実習室	島袋 仁	松田佑太
16	PC風 (パソコン)	木	10:00~12:00	視聴覚室	江田 孝	長浜和子
17	琉球箏曲サークル	木	10:00~12:00	楽屋和室A	比嘉淳江	島袋ミサ子
18	童謡健康サークル鳳合笑団	木	13:30~15:00	中ホール	大崎雅氏	大湾由美子
19	PHOTOよみたん	第1木	19:00~21:00	視聴覚室	古堅宗助	池原玄栄
20	真美健康体操サークル	木	19:30~21:30	リハーサル室	新垣末子	上地栄子
21	オカリナサークル ブルースカイ	木	19:00~21:00	講座室C	阪中伸江	山内恵子
22	読谷レクリエーションクラブ クラフト部	第1・3木	19:30~21:30	工作実習室	山内源徳	島袋清
23	着付けサークル装いの会	第1・3木	20:00~21:45	2階和室	比嘉悦子	石川和子
24	いち期会 (習字)	金	10:00~12:00	講座室B	大城千鶴子	神谷和子
25	和紙ちぎり絵サークル「華」	第2・4金	19:00~21:00	講座室C	結城スミ子	知花秀子
26	メレフラダンスサークル (フラダンス)	土	19:00~21:00	リハーサル室	安里ソテイア・マリ	長浜美由紀
27	読谷短歌会	第2日	10:00~12:00	講座室B	新城研雄・初枝	松田香代子
28	サークル陶心会 (陶芸)	金	19:00~21:00	陶芸研修所		當眞嗣森

○詳しくは 読谷村文化センター事務所へお問い合わせください。

TEL 098-982-9292

令和2年度 鳳ホール事業計画

	事業名	内容	対象	回数	予定時期
1	読谷村創作子どもミュージカル 「コインコと星の三線 ー大切なものはいつもそば にあるー」	目的：表現することの楽しさや、 コミュニケーション力の 向上を図る。 異年齢交流 出演＝小学3年生～中学3年生	一般村民	1	令和2年 8月23日 (日)
2	くるちの杜100年プロジェクト in 読谷2020	沖縄固有の文化である三線文化 の継承と更なる発展を図ること、 また読谷村の魅力を県内はもと より国内外へアピールする事業。 くるち育樹。	一般村民	1	令和2年 10月22日 (木)
3	赤犬子子ども三線・箏・太鼓 クラブ	三線、箏、太鼓の学びをとおして 琉球古典音楽への造詣を深める。 青少年の健全育成を図る活動。	小学1年生 ～ 中学3年生	通 年	令和2年 5月 ～令和3 年3月 毎週土曜 日

6 スポーツ振興係

I スポーツ振興の充実

スポーツは、心身の健全な発達に資するとともに、明るく豊かで活力に満ちた生きがいのある社会の形成に役立つものである。今後、長寿化、自由時間の増大、情報化、少子高齢化の進展、健康問題等、社会環境や生活様式の変化に伴い、スポーツとレクリエーション活動への関心が高まり、その必要性はますます増してくると思われる。

本村においても、村民一人ひとりがそれぞれのライフステージに応じて、日常生活の中にスポーツ、健康づくりを取り入れ、健康の保持・増進を図るとともに、生涯スポーツ社会の実現を目指し、地域社会及び関係団体と連携を密にする中でスポーツ・健康づくりを推進する。

I-1 村民が一人一人輝く生涯スポーツの推進

村民が各々のライフステージにおいて、スポーツに親しむことにより元気で輝く人生をおくることができ、また、地域においてスポーツを気軽に楽しむことができる環境の整備を図るなど、明るく豊かで活力に満ちた生涯スポーツ社会の形成に努める。

- (1) 読谷けんこうまつりの開催
- (2) 学校体育施設の開放事業
- (3) スポーツ推進委員協議会・各種スポーツ団体の育成強化
- (4) 読谷村スポーツ振興推進協議会の充実
- (5) 読谷村体育協会・各スポーツ団体を支援し、各種スポーツ大会等の充実
- (6) 読谷村生涯スポーツ推進計画の策定

I-2 健康づくり運動の展開と体制の充実

近年、不規則な生活、食生活の変化や運動不足なども相まって、生活習慣病をかかえる村民が増えている状況にある。村民自らがスポーツを通して健康づくりに取り組める体制の構築と健康づくり運動を推進する。

- (1) シニアソフトボール・新春トリムマラソン大会等の開催
- (2) 村民健康づくり教室の開催と健康スポーツサークルの育成
- (3) 村民一人ひとりが1スポーツ活動を実践する環境の推進
- (4) ファミリー、地域、職場スポーツの振興

I-3 学校体育と競技スポーツの推進

村民が生涯にわたってスポーツに親しむためには、就学期において各種運動の楽しさや喜びを味わい、自ら体育学習や運動部活動等に取り組むことにより、基礎体力の向上や競技スポーツの推進を図ることが必要である。

また、児童生徒のスポーツニーズに合わせたスポーツ活動が推進できるよう学校と家庭・地域社会の連携に努める。

- (1) 夏休み親子水泳教室等の開催
- (2) タグラグビー教室等の開催
- (3) 小学生駅伝の開催
- (4) 読谷村教育長旗争奪沖縄県中学校ソフトボール大会の開催
- (5) 競技スポーツの推進

I-4 社会体育施設の整備・充実

多様化・高度化するスポーツ・レクリエーション活動のニーズに応え、村民の健康・体力の保持増進とスポーツの振興を図るため、社会体育施設の充実を図る。

- (1) 平和の森球場の利用促進
- (2) 残波岬ボールパーク及び残波岬テニスコートの利用促進
- (3) 運動広場・多目的広場の利用促進
- (4) 体育センター・テニスコートの利用促進
- (5) 陸上競技場の利用促進
- (6) トレーニング室の利用促進

読谷村スポーツ推進委員名簿

委嘱期間 平成31年4月1日～令和3年3月31日

役 職	氏 名	スポーツ分野
	安次嶺 米 子	バレーボール
	比 嘉 隆 雄	陸上競技
	平 良 妙 子	バレーボール
読谷村スポーツ推進協議会書記・会計	儀 間 栄 子	ソフトボール
読谷村スポーツ推進協議会 会 長	東 江 久 雄	陸上競技
	波 平 一 範	野球・サッカー
読谷村スポーツ推進協議会 副 会 長	奥 間 由香理	バスケットボール
	長 浜 さつき	バレーボール・レクリエーション
	比 嘉 康 雄	陸上競技
中頭地区スポーツ推進協議会 理 事	大 城 執	サッカー
	長 浜 真 作	ラグビーフットボール
	伊 波 寛 公	サッカー
	大 城 将 太	野球
	上 地 健 二	陸上
	松 田 美 加	ソフトボール

令和2年度 読谷村社会体育振興事業

開催期日	事業名	対象	場所	備考
4月～11月	読谷村体育協会 第55回夏季大会(21種目)	各体協	村内体育施設	読谷村 体育協会
6月20日	第18回小学生陸上競技大会	村内小学生	陸上競技場	読谷村 体育協会
7月～8月	タグラグビー教室(8回)	村内小学生	陸上競技場	村ラグビー 協会
7月～8月	親子水泳教室(10回)	村内小学生	渡慶次小学校 プール	読谷村 スポーツ 推進委員 協議会
9月1～2日	第73回読谷村陸上競技大会	各体協	陸上競技場	読谷村 体育協会
8月～11月	スポーツ指導者講座	スポーツ 指導者	中ホール	読谷村 体育協会
10月11日	読谷けんこうまつり (古希：シニア) ソフトボール大会 新体力テスト	村民	運動広場・ 多目的広場 健康増進センター	読谷村 スポーツ 推進委員 協議会 生涯学習課
10月・11月	スポーツ推進委員協議会自主 事業(ウォーキング大会)	村民	村内	読谷村 スポーツ 推進委員 協議会
11月	第29回読谷村教育長旗争奪 沖縄県中学校ソフトボール大会	県内中学生	運動広場・ 多目的広場	
1月17日	新春トリムマラソン大会	村内 在住・在職	残波岬公園内 遊歩道	読谷村 スポーツ 推進委員 協議会 生涯学習課
1月17日	第21回小学生駅伝大会	村内小学生	残波岬公園内 遊歩道	読谷村 スポーツ 推進委員 協議会 生涯学習課
2月1～2日	まなびフェスタ (ニュースポーツ教室)	村民	文化センター	読谷村 スポーツ 推進委員 協議会
7月～12月	スポーツ指導者講座	スポーツ 指導者	文化センター 中ホール	スポーツ振興 推進協議会
2月	少年野球教室・サッカー教室	村内 クラブチーム	平和の森球場	
※ 都合により、日程、場所、時間等を変更する場合があります。				

7 図書館係

I 読谷村立図書館の充実

読谷村立図書館は、対面朗読室、おはなしのへや、障がい者用の閲覧席などを設置し、利用者のために配慮と工夫をこらし、村民の生涯学習の場、情報収集の場として広く利用されています。図書館資料収集については、読谷村関係を中心とする郷土資料の充実を図り、学習情報の提供、生涯学習の展開及び子どもの読書推進計画に基づく読書活動の推進等、村民ニーズに対応する図書館運営を図ります。

1 目標と推進方策

(1) 地域支援型図書館の確立

【目標】

図書館資料とレファレンス機能を活用し、時代のニーズや地域課題の解決に対応する情報を広く提供し、情報の拠点となる先進的で魅力ある地域図書館づくりを目指します。

【推進方策】

- ① 地域や時代のニーズに合った迅速な選書に努め、読谷村の特色ある図書館づくりを進めます。
- ② 読谷村に関する資料の収集を行い、体系的に整理し、分かりやすい情報の提供に努めます。
- ③ 県立図書館等の類縁機関と協力し、地域課題の解決に関する情報を体系的に提供するレファレンス機能強化に努めます。
- ④ 行政機関及び民間団体等との連携により、行政支援、ビジネス支援など地域のニーズに応えるサービスに努めます。

(2) 図書館活動の充実

【目標】

地域への広報活動の活性化を図るとともに、暮らしの中に役立つ情報センター機能づくりを目指します。

【推進方策】

- ① 学習の場や利用機会の提供に努めます。
- ② 図書館及び地域でのボランティア協力によるおはなし会等の活動充実に努めます。
- ③ 行政機関及び民間団体と連携、協力により、課題解決の講座開催等行政支援、子育て支援、ビジネス支援など地域のニーズに応えるサービスに努めます。

(3) 情報ネットワークの構築

【目標】

関係する機関との連携によるデータベースの作成をはじめ、情報システム整備とネットワークを構築し、迅速かつ広範な学習情報の提供を目指します。

【推進方策】

- ① インターネットを活用した蔵書検索や新刊案内情報発信に努めます。
- ② レファレンス事例紹介などにより課題解決の手立ての情報発信に努めます。
- ③ システム構築にむけて、関係機関との連携による環境整備を努めます。

2 基本理念

【読谷村立図書館の基本理念】

* 基本構想策定（平成23年3月）

- ・ 地域文化を未来へつなぐ図書館
- ・ 住民と情報をつなぐ図書館
- ・ 地域をつなぐ図書館

図書館施設	1階	一般書コーナー	視聴覚コーナー	2階	学習室
		児童書コーナー	おはなしのへや		集会室
		ブラウジングコーナー			閉架書庫
		対面朗読室			倉庫

※ 障がい者、高齢者のための閲覧席・エレベーターを設置してあります。

※ 点字ディスプレイ、活字自動読上げ機（音声スキャナー）設置
（平成22年度「24時間テレビ」チャリティー委員会寄贈）

開館時間 月・水～金 午前10時～午後7時
土・日 午前10時～午後5時

休館日 毎週火曜日、祝祭日、慰霊の日、資料整理日（毎月第4木曜日）
資料特別整理期間、年末年始、館長が特に必要と認めた日

読谷村立図書館協議会委員名簿（期間 令和2年4月1日～令和4年3月31日）

役職	氏名	住所	所属
会長	大 湾 由美子	字渡具知	学識経験者
副会長	山 内 源 徳	字波平	社会教育関係
委員	外 間 香代子	字喜名	校務研代表、学校教育
委員	福 地 江美子	字伊良皆	社会教育関係
委員	具志堅 ひろみ	字楚辺	図書館ボランティア、家庭教育

図書館利用状況（令和元年度）

村人口	登録者数	貸出利用者数 （個人+団体）	貸出冊数 （個人+団体）	貸出冊数 （1日平均）	利用者 （1日平均）
41,446人	14,289人	21,529人	97,809冊	371.9冊	81.9人

開館日数 263日

活動・サービス指数（令和元年度）

図書館利用カード登録（率）	34.5%	貸出冊数（登録者一人当たり）	平均 6.85冊
職員数	7人	蔵書冊数（村民一人当たり）	平均 2.82冊
図書購入費	6,694千円	図書購入費（村民一人当たり）	平均 161円
図書館事業費	36,305千円	図書館費（村民一人当たり）	平均 876円
貸出冊数（村民一人当たり）	平均 2.4冊		

蔵書冊数及び構成（令和元年度）

0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	児童書
1,744	1,716	2,750	8,518	4,160	5,326	1,839	5,280	803	14,606	16,363
絵本	紙芝居	郷土一般	郷土児童	読谷一般	読谷児童	調べ物	文庫	雑誌	A V	合計
11,316	975	21,525	1,426	3,704	162	2,395	4,517	5,475	2,329	116,929

蔵書冊数（令和2年3月末現在）

一般書	46,742冊	沖縄関係図書	22,951冊
児童書	16,363冊	文庫	4,517冊
絵本・紙芝居	12,291冊	調べもの	2,395冊
読谷関係	3,866冊	A V (DVD・CD・ビデオ)	2,329点
雑誌	91タイトル (5,475冊)	合計	116,929冊

令和2年度 読谷村立図書館年間事業計画

月	活動内容	月	活動内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館ボランティアオリエンテーション (4/16) ● 子どもの読書の日関連イベント「特設コーナー」 (4/24～5/27) 	10月	● 図書館協議会
5月	● 図書館見学 (村内小学校3年生)(～7月)	11月	<ul style="list-style-type: none"> ● インターンシップ受入 (高校) ● 読書週間関連事業 大人の為の夜の朗読会 (11/14) ● 読書関連講座
6月	<ul style="list-style-type: none"> ● 慰霊の日関連事業 ● 職場体験受入 (中学校) ● 図書館協議会 ● 読み聞かせボランティア向け講座 (2回) 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑誌付録抽選会 ● 子どもの為の朗読会 (12/13)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ● 夏休み子ども向け企画 (7～8月) ● 夏休み調べものコーナー 	1月	年始企画 ● 本の福袋「福本」
8月		2月	<ul style="list-style-type: none"> ● まなびフェスタ読谷「雑誌リサイクルフェア」他 ● 図書館協議会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ● 返却強化月間 ● 火災避難自主訓練 ● 蔵書点検 (9/28～10/9) 	3月	

- ・ブックスタート事業・図書館ボランティア活動・読谷おはなしの会サークル活動
- ・嘉手納町立図書館相互利用協定（平成25年度開始）による図書館利用

定例行事：おりがみ教室（第2・4土曜日）、アナログゲーム（第3土曜日）
 おはなし会（第2・4日曜日）、ブックスタートお話し会（第1・3日曜日）
 読書会（毎月30日）

備 考

- 広報よみたんへの「図書館だより」掲載
- 蔵書検索（インターネット公開）
- 読谷村ホームページへの新着情報掲載
- 館内地域情報掲示及びお仕事情報掲示

VI 文化振興課

文化振興課

平成4年4月1日、歴史民俗資料館・美術館と従来社会教育課に位置付けられていた文化財・文化振興業務がひとつのセクションに統合され、文化振興課が設置された。平成9年4月1日、機構改革により村史編集業務が加わる。平成11年8月1日、文化センター課（現在生涯学習課文化センター係）の新設により民俗芸能の復活継承等、舞台芸術に関する業務が文化センターへ移管された。

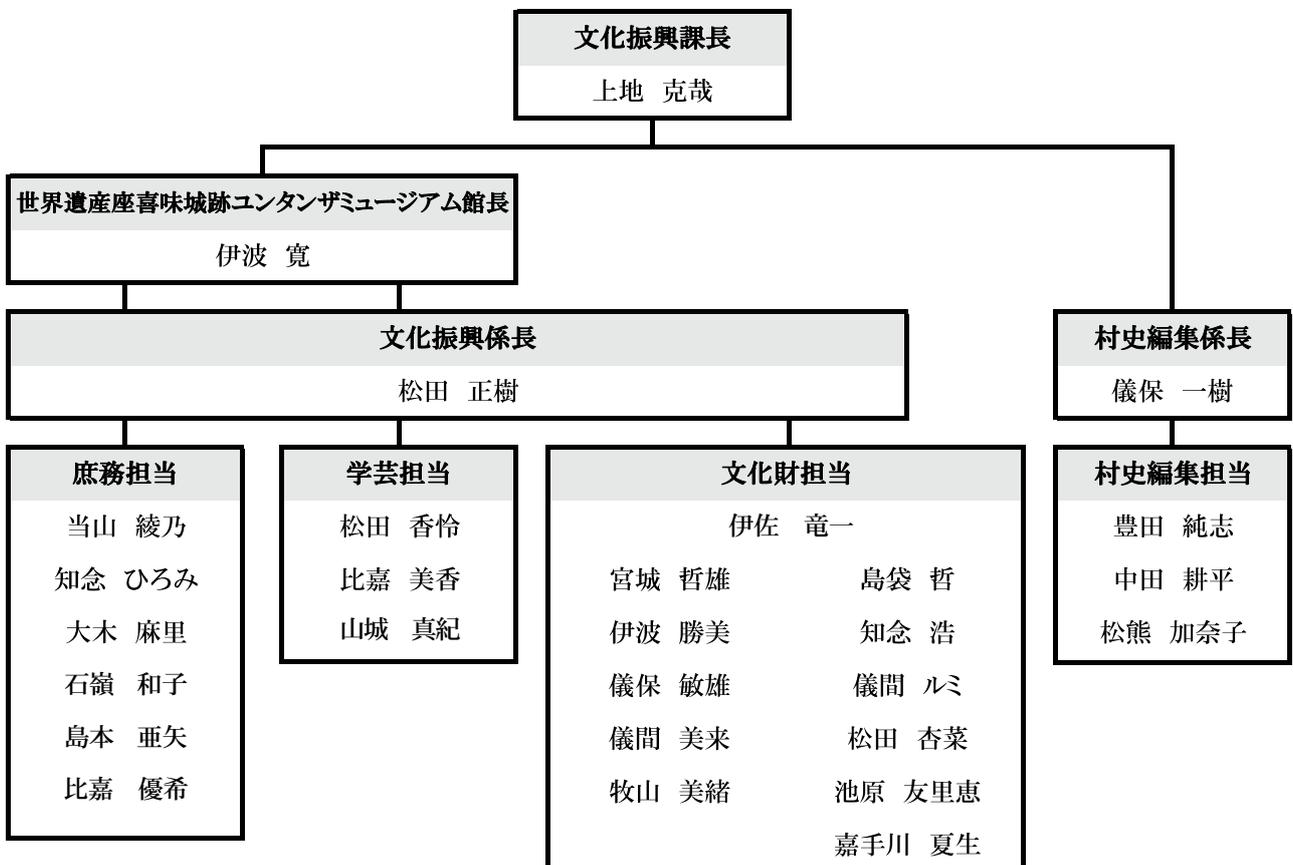
- ①歴史民俗資料に関する調査研究、展示、普及活動。
- ②文化財の調査・保存・整備・活用。
- ③美術工芸品に関する展示、収集活動。
- ④村史の資料収集整理、編集発行及び関係資料集の発刊。
- ⑤その他文化振興事業。

という五つの分野が有機的に結び付き、伝統と創造の具現化をテーマに読谷村における総合的な文化振興を図るのが目的である。それは歴史、民俗、芸術を通して、人間性、地域性、美観性というものをより大切にし、具体化していく作業である。

教育総務課、学校指導課、生涯学習課をはじめとして行政の横断化及び村民とのネットワークをより緊密にし、生涯学習の場の提供並びに多様化する村民の文化創造活動に的確に応えるための土壌づくりを進める。

1 文化振興課機構図

令和2年度 文化振興課機構図



2 文化振興課事務分掌

係	分掌事務の概要
文化振興係	<ol style="list-style-type: none"> 1 博物館資料の収集・調査・研究・整理保管に関すること。 2 博物館の施設備品等の購入及び管理に関すること。 3 博物館資料の常設展及び企画展等の企画運営及び展示に関すること。 4 博物館資料の講演会、講座等の教育普及活動に関すること。 5 博物館運営協議会に関すること。 6 博物館の年間事業計画の立案に関すること。 7 博物館資料に関する出版物の発刊及び配布に関すること。 8 文献資料の収集・分類・配架・目録カードの作成に関すること。 9 博物館の予算編成及び執行、決算に関すること。 10 博物館関係の文書事務に関すること。 11 博物館の利用及び維持管理に関すること。 12 博物館の窓口業務及び入館料等に関すること。 13 ゆうがおの会及び博物館関係団体に関すること。 14 日本博物館協会、九州博物館協会、沖縄県博物館協会、日本民具学会に関すること。 15 博物館の入館者統計資料作成事務に関すること。 16 新聞資料製本・分類別記事資料作成に関すること。 17 博物館保管資料の貸し出しに関すること。 18 読谷村文化財保護委員会に関すること。 19 村内の文化財保護団体等に関すること。 20 読谷村が加盟する文化財団体等に関すること。 21 文化財の周知に関すること。 22 文化財の調査に関すること。 23 文化財の指定、整備に関すること。 24 文化財台帳に関すること。 25 指定文化財の清掃、維持管理に関すること。 26 文化財保護巡視に関すること。 27 文化財と開発調整に関すること。 28 文化財の活用に関すること。 29 文化財の伝承者養成に関すること。 30 文化財関係の文書事務に関すること。 31 文化財保護関係の備品に関すること。 32 文化財関係の事業計画、予算編成及び執行、決算に関すること。

<p>村史編集係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 村史の編集、発刊に関する事。 2 村史に係る資料の収集、整理に関する事。 3 村史関係資料等の発刊に関する事。 4 村史専門部会、監修委員会等に関する事。 5 村史編集委員会事務局に関する事。 6 予算編成及び執行、決算に関する事。 7 村史関係文書事務に関する事。 8 村史関係備品に関する事。 9 沖縄県地域史協議会に関する事。 10 村内関係機関、団体との調整、協力に関する事。
--------------	---

3. 博物館事業（世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム）

読谷村博物館設置及び管理に関する条例（平成30（2018）年1月24日）によって、読谷村立歴史民俗資料館と村立美術館が統合され、世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアムとして平成30年6月23日にリニューアルオープンした。以下、歴史民俗資料館と美術館の沿革に続き、ユンタンザミュージアムの沿革を記す。

(1) 歴史民俗資料館の沿革

昭和49年 8月	資料館設立
昭和49年11月	館長が配置され、資料収集始まる。
昭和50年 4月	資料館運営協議会発足する。
昭和50年 5月	5月18日資料館開館
昭和50年 6月	職員（1人）増員となる。
昭和50年 8月	プレハブ収蔵庫設置
昭和63年 9月	新館工事着工
平成元年 3月	新館竣工
平成元年 5月	駐車場、アプローチ、渡り廊下及び本館改修工事着工
平成元年 7月	駐車場、アプローチ、渡り廊下及び本館改修工事竣工
平成元年 9月	新館オープン
平成 6年 3月	屋外便所竣工
平成 7年 4月	開館20周年記念式典を行う。
平成12年 4月	開館25周年記念式典を行う。
平成16年 3月	身障者用駐車場整備
平成16年 5月	花壇整備
平成17年 3月	資料館入口自動ドア取付整備
平成17年 3月	高倉修繕
平成17年10月	資料館玄関・ロビー改装リニューアル
平成18年 5月	「開館31年入館者第一号認定証」贈呈式
平成19年	高倉一棟が台風により傾斜（7月）その後、資料保存のため解体収蔵
平成20年	クーラー修理、その他新館展示室、収蔵庫など補修
平成22年 3月	防災設備補修工事（屋上排煙機、換気機器、非常灯）
平成25年 3月	高倉二棟を修復、喜名観音堂の修復、比謝橋碑文の移設
平成26年11月	座喜味城跡新駐車場工事着工
平成27年 5月	座喜味城跡新駐車場（座喜味702番地2）工事竣工
平成28・29年度	改築・改修工事のため休館
平成30年 1月	資料館創建時の建物解体
平成30年 3月	旧館2階 資料館内部リフォーム完了

《主な企画展・シンポジウム等》

昭和51年11月	読谷山花織展、焼物展、渡具知東原遺跡展
昭和52年11月	琉球古代の葬制展
昭和53年11月	沖縄の厨子甕展
昭和54年11月	琉球先史時代の器展

昭和55年11月	私の宝物展
昭和57年11月	沖縄の美 ー沖縄県立博物館名品展
昭和59年11月	昔なつかしサーターヤー展
昭和60年11月	読谷山間切古文書・拓本展
平成2年11月	子どもの世界展
平成3年11月	読谷村における終戦直後の民具 ージュラルミン製品の誕生と盛衰展
平成4年11月	読谷の織物展
平成5年3月	喜名焼シンポジウム
平成5年11月	砂丘は語る ー宇座・渡慶次・儀間・高志保の海岸遺跡ー展
平成6年11月	竹の民具展
平成7年3月	第4回読谷文化財展 読谷の三線展
平成7年4月	開館20周年記念 読谷山花織展
平成7年11月	昔話と紙しばい展
平成8年3月	第5回読谷文化財展 民俗芸能衣裳展パートI 長者の大主の世界展
平成9年3月	第6回読谷文化財展 喜名番所跡展
平成9年11月	読谷の食展（豆腐作り実演）
平成10年3月	第7回読谷文化財展 樹木と生活展
平成10年11月	千人針とお守りの世界展
平成13年11月	読谷村における電気以前の暮らし ー火と生活ー展
平成14年11月	人形のせかいー読谷村で目にした人形たちと山内マス子氏人形コレクションー展
平成15年11月	掘り出された喜名焼古窯跡展
平成16年11月	「読谷山のボーシクマーたち」展
平成17年2月	シンポジウム「ボーシクマー」
平成17年6月	開館30周年特別企画展 読谷山花織展
平成17年6月	読谷村立歴史民俗資料館開館30周年・村立美術館15周年記念講演会 「花織の魅力を探る」
平成17年10月	開館30周年特別企画展「考古・民俗に見る形・彫・色」展
平成17年11月	読谷村立歴史民俗資料館開館30周年・村立美術館15周年記念 シンポジウム「地域博物館・美術館の役割と課題について」
平成18年4月	「読谷の野鳥」展
平成18年8月	読谷村建設隊入村60周年記念企画「廃墟からの復興」展
平成18年12月	読谷村建設隊入村60周年記念企画シンポジウム「廃墟からの復興」
平成19年9月	「石の造形」展
平成20年1月	「護佐丸展 ー護佐丸関連のグスクー」
平成20年11月	読谷村制施行100周年記念「読谷の歩み展」
平成21年10月	「台所道具いまむかし ー戦前から昭和40年頃までの台所ー」展
平成21年通年	ミニ企画「民話にみる年中行事・紙芝居展」1話～6話
平成21年12月	ミニ企画展「喜名焼展」
平成22年4月	沖縄戦終結65周年記念企画展「千人針 平和の祈り」展
平成22年6月	読谷村立歴史民俗資料館開館35周年・読谷村立美術館開館20周年・読谷山花 織事業協同組合設立35周年記念特別企画展 「読谷山花織 ー受け継がれる伝統・新しい伝統ー」

- 平成22年7月 夏休み子ども向け企画展
「貝のアクセサリー展 ーちょっとおしゃれな貝塚人ー」
- 平成22年10月 琉球王国のグスク及び関連遺産群世界遺産登録10周年記念企画出土品巡回展
「掘り出された琉球王国のグスク及び関連遺産群
ーいにしへの眠りからめざめた世界の宝ー」
- 平成22年11月 秋の企画展「運ぶ ー収蔵民具からみた運搬道具」展
- 平成22年通年 ミニ企画展「民話にみる年中行事・笑話」
- 平成23年4月26日～5月29日 春の企画展「終戦直後のジュラルミン製民具」
- 平成23年7月20日～9月4日 夏休み子ども向け企画展「石のせかい～ふしぎな石の道具たち」
- 平成23年9月10日～10月2日 特別企画展「海を渡ったウチナーンチュ」 嘉納辰彦写真展
- 平成23年11月1日～12月25日 秋の企画展「読谷山芭蕉衣～むかしの庶民の衣服～」
- 平成23年通年 ミニ企画展「民話にみる年中行事・笑話」
- 平成24年5月1日～7月1日 本土復帰40周年記念企画展「本土復帰の父 屋良朝苗
～生誕110周年記念～
- 平成24年7月7日～7月29日 統計にみる読谷山
- 平成24年7月21日～9月2日 夏休み子ども向け企画展「ドキッ・土器・ワールド」
- 平成24年11月3日～12月22日 秋の企画展 ～読谷山の伝え話～
- 平成24年通年 ミニ企画展「民話にみる年中行事・笑話」
- 平成25年5月1日～6月2日 春の企画展「読谷村の石碑～石を刻む・時を刻む・心に刻む～」
- 平成25年7月20日～9月2日 夏休み子ども向け企画展「いろいろな竹の道具」
- 平成25年9月4日～9月15日 平成25年度琉球大学附属図書館貴重書展
「文献資料にみる琉球・沖縄いん読谷」
- 平成25年11月2日～12月22日 秋の企画展「読谷山木綿衣～むかしの庶民の衣服～」
- 平成25年通年 ミニ企画展「民話にみる年中行事・笑話」
- 平成26年4月26日～6月1日 春の企画展「写真でめぐる読谷村の文化遺産」
- 平成26年7月19日～8月31日 夏休み子ども向け企画展「写真でみる読谷の野鳥」
関連教室～「竹のおもちゃ作り教室」～
- 平成26年10月18日～11月30日 秋の企画展「昔なつかしい農具」
- 平成26年通年 ミニ企画展「民話にみる年中行事・笑話」
- 平成27年5月1日～8月30日 沖縄戦終結70年企画展『廃墟からの復興』
- 平成27年10月17日～12月27日 読谷村立歴史民俗資料館開館40周年記念企画展
『掘り出された読谷の歴史～沖縄考古学の衝撃～』
- 平成27年通年 ミニ企画展「民話にみる年中行事・笑話」
- 平成28年11月～12月 移動企画展「掘り出された読谷の歴史」「読谷の民話」
(波平公民館、座喜味公民館、長浜公民館)
「掘り出された読谷の歴史」関連講座 (10/16、11/6、12/2、12/17)

(2) 美術館の沿革

平成2年3月、読谷村民に夢と希望を与え、人間性豊かな環境・文化村づくりの一環として設立された。

—— 主な事項 ——

平成2年3月1日	美術館長発令
平成2年3月10日	美術館運営協議会発足・資料収集開始
平成2年3月29日	読谷村立美術館開館・歴史民俗資料館（新館）落成式
平成2年3月29日	開館記念特別展開催
平成2年8月22日	美術館・歴史民俗資料館案内立看板村内各所に設置
平成3年4月10日	美術館1周年記念「城間喜宏展」開催
平成4年4月1日	文化振興課設置
平成5年3月30日	美術工芸品寄贈者へ感謝状贈呈式
平成7年3月31日	「読谷村立美術館五年のあゆみ」発刊
平成8年3月28日	「新聞資料に見る五年のあゆみ」発刊
平成9年9月23日	特別企画「人間国宝・金城次郎展」開催
平成12年4月7日	美術館開館10周年・歴史民俗資料館開館25周年祝賀会
平成12年4月8日	人間国宝・玉那覇有公「紅型」展開催
平成13年3月28日	「読谷村立美術館10年のあゆみ」発刊
平成13年6月1日	「織のあしあと」読谷山花織 —人間国宝・與那嶺貞と県指定無形文化財技能保持者—展開催
平成13年6月16日	講演会『読谷山花織—與那嶺貞を中心に』（講師：祝嶺恭子氏） 記録映画上映会『與那嶺貞のわざ』（文化庁制作）
平成14年9月21日	特別企画「沖縄美術・復帰30年軌跡と展望」展開催
平成15年2月1日	企画展「工芸王国—技を育む—」展（共催）開催
平成15年10月4日	特別企画展「金城敏男作陶展」—読谷壺屋焼30年の足跡—開催
平成16年6月2日	特別企画展 琉球ガラス「現代の名工」技と美 —大城孝栄・稲嶺盛吉・桃原正男三作家展—開催
平成17年6月4日	特別企画展「よみがえった伝統の技・美・心を今に伝える—読谷山花織展—」 （読谷山花織事業協同組合共催・歴史民俗資料館共同事業）開催
平成17年6月18日	花織講演会『花織の魅力を探る』（歴史民俗資料館共同）開催
平成17年8月19日	読谷山焼北窯展—共同登り窯の「ものづくり」たち—開催
平成17年10月8日	美術館開館15周年特別企画展 「'05アート in ユンタンザ・地域現代美術展」開催
平成18年6月2日	企画展「風と緑と人と～西村貞雄の彫刻を観る～」開催
平成18年10月14日	特別企画展「秋の美術展・沖展会員新作展」 —絵画・版画・彫刻・デザイン・書道・写真—開催（主催：読谷村・沖縄タイムス社）
平成19年6月2日	企画展「上江洲茂生作陶展—壺屋焼の伝統継承と独自性—」開催
平成19年8月22日	企画展「画家・喜友名朝紀の世界」開催
平成19年10月20日	特別企画展「秋の美術展・沖展会員新作展」 —陶芸・漆芸・染色・織物・ガラス—開催（主催：読谷村・沖縄タイムス社）
平成20年5月24日	企画展 大城讓絵画展「讃歌・希求・生（せい）のエナジー」開催
平成20年8月9日	企画展 川平恵造絵画展—『沖縄のNOW』慧眼と感性で表現—開催

平成21年 8月15日	企画展「富元明雄彫刻展」－金属の立体造形に挑む－開催
平成21年10月31日	特別企画展「秋の美術展・沖展会員新作展」 －絵画・版画・彫刻・グラフィックデザイン・書芸・写真－開催 〈主催：読谷村・沖縄タイムス社〉
平成22年 6月 5日	特別企画展「読谷山花織展」－受け継がれる伝統・新しい伝統－ (共催：歴史民俗資料館・読谷山花織事業協同組合) 開催
平成22年10月30日	特別企画展「秋の美術展・沖展会員新作展」 －陶芸・漆芸・染色・織物・ガラス－開催 〈主催：読谷村・沖縄タイムス社〉
平成23年 4月 9日	企画展「琉彩展」－郷土<読谷>発信の美術グループの軌跡－ 開催
平成23年 8月13日	企画展「山城茂徳絵画展」－記憶の森から－ 開催
平成24年 8月12日	企画展「屋良朝彦絵画展」－イメージの形象化・5つのシリーズより－開催
平成24年10月13日	特別企画展「秋の美術展・沖展会員新作展」 －絵画・版画・彫刻・グラフィックデザイン・書芸・写真－開催 〈主催：読谷村・沖縄タイムス社〉
平成25年 6月 8日	企画展「島袋常秀作陶展」開催
平成25年10月26日	特別企画展「秋の美術展・沖展会員新作展」－陶芸・漆芸・染色・織物・ ガラス・木工芸－開催 〈主催：読谷村・沖縄タイムス社〉
平成26年 4月12日	企画展「城間善夫絵画展」開催
平成26年10月25日	企画展「比嘉武史絵画展」開催
平成27年 4月11日	共催展 戦後70年・沖縄美術 「沖縄戦・読谷三部作」・「しまくとぅばで語る戦世」開催 〈主催：戦後70年・沖縄美術すでいるREGENERATIONプロジェクト実行委員会〉 〈共催：読谷村立美術館・佐喜眞美術館〉
平成27年10月24日	特別企画展「秋の美術展・沖展会員新作展<美術の部>」 －絵画・版画・彫刻・グラフィックデザイン・書芸・写真－開催 〈主催：読谷村・沖縄タイムス社〉
平成28・29年度	改築・改修工事のため休館
平成30年3月	旧館3階 美術館内部リフォーム完了

(3) 世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアムの沿革

平成28・29年度の沖縄振興特別推進交付金事業(一括交付金事業)で南側の旧駐車場に新館(改築棟)を建設し、旧館(改修棟)と渡り廊下により連結した。新館、旧館、アプローチ広場の改築・改修工事は平成30年3月に完成。

平成30年04月01日	博物館長辞令交付
平成30年05月11日	座喜味城跡にて企業イベント(企画:(株)ナノバージョン)
平成30年06月22日	ユンタンザミュージアム落成式典・祝賀会
平成30年06月23日	リニューアルオープン
平成30年07月01日	「第31回平和創造展」(～31日/企画政策課)
平成30年07月03日	職場体験受け入れ(～5日/読谷中学校 3名)
平成30年07月28日	夏休み体験講座①『草編み～昔のおもちゃ作り』…新崎宏氏
平成30年08月04日	夏休み体験講座②『草編み～昔のおもちゃ作り』…新崎宏氏
平成30年08月06日	学芸員実習受け入れ(～17日/沖縄国際大学 1名・摂南大学 1名)

平成30年08月10日	企画展『ゆんたんざむんがたい展』開催（～9月9日）
平成30年08月16日	『ゆんたんざむんがたい展』読み聞かせ会①
平成30年08月17日	夏休み文化財巡り『読谷の歴史を探検しよう』
平成30年08月31日	『ゆんたんざむんがたい展』読み聞かせ会②
平成30年09月01日	ヨミタン大学読谷学部講演会「沖縄の風水史」(企画政策課)…渡邊欣雄氏
平成30年09月22日	『来場者一万人セレモニー』
平成30年09月29日	台風24号で高倉二棟のうち、北側の一棟が倒壊
平成30年09月30日	特別企画展『松田共司作陶展』開催（～11月11日）
平成30年10月05日	「児童生徒の平和に関する図画作文コンクール」開催(～28日／企画政策課)
平成30年10月06日	『松田共司作陶展』作品解説会
平成30年11月10日	美術工芸体験教室「ガラス工芸」(読谷中学校 美術部)
平成30年12月07日	沖縄県博物館協会・秋の研修会を当館で開催
平成30年12月08日	企画展『読谷児童生徒作品』開催（平成31年1月14日）
平成30年12月11日	インターンシップ受入れ（～13日／読谷高校 2名・嘉手納高校 2名）
平成31年01月15日	「沖縄戦後教育史・祖国復帰関連資料 写真展」(～2月3日／村岡敬明氏)
平成31年01月19日	「沖縄戦後教育史・祖国復帰関連資料 写真展」報告会
平成31年02月01日	特別企画展『2019読谷やちむん展』開催（～3月24日）
平成31年02月06日	平成30年度 運営協議委員会・感謝状贈呈式
平成31年02月24日	文化講座『座喜味城の歴史』…上地正勝氏
平成31年03月24日	「チューンジー教室」…宮平良慶氏
平成31年03月25日	文化財移動展を読谷村役場ロビーにて開催（～27日）
平成31年03月00日	9月に倒壊した北側の高倉を解体保管、南側の高倉は屋根を葺き替え完了
平成31年04月27日	企画展『平成30年度 新収蔵品展』開催（～令和元年6月23日）
令和元年06月13日	慰霊の日特別展「隆子ちゃん圧殺事件ーパラシュート演習阻止の闘い、飛行場用地返還へー」開催（～25日）
令和元年06月23日	慰霊の日講座『よみたんの沖縄戦』…小橋川清弘氏
令和元年07月02日	職場体験受入れ（～4日／読谷中学校 3名）
令和元年07月14日	ワークショップ『カラフルふるふる』…屋宜久美子氏、ほか県立芸大生3名
令和元年07月20日	企画展『第36回読谷アンデパンダン展』開催（～9月1日）
令和元年07月20日	ヨミタン大学読谷学部講演会「中国と沖縄の祖先祭祀」(企画政策課) …渡邊欣雄氏
令和元年07月25日	「読谷村のしまくとぅばー子どもの成長ー展」開催（～9月23日／村史）
令和元年08月03日	企画展『読谷の野鳥展』開催（～9月1日）
令和元年08月10日	『読谷の野鳥展』解説会…高原建二氏
令和元年08月10日	博物館学芸員実習受入れ（～27日／沖縄国際大学3名・琉球大学2名）
令和元年08月12日	『読谷の野鳥展』観察会…高原建二氏
令和元年09月14日	講座『しまくとぅばで語る民話』全5回 (※21日は台風のため中止・28日・10月5日・12日) …山内源徳氏・津波古米子氏・高江洲春子氏・島袋ふじえ氏・比嘉陽花氏
令和元年10月05日	「世界のユンタンザンチュ展」開催（～11月4日／村史）
令和元年10月08日	インターンシップ受入れ（～10日／嘉手納高校 2名）

令和元年10月24日	オープンギャラリー1「ナターシャ・A・ペインター展」(～29日)
令和元年11月08日	「児童生徒の平和に関する図画作文コンクール」開催(～28日/企画政策課)
令和元年11月03日	文化財講座「砂丘は語る」…仲宗根求氏
令和元年11月24日	講座「知ろう!世界のユンタンザンチュウ読谷から世界へ」読谷中学校にて開催 …佐々木彩菜氏・仲村明氏(沖縄NGOセンター)
令和元年11月30日	美術工芸体験教室「ガラス工芸」(古堅中学校 美術部)
令和元年12月08日	ヨミタン大学読谷学部講演会「泰期(タチ)に関する一考察」(企画政策課) …大城盛雄氏
令和元年12月11日	インターンシップ受入れ(～13日/コザ高校 2名)
令和元年12月14日	企画展『読谷児童生徒作品展』開催(～令和2年1月13日)
令和02年01月11日	企画展『読谷スポ魂展』開催(～2月2日)
令和02年01月16日	文化財移動展を古堅小学校にて開催(～23日)
令和02年02月06日	特別企画展『2020読谷やちむん展』開催(～3月31日)

(4) 運営方針

自然・歴史・文化・美術工芸に関する調査及び研究を行うとともに、資料を収集・整理・保存・展示公開して文化活動の拠点とする。

児童生徒をはじめ、各世代の村民を対象とした企画展、講座等を開催して、歴史の中に生き、これからの歴史を構築する者としての意識の高揚を図る。

そのためには、専門の知識を有しながら村民とともに学び、活動する学芸員をおき、幅広い視野をもちつつ足もとを深く掘り下げ、地域に根ざした活動を展開する。

(5) 重点目標

①教育普及活動

読谷村の自然・歴史・文化・美術工芸等に関する展示や講座、講演会等をとおして、地域に根ざした教育普及活動を推進するとともに、次世代への継承発展を図る。

②情報収集と調査研究

博物館資料の収集と調査研究を継続し、整理、記録、報告、保存管理に努める。

(6) 施設設備

施設延べ床面積 3,850.75㎡

●新館(改築棟)の各室名及び面積	1,876.46㎡
地下	617.08㎡
・収蔵庫1・2・3	230.92㎡
・休憩室	14.72㎡
・燻蒸室	8.45㎡
・警備室	6.40㎡
・機械室	16.73㎡
・電気室	60.18㎡
1階	641.05㎡

・展示室 1	254.47m ²
・講座室	95.97m ²
・ビジターホール	87.22m ²
・授乳室	4.73m ²
・管理室	23.83m ²
2階	596.63m ²
・企画展示室	256.00m ²
・準備室	92.95m ²
・ホール	105.42m ²
・収蔵庫	55.31m ²
P H階	21.70m ²
●旧館（改修棟）の各室名及び面積	1,974.29m ²
1階	693.22m ²
・収蔵庫	597.73m ²
2階	597.19m ²
・展示室 2	312.93m ²
・事務室	84.19m ²
・文献室	24.02m ²
3階	594.87m ²
・展示室 3	281.73m ²
・陶芸品収蔵庫	33.60m ²
・彫刻・絵画収蔵庫	60.36m ²
・収蔵庫	34.85m ²
・会議室	29.26m ²
P H階	89.01m ²

(7) 展示内容

新館及び旧館の常設展示タイトルを順路に従って記す。

●展示室 1（新館：読谷村の多面性を紹介するトピック展示で構成）

①読谷百景

- ・村内外の多くの方から写真データを提供していただき、読谷の見所を展示する

②世界遺産・座喜味城跡

- ・グスク時代の始まり ・護佐丸と座喜味城 ・座喜味城のつくり
- ・三山統一・琉球王国の誕生 ・護佐丸が去った後の座喜味城
- ・世界遺産 琉球王国のグスク及び関連遺産群

③読谷で育まれた文化遺産

- ・蝶に魅せられて ・弥生人との出会い ・やちむんの里の原点 喜名焼
- ・やちむんの里と金城次郎 ・技を紡ぐ読谷山花織
- ・喜名番所にペリー一行がやってきた ・農業発展に尽くした二人
- ・おもろさうしに詠まれる先人 ・受け継がれる読谷の歌とおどり
- ・石に刻む想い

④沖縄戦と戦後の読谷

- ・北飛行場建設そしてアメリカ軍上陸 ・ゼロからの復興
- ・基地あるがゆえの事件・事故 ・二人の行政主席

⑤豊かなしぜん

- ・自然海岸 ・河川 ・鍾乳洞 ・湧水地 ・農耕地 ・森林

●展示室2（旧館2階：4つのテーマ展示で構成）

導入：民話コーナー

- ・民話DVD上映、「民話絵本」、「各字の民話集」が閲覧できる

①掘り出された読谷の歴史

- ・読谷村の遺跡群～読谷太古への招待～
- ・渡具知東原遺跡～読谷最古の土器を発見～
- ・長浜吹出原遺跡～密林を開拓～
- ・渡慶次大久保原遺跡～砂丘が語る豊かな文化～
- ・渡具知木綿原遺跡～弥生文化との交流～
- ・渡慶次中川原貝塚～サンゴ礁をわたる北からの風～
- ・儀間二重兼久原貝塚～サンゴ礁に育まれた文化～
- ・宇座浜屋原貝塚群～弥生文化の香り漂う～
- ・波平大当原貝塚～不思議な埋葬～
- ・高志保連道原貝塚～遣唐使の落とし物～
- ・大湾アガリヌウガン遺跡～川沿いの要所～
- ・喜名番所跡～かつての道の駅～
- ・喜名古窯跡～かつてのやちむんの里～

②ゆんたんざの自然

- ・やんばるの森とそこに息づく自然／生物相
植物 昆虫 爬虫類／両生類 鳥類／哺乳類
- ・南部の森とそこに息づく自然／生物相
植物 昆虫 爬虫類／両生類 鳥類／哺乳類

③読谷山の人々の暮らし

- ・集落の成り立ち ・人の一生 ・年中行事 ・信仰と魔除け ・ムラアシビ
- ・伝統的な住まい ・織りもの ・ものづくり ・畑しごと ・海しごと
- ・あの世への旅立ち

④読谷山の沖縄戦と戦後の村づくり

- ・読谷の沖縄戦 ・北飛行場の建設 ・住民の避難 ・生死を分けた二つのガマ
- ・戦争による犠牲者 ・チビチリガマのジオラマ ・苦しい戦後生活のはじまり
- ・ふるさとへの帰村 ・基地とそれによる被害 ・戦後移民のはじまりと現在
- ・基地の返還と村づくり ・平和な未来をもとめて

●展示室3（旧館3階）

①美術工芸品展示（平成30年オープン時は、金城次郎作品を展示）

※村内で最も標高の高い場所にある窓からは、東西及び南方向の景色が眺望できる。

(8) 業務内容

- 1) 令和2年度予定（展示会や講座など）

- ①「ゆんたんざむんがたい展」
- ②「昆虫標本作り」講座と「昆虫標本展」
- ③「慰霊の日」関連展示会と講座
- ④「第37回アンデパンダン展」
- ⑤世界遺産登録20周年記念企画
「座喜味城跡写真パネル展」、「世界遺産出土遺物巡回展」、「はせがわいさおと子ども作品展」、「座喜味城跡絵画教室」、「世界遺産見学会」
- ⑥「しまくとうば展」
- ⑦「移民・出稼ぎ展」
- ⑧「玉那覇有勝 紅型創作展」
- ⑨「児童生徒の平和に関する図画・作文コンクール展」
- ⑩「読谷児童生徒作品展」
- ⑪「野鳥観察会」
- ⑫ヨミタン大学講座「読谷山のおもろ」
- ⑬「2021読谷やちむん展」
- ⑭「ハジチ展」
- ⑮県立芸大とのタイアップによるワークショップ
- ⑯文化財講座「首里城正殿の発掘調査」

2) 教育普及活動

- ①座喜味城跡写真パネル学校巡回展
- ②美術工芸体験教室
- ③博物館学芸員実習
- ④中・高校生職場体験

3) 調査・研究・出版物等の発刊

- ①紀要第44号
- ②年報

4) 資料収集活動

収蔵資料数（令和2年3月末現在）

1. 歴史民俗関連資料 (点)

民俗資料	考古資料	自然資料	文献資料
12,993	4,000	13	27,850

2. 美術工芸関連資料 表掲載 (点)

分類	購入	寄贈	計
陶 芸	484	43	527
染 織	64	10	74
ガ ラ ス	41	6	47
漆 器	3	0	3
絵画（版画・デッサン含）	51	54	105
彫 刻 ・ 立 体	6	6	12
総 計	649	119	768

4. 文化財保護事業

文化財は我が国（村）の歴史、文化等を正しく理解するためには欠くことのできないものであり、かつ、将来の文化向上・発展の基礎をなすものである。行政としては、その保存について適切に行われるよう努めなければならない。

読谷村にも多くの文化財があり、これまでも調査・保存・伝承者育成等の地道な努力がなされてきた。今後もそれぞれの物件等の状況によって適切に対処して行くことが必要である。

本年度も読谷村の埋もれた多くの文化財を調査し、保存・整備に向けての条件整備を行って行く。

また、保存・整備・活用面からみると、読谷村のシンボルのひとつである国指定史跡「座喜味城跡」は13 ヶ年（昭和48年度～60年度）の年月と約4億2千万円の費用をかけて環境整備事業が実施され、多くの村民（県民・国民）が身近に歴史と触れ合えるようになった。さらに、平成12年12月2日には世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の資産の一つとして登録されている。

令和元年度は、『座喜味城保存活用計画書』を発刊した。

○令和2年度事業内容（文化財）

① 埋蔵文化財の分類・整理

- ・昭和63年度から令和元年度までの間、諸開発計画に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行い大量の出土遺物が得られている。これら資料を村民が活用できるよう、今年度も引続き出土遺物の分類・整理事業を行う。

② 埋蔵文化財の発掘

- ・開発に伴う発掘調査、試掘調査
- ・返還軍用地や基地内の文化財分布調査や試掘調査、本調査

③ 文化財の周知

- ・文化財台帳、情報図用の基礎資料収集
- ・文化財の標柱、説明板、案内板等の設置

④ 文化財の保存

- ・文化財の巡視
- ・文化財保存のための開発計画との調整

⑤ 文化財の保存と整備

- ・大湾アガリヌウガン遺跡調査検討専門会議の開催
- ・国指定史跡「座喜味城跡」、「木綿原遺跡」の清掃と整備
- ・地主等と共に村指定文化財「喜名番所跡」、「長浜貝塚」、「樋御墓」、「チビチリガマ」、「掩体壕」、「忠魂碑」、「讀谷山村道路元標」、「喜名観音堂」、「喜名土帝君」、「比謝橋碑文」等の清掃と維持管理
- ・全国史跡整備市町村協議会への参加
- ・沖縄地区史跡整備市町村協議会への参加

⑥ 文化財の指定

- ・文化財を調査し、将来の保存・整備・活用に向けて指定して行く

⑦ 文化財保護委員会事務局

⑧ 文化財の活用

- ・文化庁補助「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」の実施
- ・文化財めぐりの開催

⑨ 文化財関係団体との連携

- ・文化財関係団体と連携し、担当部局として可能な協力と助成を行う
- ⑩ 文化財保護行政の予算編成及び執行庶務・財務会計事務、備品に関すること

「文化財保護法」でいう文化財は次のとおりである。

- ・有形文化財（建造物、工芸品、古文書等）
- ・無形文化財（演劇、音楽、工芸技術等）
- ・民俗文化財（無形と有形があり、前者は衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗習慣、民俗技術、後者は無形の民俗文化財に用いられる衣服、器具、家屋等）
- ・記念物（史跡、名勝、天然記念物）
- ・文化的景観（地域の風土により形成された景観地）
- ・伝統的建造物群（沖縄では竹富町と渡名喜村にて指定されている）
- ・埋蔵文化財（貝塚、古墳、城跡など）

これまでの指定文化財は次のとおりである。

【世界遺産】

- ・座喜味城跡（琉球王国のグスク及び関連遺産群）

【国指定】

- | | | |
|--------------------|--------------------|-----|
| ・国指定重要無形文化財「読谷山花織」 | 保持者（人間国宝）：與那嶺貞（物故） | } ※ |
| ・国指定重要無形文化財「琉球陶器」 | 保持者（人間国宝）：金城次郎（物故） | |
| ・国指定重要無形文化財「紅型」 | 保持者（人間国宝）：玉那覇有公 | |
| ・国指定史跡「座喜味城跡」 | ※名誉村民 | |
| ・国指定史跡「木綿原遺跡」 | | |

【県指定】

- ・県指定無形文化財「読谷山花織」 技能保持者：島袋秀、比嘉恵美子、池原ケイ子
- ・県指定有形文化財（建造物）「座喜味城跡」※重複指定

【村指定】

- ・村指定史跡「喜名番所跡」
- ・村指定史跡「長浜貝塚」
- ・村指定有形民俗文化財「樋御墓」ティウハカ
- ・村指定史跡（沖縄戦に関する遺跡）「チビチリガマ」
- ・村指定史跡（沖縄戦に関する遺跡）「掩体壕」
- ・村指定史跡（沖縄戦に関する遺跡）「忠魂碑」
- ・村指定有形文化財「読谷山村道路元標」
- ・村指定有形民俗文化財「喜名観音堂」
- ・村指定有形民俗文化財「喜名土帝君」
- ・村指定有形文化財「比謝橋碑文」

5. 村史編集事業

令和元年度には、しまくとうば（沖縄語）の小冊子「読谷村のしまくとうば2～おばあが語る どうーよーじょー～」を発刊した。

小冊子の編集に当たっては、「しまくとうば愛さする会」の協力を得て語彙収集を行うとともに、各字の古老からこれまで採録したしまくとうばの音声データ及び新たに語彙収集調査を実施した。

令和2年度は、移民・出稼ぎ編の資料編を編集するとともに、言語編の調査に取り組んでいく。
また、字誌や記念誌等の編集作業に取り組んでいる自治会及び団体に対しては、関係資料を提供するなど編集発刊に協力する。

■既刊『読谷村史』及び関係資料集一覧表（令和2年3月31日現在）

書 籍 名	発行年	価 格
第二巻『戦前新聞集成 上・下』	1986年	3,000円
第三巻『文献に見る読谷山』	1988年	2,000円
第四巻『読谷の民俗 上・下』	1995年	3,000円
第五巻『戦時記録 上巻』	2002年	4,000円
『戦時記録 下巻』	2004年	4,000円
第六巻『統計にみる読谷山』	2012年	3,000円
読谷村関係資料『比謝缸友竹亭』	1987年	絶版
読谷村関係資料『読谷山の由来記』	1990年	600円
読谷村関係資料『官報にみる読谷山』	1992年	600円
「戦時記録」関係資料集		
『三人の元日本兵と沖縄』	2002年	1,200円
『読谷村の戦跡めぐり』	2003年	500円
『読谷の先人たち』	2005年	1,500円
『読谷村のしまくとぅば〜子どもの成長〜』	2019年	100円

読谷村文化財保護委員会委員

役 職	氏 名	備 考（専門）
委 員	上 原 静	考 古 学
委 員	長 浜 眞 勇	芸 能
委 員	嵩 原 建 二	自 然
委 員	中 田 耕 平	民 俗 学

世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム運営協議会委員

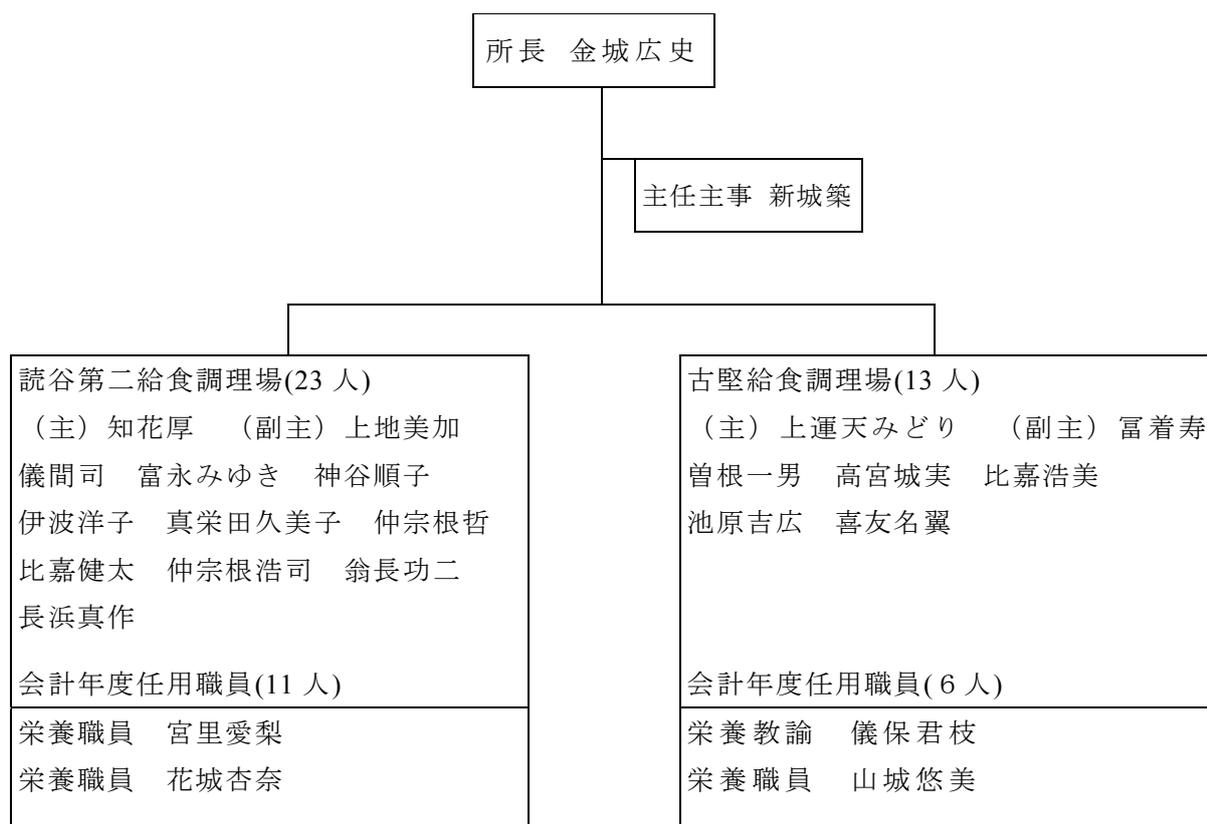
役 職	氏 名	備 考
委 員	國 吉 眞 哲	読谷ククルリゾート沖縄代表取締役
委 員	崎 原 恒 新	元沖縄県文化財保護審議会会長
委 員	嵩 原 建 二	沖縄野鳥研究会会員
委 員	池 原 ケイ子	県指定無形文化財読谷山花織技能保持者
委 員	島 袋 常 秀	陶 芸 家
委 員	松 田 共 司	陶 芸 家
委 員	知 花 均	美術家・沖縄県立芸術大学教授
委 員	与久田 健 一	美 術 家
委 員	仲 村 美恵子	古堅小学校校長

読谷村史編集委員会委員

役 職	氏 名	備 考
委 員 長	泉 川 良 彦	読谷村立図書館館長（村内）
副 委 員 長	長 浜 眞 勇	元読谷村立歴史民俗資料館館長（村内）
委 員	大 湾 由美子	元幼稚園教諭 元沖縄キリスト教短大非常勤講師（村内）
委 員	玉 城 栄 祐	元県立高等学校教諭（村内）
委 員	福 地 江美子	元読谷村立図書館館長（村内）
委 員	萩 尾 俊 章	沖縄県教育庁文化財課史料編集班主任専門員 （村外）
委 員	嘉 納 英 明	名桜大学教授（村外）
委 員	恩 河 尚	沖縄国際大学非常勤講師 沖縄市史編集会計年度任用職員（村外）
委 員	仲 本 和 彦	沖縄県公文書館公開班班長（村外）
委 員	鈴 木 耕 太	沖縄県立芸術大学附属研究所准教授（村内出身）

VII 給食調理場

1 学校給食調理場機構図



2 学校給食調理場運営委員会

学校給食調理場運営委員 (15人) 任期 (2年)

教育長	知花優
学校長	松田忠(渡小)、稲嶺盛久(読小)、外間香代子(喜小)、仲村美恵子(古小)、長嶺浩也(古南小) 宮里友昭(読中)、比嘉政宏(古中)
PTA会長	鉢嶺宗太(渡小)、知花幸次(読小)、又吉政彰(喜小)、大道幹夫(古小)、伊佐貴幸(古南小)、 平良祐樹(読中)、大城毅(古中)

3 学校給食調理場連絡協議会

学校給食調理場連絡協議会員 (22人)

教頭	平良ゆかり(渡小)、宮城力(読小)、和智重徳(喜小)、伊波鉄也(古小) 金子雅仁(古南小)、奥間政樹(読中)、仲村裕子(古中)
給食主任	津波祐子(渡小)、池田由菜・与久田朋子(読小)、島袋宏幸(喜小)、渡口尚子(古小)、 内間綾子(古南小)、伊是名靖二・成尾綾子・上田勤子(読中)、大城志津香(古中)
栄養教諭	儀保君枝(古調)
栄養職員	宮里愛梨・花城杏奈(読谷第二調)、山城悠美(古調)
主任調理員	知花厚(読谷第二調)、上運天みどり(古調)

4 給食調理場事務分掌

係	分掌事務の概要
給食係	<ol style="list-style-type: none"> 1 給食調理場の総括管理運営に関すること。 2 設置条例、規則等の制定、改廃に関すること。 3 給食調理場予算の編成、執行及び決算に関すること。 4 公印保管に関すること。 5 給食に係る各種統計に関すること。 6 給食調理場の庶務に関すること。 7 給食調理場職員及び施設の安全衛生管理に関すること。 8 給食調理場職員の健康管理に関すること。 9 給食調理場の福利厚生に関すること。 10 給食調理場運営委員会に関すること。 11 給食調理場連絡協議会に関すること。 12 給食調理場施設及び調理備品管理に関すること。 13 給食配送車輛の安全運行管理に関すること。 14 学校給食実施計画に関すること。 15 献立作成、栄養管理、栄養指導に関すること。 16 給食食材物資の発注、検収、食品衛生管理に関すること。 17 学校給食会計事務に関すること。 18 学校給食会計の予算編成、執行及び決算に関すること。 19 現金出納管理及び簿冊の保管に関すること。 20 納付書、領収書綴等の管理に関すること。 21 学校給食費の納付事務、滞納整理に関すること。 22 その他調理場に関すること。

5 読谷村立学校給食調理場運営方針

(1) 基本方針

学校給食は教育活動の一環であり、「食育基本法」の施行（平成17年）・「学校給食法」の改正（平成21年4月施行）に伴い、学校における児童生徒の食育推進が求められる中、学校給食調理場の果たす役割は益々重要になっている。

学校給食調理場運営に当たって、食教育の重要性に鑑み、学校給食の目的・目標をふまえ「子ども達の豊かな心と丈夫な体をつくる学校給食」を基本に、食の安全・安心、栄養バランスのとれたおいしい給食供給、児童生徒の健康、食育及び村民の食生活改善に寄与する学校給食運営をめざす。

(2) 重点目標

- ① 安全で栄養バランスのとれた給食の供給
- ② 施設設備、食材物資、調理業務の安全・衛生管理の徹底
- ③ 家庭・学校・地域・調理場の連携を深める学校給食運営
- ④ 食育の推進
- ⑤ 地産地消の推進
- ⑥ 学校給食費徴収体制の確立（関係各課との協力）
- ⑦ 安全・衛生管理体制、危機管理体制の確立

(3) 事業

- ① 事務事業
 - ア 給食調理場管理運営事業
 - イ 読谷給食調理場運営事業
 - ウ 古堅給食調理場運営事業
 - エ 読谷第二給食調理場運営事業
 - オ 学校給食会計事務事業
- ② 委員会・協議会・研修会
 - ア 学校給食調理場運営委員会の開催（年2回）
 - イ 学校給食調理場連絡協議会の開催（年3回・各学期）
 - ウ 中部学校給食関係職員合同研修会参加
 - エ 沖縄県健康教育研究大会参加
 - オ 地産地消連絡協議会
- ③ 自主事業
 - ア 学校給食ポスターコンクールの実施
 - イ 栄養士・調理員学校給食巡回・交流給食の実施
 - ウ 調理場職員研修会の開催
 - エ 学校給食アンケートの実施
 - オ 学校給食週間行事の開催（学校・PTAとの連携）
 - カ クリスマス・サンタ給食配送
- ④ 学校・家庭・地域・調理場との食育ネットワークの確立
 - ア 弁当の日の推進

6 読谷村立学校給食調理場運営事業計画

令和2年度 読谷村立学校給食調理場運営事業計画

	委員会・協議会・研修会	自主運営事業等	備考（調査・報告・その他）
4月	・調理場職員合同ミーティング ・地産地消連絡会議		・給食における県産農水産物の利用状況調査
5月	・地産地消連絡会議 ・調理場連絡協議会（合同）	・学校給食ポスターコンクール作品募集	
6月	・地産地消連絡会議 ・第1回給食調理場運営委員会（給食会計決算等）	・栄養士、調理員給食巡回交流 ・学校給食ポスターコンクール作品審査	・残量調査（週報） ・学校給食施設設備台帳の提出 ・調理場衛生検査（1回目） ・学校給食実施状況等調査報告 ・学校給食用食品点検報告
7月	・地産地消連絡会議 ・中部学校給食関係職員合同研修	・学校給食ポスターコンクール表彰式	・米飯学校給食に係る状況調査
8月	・地産地消連絡会議 ・調理場職員研修（衛生講習会等）	・学校給食ポスターコンクール受賞作品展 ・学校給食展 ・調理場内メンテナンス ・ボイラー法定点検	・給食費未納者報告（各学校→調理場） ・調理場害虫駆除作業 ・職員健康検診（役場一般検診） ・調理場備品監査
9月	・地産地消連絡会議		
10月	・地産地消連絡会議 ・給食調理場連絡協議会（学校ごと）	・栄養士、調理員給食巡回交流	・調理場衛生検査（2回目）
11月	・地産地消連絡会議		・残量調査（週報） ・読谷まつり（食事炊き出し）
12月	・地産地消連絡会議 ・調理場職員研修	・読谷中バイキング給食 ・クリスマスサンタ給食配送	・調理場害虫駆除作業 ・給食費未納者報告（各学校→調理場）
1月	・地産地消連絡会議 ・学校給食連絡協議会（調理場ごと）	・給食週間行事の提携 ・栄養士、調理員給食巡回交流	
2月	・沖縄県健康教育研究大会 ・第2回給食調理場運営委員会（新年度予算等）	・古堅中バイキング給食	・学校給食及び食育に係る調査 ・学校給食週間行事報告書
3月	・地産地消連絡会議		・給食費未納者報告（各学校→調理場） ・調理場職員健康検診 ・調理場害虫駆除作業

※弁当の日の取り組み、バイキング給食については別途（調理場連絡協議会等）協議します。

表紙デザインに用いた読谷山花織の図柄は、
読谷山花織保存会からの提供によるものです。
ありがとうございました。

令和2年度
教 育 要 覧
(読谷村の教育)

令和3年2月

発 行 読谷村教育委員会
読谷村字座喜味2901番地
電話 (098) 982-9228

印 刷 有限会社 金城印刷
糸満市西崎町5-9-16
電話 (098) 995-0001



令和2年度

教育要覧

(読谷村の教育)

読谷村教育委員会